

日本語能力試験1・2級対応

どんな時
どう使う
日本語
表現文型
500

中・上級

500 Essential
Japanese Expressions:
A Guide to Correct
Usage of Key
Sentence Patterns

友松悦子・宮本 淳・和栗雅子

日本語能力試験1・2級対応

どんな時
どう使う
日本語
表現文型
500

中・上級

500 Essential
Japanese Expressions:
A Guide to Correct
Usage of Key
Sentence Patterns

友松悦子・宮本 淳・和栗雅子

アルクの日本語テキスト ● ALC Press Japanese Textbook Series

日本語能力試験1・2級対応

どんな時
どう使う
日本語
表現文型
500

中・上級

500 Essential
Japanese Expressions:
A Guide to Correct
Usage of Key
Sentence Patterns

友松悦子・宮本 淳・和栗雅子

はじめに

最近、中・上級レベルの教材は教科書以外のものについてもよいものが次々と出版されるようになりました。特に問題集は日本語能力試験を目指す学習者が効率よく学べるように工夫されたものが数多く出版され、目をみはるものがあります。

ところで、初級を終えて中級に入った学習者は論理的文章を読んだり、書いたり、微妙な気持ちや感動を表現したりする時に使われる、より高度な日本語を習得したいと願います。そのような学習者から次のような声が聞かれるのも事実です。本や新聞などを読んでみると新しい言葉が出てくるが、文法的な言葉は辞書で引こうとしても、辞書には出ていない、いい参考書はあるが、言葉の数が少ない、などです。また、大学や専門学校のための日本語予備教育課程で学びつつ、日本語能力試験の準備をしている学習者からも、問題集や直前対策などの教材だけではなく、中・上級で学ぶ文型の全体を見通しつつ、計画的に落ち着いて学習できる教材がほしい……という希望が聞かれます。

また、中・上級レベルを教える先生方からも、次のような声がありました。中・上級で数多く出てくる文法的な機能語を、学習者に効率よく体系的に復習させることができる教材がないか、学校の教科書で勉強したものを学習者が自分で復習したり、または学校のクラスでは十分にわからなかったところを後で補ったりすることもできる教材がないか、などです。

このような中・上級の学習者の要望に応えたく、私どもはこの『どんな時どう使う日本語表現文型500』をまとめました。これは、私どもが現場で得た経験を生かし、学習者のお役に立つよう、長年使用してきた自作教材をもとにまとめたものです。

この教材の編集段階で、国立国語研究所の佐々木倫子先生には非常に有益なご助言とお励ましをいただきました。心より感謝申し上げます。また、株式会社アルクの平本照磨社長をはじめ、日本語出版編集部の塩崎宏編集長、水野照子副編集長には、一方ならぬお世話になりました。改めて感謝申し上げます。

この学習書が日本語を学ぼうとしている方々のお役に立つことを心から願っております。しかし、至らない点もあるかと思えます。お気付きの点について、お使いになった方々からのご批判をいただければ幸いです。

1996年 9 月

友松悦子

宮本 淳

和栗雅子

目次 CONTENTS

はじめに……3

ほんしょ もくてき
本書の目的……6

かたがた
本書をお使いになる方々へ……6

1 本書の特色と方針

2 各課の構成

がくしゅう
本書を使って学習する方々へ……9

せつぞく かたち
接続の形について……11

きごう
記号について……13

どう き たいしやう
1 動作の対象 ～について／～に対して……15
Objects of Action

もくてき しゅだん ばいかい
2 目的・手段・媒介 ～ように／～によって……20
Purpose/Mean and Media

I 目的 II 手段・媒介

きてん しゅうてん げんかい はん い
3 起点・終点・限界・範囲 ～をはじめ／～にわたって……28
Starting and Ending Points/Limits/Range

じてん ばめん さい
4 時点・場面 ～に際して／～において……35
Time and Place of an Action

じ かんてきどう じ せい じ かんてきぜん ご かんけい
5 時間的同时性・時間的前後関係 ～たとたん／～ないうちに……41
Concurrent Actions/Sequential Actions

I 時間的同时性 II 時間的前後関係

しんこう そうかんかんけい いっぽう
6 進行・相関関係 ～一方だ／～につれて……49
Progressive Actions/Correlations

I 進行 II 相関関係

ふたい ひ ふたい
7 付帯・非付帯 ～ついでに／～ぬきで……55
With/Without

げんてい かぎ
8 限定 ～に限り……62
Limiting Conditions

ひ げんてい ふ か くわ
9 非限定・付加 ～ばかりでなく／～に加えて……67
Non-limitation/Additions

I 非限定 II 付加

ひ かく さいじょうきゅう たい ひ くろ
10 比較・最上級・対比 ～に比べて／～どころか……76
Comparison/Contrast

I 比較・最上級 II 対比

はんだん たち ば りやう か してん
11 判断の立場・評価の視点 ～にとつて／～にしては……85
Standpoint of Judgment/Viewpoint of Evaluation

I 判断の立場 II 評価の視点

き じゅん もと
12 基準 ～に基づいて……93
Basis of Action

かんれん たいおう おう
13 関連・対応 ～に応じて／～をきっかけに……99
Dependency/Correspondence

む かんけい む し れいがい と
14 無関係・無視・例外 ～を問わず／～はともかく……105
Unrelated Conditions/Exceptions

れい じ
15 例示 ～とか～とか……110
Giving Examples

16 強調 きょうちよう ～さえ／～こそ……115

Emphatic Expressions

I 強調 その1 II 強調 その2

17 話題 わだい ～というのは……123

Topics

18 逆接・譲歩 ぎゃくせつ じようほ ～ながら／～とはいものの……129

Contradiction/Concession

19 原因・理由 げんいん りゆう ～によって／～ばかりに／～からには……137

Causes and Reasons

I 原因・理由 その1 II 原因・理由 その2 III 原因・理由 その3

20 仮定条件・確定条件 かていじようけん かくていじようけん ～としたら／～とあれば……149

Hypothetical Conditions/Definite Conditions

21 逆接仮定条件 ぎゃくせつ かていじようけん ～たところで……155

Negative Hypothetical Conditions

22 不可能・可能・困難・容易 ふかのう かのう こんなん ようい ～ようがない／～得る……160

Impossibility/Possibility/Difficulty/Easiness

23 傾向・状態・様子 けいこう じょうたい ようす ～がちの／～だらけ／～げ……166

Tendency/State/Condition/Look

I 傾向・状態 II 様子

24 経過・結末 けい か けつまつ ～あげく／～に至る……175

Process/Conclusion

I 経過 II 結末

25 否定・部分否定 ひてい ぶぶん ひてい ～はずがない／～わけではない……185

Negatives/Partial Negatives

I 否定 II 部分否定

26 伝聞・推量 でんぶん すいりよう ～ということだ／～かねない……192

Conveying Information/Expressing Certainty and Uncertainty

I 伝聞 II 推量

27 心情の強調・強制 しんじよう きようちよう きようせい ～てたまらない／～ざるをえない……198

Emphasizing Feelings/Compulsion

I 心情の強調 II 強制

28 誘い・勧め・注意・禁止 きそ すす ちゆうい きんし ～こと／～ものだ／～べきではない……206

Invitations/Advice/Warnings/Prohibitions

29 主張・断定 しちゆう だんてい ～にほかならない／～にきまっている……211

Assertion/Decision/Judgment

30 感嘆・願望 かんたん がんぼう ～ことに／～たいものだ……217

Exclamatory Expressions/Expressing Wishes

索引……223

練習問題の解答……231

参考文献……233

本書の目的

初級文法の学習項目を終えた学習者は、論理的な文章を読んだり書いたり、微妙な気持ちや感動をうまく表現したりする時に使われる、より高度な日本語の言い方を学習したいと願う。

この学習書は、そうした中・上級の表現文型を体系的に学びたいと思っている学習者のために作られたものである。それぞれに微妙な特徴をもつ表現文型や文法的機能語（以下、機能語と言う）を学び、運用する力をつけたいと思ってこつこつと勉強している方々にはお役に立つものと信じている。

この学習書が使われる場としては、例えば、教科書に沿って中級以上の語彙や文法を積み上げつつ勉強する日本語学校で、中級の学習がある程度進んでから、中級文法のまとめのための副教材として使うということが考えられる。また、12月の日本語能力試験を目指して勉強している学生の大勢いる日本語学校で、その対策のための授業で使用するのも一案である。学習者が自習用、独習用の教材として使用することもできるであろう。

本書をお使いになる方々へ

Ⅰ 本書の特色と方針

[意味による分類]

本書は、国際交流基金・日本国際教育協会から発表された日本語能力試験（文法）の出題基準サンプル（文法的な〈機能語〉の類）を参考にして書かれた。当リストにあるもの（2級・1級）は全部を網羅した。その外に、数種類の教科書（参考文献参照）にあたり、その中で重要文型として取り上げられているものや、リストにはないが過去10年間に出版されたものをつけ加えた。以上のものに派生した形も加えて、500余項目となった。

学習者が文型をまとめて勉強しようとする時、さまざまな文型が脈絡なく次々出てくるよりは、何かのまとまりをもって体系的に提出されている方が学習の助けになると考え、上記の機能語を意味によって分類して一つの課を構成した。各課の題はその課の項目の代表的な機能を考えてつけたが、その用語（例：7付帯・非付帯 など）については、ご批判を仰ぎたい。

機能語の意味・機能は一つではない。例えば「～ながら」は、初級の学習項目である同時進行と中級の学習項目である逆接の二つの意味・機能をもつ。しかし、この二つの意味は独立して存在しているのではなく、連続的にその意味をカバーしている。

また、「～にきまっている」は、確信に近い推量を表す文型であるとも、断定的発言

を表す文型とも考えられる。「～はずはない」は推量と分類した方がいいのか、否定と分類した方がいいのか、どこで線を引いて分類するのかはきわめて難しい問題である。しかし、執筆者らの立場としては、あくまでも学習者が学習する際に取っ付きやすく、わかりやすいようにということを第一に考え、あえて分類を試みた。そのため、学習者の混乱を招かないように配慮し、それぞれの典型的な例を出して分類するという方法を取った。一つの機能語が複数の意味・機能をもつ場合は、それぞれのグループに収めた。例えば、「～によって」は、次の4つの課に収めた。

・話し合いによって解決する。	手段	2課Ⅱ・1
・この会はある団体によって運営されている。	受身文の動作主	2課Ⅱ・2
・地方によって習慣が違う。	関連	13課1
・今回の地震によって倒壊した家の数は……	原因	19課Ⅰ・1

[文法的性格についての記述]

機能語を学習する上で必要なことは、まず、意味と機能を理解することである。さらに、自分で使えるようになるためには、それを使う場面、接続のしかた、使われる動詞の種類などについての知識を持ち、接続する言葉の制限や文末の制限などについての文法的な性格についても知る必要がある。機能語の文法的な性格については、日本語教育の先輩方の研究により、非常に詳しい報告がされているものもあるが、まだ触れられていないものもある。また、優れた研究が発表されているものであっても、残念ながら日本語教育の現場、特に学習者の手にはまだ情報があまり届いていないのが現状であろう。

執筆者らは長年予備教育に携わっている者として、それぞれの現場の経験から、学習者のわかりにくいところ、間違いやすいところを押さえて、できるだけ簡単明瞭に文法的性格を解説しようと試みた。文型や機能語を正しく把握することは、読解力をつけるためにも大切なことであるから、文型や機能語についての知識を深めることにより、理論的な文章を理解したり、感情のこもった文などを読んだりする力を伸ばせるものと信じる。

[例文]

各機能語について3～5つの例文を載せた。その文型の典型的な例をまず紹介し、外に、接続する品詞、時制、使われる場面、話題などが偏らないように、可能なかぎり様々なものを提示できるよう試みた。ただし、いわゆる複合助詞（助詞に相当する連語）の場合、本来の動詞の意味が強く残っているものはあまり取り上げていない。（例：線路に沿って道が続いている。）

各例文は基本的に普通体の書き言葉のものを主としたが、当然ながら書き言葉には丁寧体のものもあるので、手紙、ニュース報道、スピーチ、会議の報告などに使われるも

のも丁寧体の書き言葉として取り入れてある。さらに、会話の中の発話の文は、聞いている相手がいることを示すために「 」の中に入れた。学習者の負担にならないように、必要最低限の場面設定だけを施した簡潔な例文を目指した。

[  コーナー（各課の1ページ目）と  練習問題（各課の最後のページ）]

少しでも執筆者と学習者とのインターアクションがあればと思い、また、自分の知識の弱点を自分でモニターする学習ストラテジーをもつことが望ましいと考えて、各課に入る前にその課で学ぶべきことをどの程度知っているかを試してみる「  コーナー」を設けた。その課にまとめられた意味・機能を持つ文型をどのくらい知っているか、知っているだけでなく適切に使えるかを試す性質のものである。問題は2級のものだけにおさえ、その機能語の定番ともいべき例を提示して問題が作ってある。 はそれらの語を知っているかどうかのチェックであり、 は適切な使い方ができるかのチェックである。このコーナーでつまづいた場合は、本文の●や  のところをよく読んでほしい。

さらに、その課で学習したことの確認のために、本文の終わりに練習問題をつけた。その課で学んだ機能語が適当な部分に使えるか、その機能語を使って短文完成ができるか、文法的な性質についての知識が身についたか、あるまじりのある文章（談話）の中でその機能語が使えるかなどを確認するためのものである。

[その他 使用語彙と漢字など]

文法の力を養うための学習書であるから、語彙はなるべく学習者の負担にならないよう、例文はそれぞれの出題基準の範囲内の語彙を使用するようにした。つまり、2級の機能語の例文については2級の出題基準の範囲内の語彙を、1級のものには1級のものも使用した。しかし、説明部分については、語彙を制限をすることによってかえってわかりにくくなるということもあり、必ずしもこの原則どおりにいかないこともあった。

漢字の提出については、漢字圏の学習者が本書の内容を容易に理解できるようにするため、また、非漢字圏の学習者にはなるべく漢字に慣れる機会を提供する意味もあり、2級の出題基準以上の語彙と漢字にはよみがなをつけて使った。

2 各課の構成

- ・   コーナー その課にまとめられた文型について、どの程度の基礎知識があるかを問うもの。（答は次のページの下）
- ・ 機能語一覧 その課で学習する機能語一覧。級別に提示。学習しやすいと思われる順に提示した。
- ・ 本文 見出し語
その言い換え……………【 】

意味的な特徴……………●

例文……………①②③～

文法的性格と注意点……………

使われる場面について……………   

共起（一緒によく使われる表現）する言葉 他例（ほかの例）

参考例 接続のしかた 他の参照文型など。

・練習問題

その課で学習したことをチェックするためのもの。問題の種類はいろいろで、談話単位の中でどう使われるかという点を確認する問題も取り入れた。（答は巻末）

……………
ほん しょ がく しゅう かた がた
本書を使って学習する方々へ

か
〈1課から30課〉

本書は1課から30課まであります。後半の課になると、話す人の気持ちや態度が含まれる文型が多くなってきます。1課から順番に進んでいくのもいいし、順番どおりでなくてもいいと思います。学校の授業で勉強したことを、家でもう一度練習しておきたいと思った時に、その文型と同じグループに入る外の文型をついでに学習してしまうという方法もあります。

 のコーナー

どの場合でも、まず「うでだめし」をやってみましょう。これは、その課で学ぶことの基礎的な知識がどの程度まで進んでいるかを自分でチェックするコーナーです。問題は2級のものだけです。 は「～と言いたい時」のいろいろな文型をどのくらい知っているかを問うものです。一番いい言葉を選んで_____の上に入れてください。一つの語は1回しか使いません（14課を除く）。次に  に進んでください。これは適切な使い方ができるかどうかを問うものです。使い方の適切な文の方に○をつけてください。中級以上の文型は、接続する言葉や文の終わり方などに様々な制限があります。接続のしかたも文型によっていろいろです。そうした制限を守らないと適切な使い方ができません。この問題を間違えた人は、本文の●や  を注意して読んでください。どの課の   のコーナーも10問あります。10問中、4問以上間違いのある人はその課を特にていねいに学習しましょう。

〈本文〉

まずその課で学習する文型にはどんなものがあるかを見てみましょう。 は2級、 は1級のもので、項目は学習しやすい順に並んでいますから、順を追ってその課の本文を読み進んでいくことをおすすめします。

まず、【 】を読んでください。やさしい言葉で言い換えた場合の「意味」が書いて

あります。それを頭の中に入れてうえて、●を読みます。さらに詳しい意味が、つまり、
 と言いたい時に使うのが書いてあります。次に例文を読んで、実際の文の中での使
 い方を確認してください。例文を読む時は、どんな性質の言葉、どんな品詞に接続して
 いるか、文の終わり方はどうなっているかなどにも注意しながら読んでください。
 ☞はその文型の文法的な性質について書いてあります。その文型を使って自分で文
 を作る時の注意点です。☞の中の悪い文(×がついた文)はどうして悪いのかをま
 ず考えてみてください。その後で注意事項を読んでください。正しい文の作り方と正し
 い文(○の文)が書いてあります。

練習問題

次に練習問題に進んでください。これはその課で学習したことを理解できたかどう
 かをチェックするためのものです。あるまとまりをもった少し長い文章の中で習った
 文型をどう使うかを練習する問題もあります。手紙、作文、論文などを書く時の参考に
 してください。

50音順別索引

ある言葉について知りたいと思った時は、50音順の索引を引いてください。習った言
 葉の意味や使い方を自分でもう一度確かめたいと思った時にも、索引を大いに利用して
 ください。他と混同しやすいものや、複数の使い方があってわかりにくいものは、短い
 例文が書いてありますから、引く時に参考にしてください。

How to Use This Book

<Lesson Order>

This book is made up of 30 lessons, and sentence patterns that express the speakers' feelings and attitudes are given in increasing amount as the book progresses. You can start with Lesson 1 and work your way through each lesson in numerical order, or you can study the lessons in any order you like. Also, when you want to further review the sentence patterns you learned in class at home, you can go ahead and study similar sentence patterns of the same group.

<Skill Check Corner>

No matter which order you use when studying this book's lessons, you should start off each lesson with a test of your ability. The Skill Check Corner of each lesson has been designed to allow you to check your mastery of the fundamental knowledge presented in that lesson, and only level 2 problems are given. The part marked with  tests how many of the various situational expressions you have acquired. Except for in Lesson 14, answer choices are used only one time each. Next, go to the part marked with , which tests your ability to use the sentence patterns correctly. There are various restrictions which apply to clause connections and sentence endings when you work with intermediate and advanced sentence patterns, and the method of connecting clauses often differs depending on the type of sentence pattern being used. If such rules are not followed, then it will not be possible to use the sentence patterns properly. If you incorrectly respond to the test problems, carefully go over the parts marked with ● and ☞ in the main text. The   section

of each lesson has a total of ten problems; if you incorrectly respond to four or more of the problems for a particular lesson, then be sure to give special attention to the contents of that lesson.

<Main Text>

First take a look at what sort of sentence patterns are studied in the lesson. Sentence patterns marked with  are level 2, and those marked with  are level 1. It is recommended that you go through the main text of a lesson in its established order.

Start your study by reading the part marked with **【** , which gives the meaning of the expression in easy-to-understand terms. While keeping the meaning in mind, read the part marked with **●** , which explains the usage of the expression. Next, read the example sentences to get a clear idea of how the expression is actually used. When reading the examples, pay attention to what connecting parts of speech are used with what expressions, and to how the sentences are ended. The part marked with  explains the grammatical characteristics of the sentence pattern, and provides you with advice on how to employ it in your own constructions. Also, try to figure out what's wrong with the incorrect sentences (marked with **×**) in , and then read the special pointers, which give you information on how to correctly form sentences, and the examples of correct sentences (marked with **○**).

<Practice Problems>

Next, try the practice problems, which test whether you have correctly understood the contents of the lesson. Included in this section are problems that allow you to practice using the newly learned sentence patterns in the context of a short discourse. You can use this section as a reference when you write letters, compositions, or essays.

<Index>

When you want to find out information on a particular word, or want to make sure of the meaning or usage of a vocabulary word that you've already learned, you can look it up with the index (arranged in *a-i-u-e-o* order). The index also includes helpful example sentences for better understanding words which are easily confused with other words, or are difficult to understand because they have several usages.

.....

せつ ぞく かたち 接続の形について

つぎ しょう ご しる 接続のしかたは次のような用語で記した。

• ひん し しゅるい 品詞の種類

どう し れい 動詞 (動詞 I <例: 書く> 動詞 II <例: 見る、食べる> 動詞 III <例: する、来る>)

けいよう し な形容詞 めい し する動詞の名詞 <例: 見学> じょ し 助詞

• かつよう 動詞の活用

(ない)形<例: 書か> ~ない形 (ます)形<例: 書き> じょし 辞書形 ~ば形

~ている形 ~た形 ~たら形

• た その他

い形容詞の辞書形<例: 大きい> い形容詞の語幹<例: 大き> な形容詞の語幹<例: 元気>

せつぞく かた
[接続の型]

れんたいしゅうよくがた
・連体修飾型

どうし 動詞	書く	書かない	書いた	書かなかった	+ こと
けいようし い形容詞	大きい	大きくない	大きかった	大きくなかった	
な形容詞	元気な (元気である)	元気ではない	元気だった (元気があった)	元気ではなかった	
めいし 名詞	病気の (病気である)	病気ではない	病気だった (病気があった)	病気ではなかった	

ふつうけいがた
・普通形型

動詞	書く	書かない	書いた	書かなかった	+ からこそ
い形容詞	大きい	大きくない	大きかった	大きくなかった	
な形容詞	元気だ	元気ではない	元気だった	元気ではなかった	
名詞	病気だ	病気ではない	病気だった	病気ではなかった	

・普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」)

動詞・い形容詞は上と同じ					+ のみならず
な形容詞	元気である	元気ではない	元気があった (元気があった)	元気ではなかった	
名詞	病気である	病気ではない	病気があった (病気があった)	病気ではなかった	

例 名詞／普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」。ただし「である」がない場合もある) + にもかかわらず／にしては

- ・雨にもかかわらず、大勢の人が来た。(名詞)
- ・約束したにもかかわらず、彼は来なかった。(動詞普通形型)
- ・天気がよかったにもかかわらず、参加した人は少なかった。(い形容詞普通形型)
- ・彼は体が健康であるにもかかわらず、働こうとしない。(な形容詞普通形「である型」)
- ・彼は歌がへたにしては、人前でよく歌いたがる。(な形容詞普通形「である型」の「である」がない場合)
- ・これはデザインが最新型であるにしては性能の悪い機械だ。(名詞の普通形「である型」)
- ・彼は力士にしては体が小さい。(名詞の普通形型「である型」の「である」がない場合)

せつぞく しる
[接続を記さなかったもの]

1 接続のしかたが^{あき}明らかなもの

- ・一定^{いってい かつようけい}の活用形に接続するもの

例 ~ない^{れい}ことには (20課 3) ~ばこそ (19課 II・8)
 ~てはじめて (5課 II・1) ~た^{いた}ところで (21課 2)
 ~う (よう) が (21課 7)

- ・名詞に接続するもの 助詞「で」「の」「も」「を」で始まるもの

例 ~で^{じょし}なくてなんだろう (29課 9) ~の^{いた}至り (16課 II・11)
 ~も^いかまわず (14課 3) ~を^いはじめ (3課 1)

2 慣用的^{かんようてき}にいろいろあるものや相手の^{あいて}言葉^{ことば}の一部^{いちぶ}をひきうけるもの

例 ~につけて (13課 7) ~といえ^いば (17課 3)

き こう
記号^{きごう}について 各記号は次のような意味を表す。



きごう ぶんけい
2 級の文型



1 級の文型



しゆ
主として話し言葉に使われる。



主として書き言葉に使われる。



主としてあらたまった言い方として使われる。

【 】 初級^{しよきゅう}の言葉で言い換^かえた場合^{ばあい}の意味

(分けて意味を提示^{ていじ}した方がわかりやすいものは、A 【 】、B 【 】のよう^{しる}に記した。)

● 【 】だけでは言い足りない意味的な特徴^{とくちょう}

🔑 文法上^{ぶんぽうじょう}の注意事項^{じこう} 使われる場面^{せいげん}の制限や、その文型を使って文を作る時に注意することなど。

✉ 主として手紙文で使われる。

〰 接続の形

→ 他の課に入っているが、形^{かたち}がよく似^にているものや、混同^{こんどう}しやすいものなので、参^{さん}照^{しょう}してほしいもの。

動作の対象

Objects of Action

動作が向かう相手やものごとを示したい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a について b に対して c にこたえて d をめぐって e 向けに

- 1 わたしは日本の民謡_____調べている。
- 2 大会ではみんなの期待_____、精一杯がんばろうと思っています。
- 3 デパートの店員はお客様_____、できるだけ丁寧な言葉を使わなければならぬ。
- 4 ごみ処理場建設の問題_____、様々な議論が行われた。
- 5 これは日本語学習者_____書かれた文法書です。



使えますか

- 1 わたしはあの人に関して { a 何も知らないのです。
b あまり好きではありません。
- 2 わたしはあの人に対して { a 失礼な態度をとってしまいました。
b 変なうわさを聞きました。
- 3 a 社員たちの要望にこたえて、
b 社長の反対にこたえて、 } 社員旅行は2泊3日と決定した。
- 4 財産の問題をめぐって { a 兄弟の争いが続いている。
b あなたにお話ししておきたいことがあります。
- 5 わたしのアパートは { a 南向けで日当たりがいい。
b 高齢者向けであちこち便利にできている。

答は次のページにあります。

動作の対象 動作が向かう相手やものごとを示したい時



- 1 ~について
- 2 ~に関して・~に関する
- 3 ~に対して・~に対する
- 4 ~にこたえて・~にこたえる
- 5 ~をめぐる・~をめぐる
- 6 ~向けに・~向けの・~向けだ



- 7 ~にかかわる



1 ~について

●取り扱う対象を言う時。

- ①あの人についてわたしは何も知りません。
- ②この町の歴史についてちょっと調べてみようと思っている。
- ③この日本文化史についてのレポートは大変よくできている。
- ④きのうの小論文の試験は「わたしの国の教育制度について」という題だった。

🗨️ 話す、聞く、考える、書く、調べるなどの意味の動詞が後に来ることが多い。
このことは2「~に関して・~に関する」の場合も同じ。

🔗 名詞 + について



2 ~に関して・~に関する



●取り扱う対象を言う時。

- ①この問題に関してさまざまな方面から意見が寄せられた。
- ②「本件に関しましては、現在調査中であつてございまして、結論が出るまでにはもうしばらく時間をいただきたいと思います。」



1 a 2 c 3 b 4 d 5 e



1 a 2 a 3 a 4 a 5 b

③今回の「余暇の利用」^{こんかい よ か り よう}に関してのアンケートはとも興味深かった。^{きょう み ぶか}

④この論文は、日本の宗教史^{ろんぶん}に関する部分^{しゅうきょうし}の調べ方が少し足りない。^{ぶぶん しら}

 1「～について」の「～」^{さんしやう}を参照。1「～について」より硬い表現。^{かた ひやうげん}

 名詞 + に関して



3 ～に対して・～に対する【～に／～を相手として】

●動作や感情が向けられる相手や対象を表す。

①小林先生は勉強が嫌いな学生^{こばやし きら}に対して、とりわけ親しみをもって接していた。^{した せつ}

②この賞は特に女性の地位向上に功績^{しょう}のあった人^{じょせい ち い こうじやう こうせき}に対して贈られるものです。^{おく}

③「今のランさんの発言^{はつげん}に対して、何か反論^{はんろん}のある方は手を挙げてください。」^あ

④青年の、親^{せいねん おや}に対する反抗心^{はんこうしん}は、いつ頃生まれ、いつ頃消えるのだろうか。^{ごろ き}

 1「～について」、2「～に関して・～に関する」と違って、相手に直接、動作や気持ち^{ちが}が及ぶ^{ちやくせつ}時に使う。後には対立関係を表す語（反抗、反論、抗議など）^{ちやくせつ}が来ることが多い。^{こうぎ}

 名詞 + に対して



4 ～にこたえて・～にこたえる【～に沿うように】

①参加者の要望^{さん か しゃ ようぼう}にこたえて、次回の説明会には会長自身が出席することになった。^{じ かい せつめいかい}

②聴衆のアンコール^{ちやうしやう}にこたえて、指揮者は再び舞台に姿を見せ、美しい曲を聴かせてくれた。^{し きしや ふたたび すがた うつく きよく き}

③内閣は国民の期待^{ないかく こくみん きたい}にこたえるような有効な解決策^{ゆうこう かいけつさく}を打ち出してもらいたい。^う

 「～」には質問、期待、要望などを表す名詞が来る。

 名詞 + にこたえて



5 ～をめぐるって・～をめぐる【～を議論や争いの中心点として】

●「～」を中心点にして、どんな議論や対立関係が起こっているかを言う時。

①この規則の改正^{きそく かいせい}をめぐるって、まだ討論^{とうろん}が続いている。^{つづ}

②土地^{とち}の利用^{りよう}をめぐるって、二つの対立した意見が見られる。

③町の再開発をめぐり、住民が争っている。

④マンション建設をめぐる争いがようやく解決に向かった。

🔍 後には、意見の対立、いろいろな議論、争いなどの意味を持つ動詞が来ることが多い。

🔗 名詞 + をめぐって

6 ~向けに・~向けの・~向けだ【~のために】

●「~に適するように」と言いたい時。

①これは幼児向けに書かれた本です。

②この文には専門家向けの用語が多いので、一般の人にはわかりにくい。

③この説明書は外国人向けだが、日本人が読んでもとてもおもしろく、ためになる。

🔗 名詞 + 向けに

7 ~にかかわる【~という重大なことに関係する】

●ただ「関係がある」という意味ではなく、それに重大な影響を与えるという意味。

①人の名誉にかかわるようなことを言うな。

②プライバシーを守るということは人権にかかわる大切な問題です。

③教育こそは国の将来にかかわる重要なことではないでしょうか。

🔗 名詞 + にかかわる + 名詞

練習

1 動作の対象

A どちらが正しいですか。正しい方の記号を○で囲みなさい。

1 あなたの林先生に (a 対して b 対する) 尊敬心はいつ頃からのものですか。

- 2 地元^{じもと}の人たちの期待^{きたい}に (a こたえて b こたえる) ような活躍^{かつやく}をしたいと思いま
す。
- 3 事故^{じこ}の原因^{げんいん}に (a 関して b 関する) ただ今調査^{ちようさ}中です。
- 4 この空き地^{あち}の利用法^{りようほう}を (a めぐって b めぐる) まだ両者^{りょうしや}の対立^{たいりつ}が続^{つづ}いている。
- 5 これは若い人^{わか} (a 向けに b 向けの) デザイン^むされた服^{ふく}だけれど、母^{はは}にもとても
似合^{にあ}うと思う。

B ☐ 中の言葉^{ことば}を使って、下の文^{かんせい}を完成^{かんせい}しなさい。一つの言葉^{かひ}は1回しか使えませ
ん。

a について b に対して c にこたえて
d をめぐって e 向けに f にかかわる

わたしは昨年^{さくねん}、いのち1 _____ 病気をした。その時、この作品^{さくひん}を読んだ。これは子ど
も2 _____ やさしく書かれた本である。もっとも本^{ほん}当に子どものためになるものかどう
か3 _____ は、いろいろ議論^{ぎろん}があったようだ。この本を書いたAという作家^{さっか}4 _____、
わたしはよく知らなかったが、本の中の「病気5 _____ 闘争心^{とうそうしん}を持つことこそ大切だ」
という言葉には大変^{たいへん}励まされた。これからも読者^{どくしや}の期待6 _____、いい作品を書いてほ
しいと思う。

C ☐ の中から最も適^{もつと}当^{てきとう}な言葉^{えら}を選んで、その記号^{きごう}を _____ の上^{うへ}に書き入れなさい。
一つの言葉は1回しか使えません。

a 要求^{ようきゅう} b 人命^{じんめい} c 病気 d お年寄^{としよ}り e 規則改正^{きそくかいせい}

- 1 その _____ について医学書^{しよしら}で調べてみました。
- 2 _____ にかかわる大切な問題だから、よく聞きなさい。
- 3 学生たちの _____ にこたえて、先生方^{がた}との討論会^{とうろん}が行われることになった。
- 4 この料理は _____ 向けに味つけしてあります。
- 5 _____ をめぐって、まだ議論が続いている。

ものごとが行われる目的や手段や方法、その間で役目を果たす人やものを言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a によると b 上で c を通じて d による e によって

- この曲は大学生の作曲家_____作られたそうだと。
- 小林さんの話_____, ここに新しい道路ができるということだ。
- 木村さんとは共通の友人_____知り合ったんです。
- 調査を進めていく_____関係者全員から意見を聞くことが必要だ。
- 原子力発電_____電力供給はますます増えてきている。



使えますか

- 上野には { a 地下鉄より J R 線で
b 地下鉄より J R 線によって } 行くのが便利でしょう。
- 「赤毛のアン」は { a カナダの女性作家に
b カナダの女性作家によって } 書かれた青春小説のベストセラーです。
- 旅行の切符やホテルの予約は、 { a 旅行会社を通しての
b 旅行会社を通して } 予約が簡単で確実です。
- { a 小学生とテレビの関係について調査するために
b 小学生とテレビの関係について調査するように } アンケートを行うことにした。
- 外国語を勉強する上で { a テレビをさっそく買った。
b テレビはかなり役に立つ。

答は次のページにあります。

I 目的 あることを目指して、またはあることをするために、と言いたい時

 2級 1 ~ように 2 ~上で	 1級 3 ~べく 4 ~んがため (に)・~んがための
--	--



I・1 ~ように【~という目的が実現することを期待して】

- ①かぜが早く治るように注射を打ってもらいました。
- ②「黒板の字がよく見えるように前の席に座りましょう。」
- ③誰にもわからないようにそっと家を出たのだが、母に見つかってしまった。
- ④小鳥が集まって来るように庭にパンくずをまいた。

🔊 「～」には話す人の意志を表さない動詞（意志を含まない動詞や可能の意味を表す動詞など）が来る。

🔗 動詞の辞書形・～ない形 + ように → 12課 1 「～ように・～ような」



I・2 ~上で【～のに】

●「～」という重要な目的を表す。

- ①テレビは外国語の勉強の上でかなり役に立ちます。
- ②今度の企画を成功させる上で、ぜひみんなの協力が必要なのだ。
- ③数学を学習する上で大切なことは、基礎的な事項をしっかりと身につけることだ。
- ④有意義な留学生活をおくる上での注意点は下に書いてある通りです。

🔊 ×日本での生活の上でいろいろなものを買った。
後には、その目標に必要なこと、大切なことなどを述べる文が来る。動作を表す文は来ない。

○日本での生活の上で必要なものは何ですか。



1 e 2 a 3 c 4 b 5 d



1 a 2 b 3 a 4 a 5 b



どうし じしょけい めいし
動詞の辞書形／する動詞の名詞十の 十上で

→11課 I・3 「～の上で・～上・～上の」



I・3 ～べく【～う（よう）と思って】



●「ある目的をもってそうした」と言いたい時。

①ひとこと鈴木さんに別れの言葉を言うべく彼のマンションを訪れたのだが、彼はすでに出発したあとでした。

②彼女は新しい気持ちで再出発するべく、長野県の山村に引っ越して行った。

③田中氏は記者会見場に向かうべく、上着を着て部屋を出た。



×インドのラムさんを迎えるべく空港まで行ってください。

後の文には依頼や命令、働きかけを表す文は来ない。

○インドのラムさんを迎えるべく空港まで行っただが、会えなかった。



動詞の辞書形 十べく（「する」は「すべく」もある）



I・4 ～んがため（に）・～んがための【～う（よう）という目的をもって】



●「ぜひ実現させたい積極的な目的をもってあることをする」と言いたい時。

①研究を完成させんがため、彼は昼夜寝ずにがんばった。

②一日も早く自分の店を持たんがために、必死で働いているのだ。

③これも勝たんがための練習だから、がんばるしかない。

④災害から1週間たった。避難先のこの地で生きんがための方法をあれこれ考えて昨夜はよく眠れなかった。



×大学に進学せんがためにがんばってください。

後の文には依頼や命令、働きかけを表す文は来ない。

○あの頃わたしは大学に進学せんがために、毎日必死でがんばった。



文語的な硬い表現。



動詞の（ない）形 十んがために（「する」は「せんがため」）

II 手段・媒介 しゅ だん ばい かい ものごとが行われる手段や方法、その間で役目を果たす人やものを言いたい時



- 1 ~によって・~による
- 2 ~によって
- 3 ~によると・~によれば
- 4 ~を通じて・~を通して



- 5 ~をもって



II・1 ~によって・~による

●「~」という手段や方法で、あることをすると言いたい時。

- ①その問題は話し合いによって解決できると思います。
- ②ボランティア活動に参加することによって自分自身も多くのことを学んだ。
- ③数学者は正しい推論によって次々と定理を導き出す。
- ④彼は両親の死後、叔父家族の温かい援助と励ましにより、自分の目指す道に進むことができた。
- ⑤山田さんの仲介による商談は結局、不調に終わった。



×駅までバスによって行ったらどうですか。

×じゃ、この書類をファックスによってお願いします。

「~によって」は身近な道具や手段には使われない。

○駅までバスで行ったらどうですか。

○じゃ、この書類をファックスでお願いします。



名詞 + によって



II・2 ~によって【~に】

●受身文において、受身動詞の動作の主体を表す。

- ①「リア王」はシェークスピアによって書かれた三大悲劇の一つです。
- ②このボランティア活動はある宗教団体によって運営されている。
- ③地震予知の研究はアメリカ、中国、日本などの専門家によって進められてきた。



うけ み ぶん どう さ し ゅ
受身文の動作主はふつうは「に」によって表されるが、特に文の主語が生物以外のもので特定の動作主に焦点を当てたい場合などには「～によって」が使われることが多い。



めい し
名詞 + によって



II・3 ～によると・～によれば【～では】

●伝聞の文において、その内容をもたらした情報源を表す。

- ①テレビの長期予報によれば、今年の夏は特に東北地方において冷夏が予想されるそうです。
- ②経済専門家の予想によると、円高傾向は今後も続くということだ。
- ③妹からの手紙によれば、弟は今年、オーストラリアの自転車旅行を計画しているとのことだ。



名詞 + によると



II・4 ～を通じて・～を通して【～を手段として／～を間に立つものとして】

●何かが成立する時や何かをする時の仲立ちや手段となる人やものごとを表す。

- ①わたしはそのことをテレビのニュースを通じて知りました。
- ②彼とは共通の友人を通じて知り合った。
- ③「このような民間レベルの国際交流を通じて、両国の相互理解が少しずつでも進んでいくことを願っています。」
- ④「社長に会うときは、秘書を通してアポイントメントを取ってください。」
- ⑤田中さんご夫妻を通しての結婚の話は残念ながらうまくいかなかった。



「～を通じて」「～を通して」は同じように使える場合が多いが、「～を通じて」は「～」を何かが成立するときの媒介、手段としてとらえ、「～を通して」は「～」を間に立てて何かをする、という積極的な意味で使われることが多い。

→ 3 課 5 「～を通じて・～を通して」



II・5 ～をもって【～で】



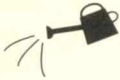
●「～」を用いてあることをするという意味。

- ① 誠実な田中さんは非常に努力をもって問題解決に当たりました。
- ② 試験の結果は、1週間後に書面をもってお知らせします。
- ③ 今回のアルバイトでわたしは働くことの厳しさを身をもって経験した。
- ④ 彼の実力をもってすれば、金メダルは間違いないだろう。
- ⑤ 彼の能力をもってしても、社長になるのは無理だろう。



×この紙を10枚ずつクリップをもって留めておいてください。
身近で具体的な道具や手段にはあまり使われない。

○この紙を10枚ずつクリップで留めておいてください。



練習

2

目的・手段・媒介

- A どちらの使い方が適切ですか。いい方の記号に○をつけなさい。
- 1 この病気の治療を続ける上で、
 - a 注意しなければならないことはどんなことでしょうか。
 - b 有名な病院に移ることにしました。
 - 2 ラジオ講座を聴くべく、
 - a ラジオのスイッチを入れよう。
 - b ラジオのスイッチを入れたら、思いがけないニュースをやっていた。
 - 3
 - a いい写真をとるように
 - b いい写真がとれるように
 } 高級なカメラを買った。
 - 4 来年は受験なので、
 - a わたしが楽しく勉強するように
 - b 子どもが楽しく勉強するように
 } 部屋を改造しようと思う。
 - 5 タンさん一家は
 - a 新しい生活を始めんがため
 - b 新しい生活が始まらんがため
 } 国を離れた。

B 下の文の下線の言葉が□の中の言葉で言い換えられる時は、その記号を()の中に書きなさい。一つの言葉は1回しか使えません。ただし、言い換えられないものが二つあります。

a によって b をもって c をもってすれば
d を通じて e べく f 上で g によると

- 1 古いものを知ることで新しいものをつくり出すことができる。
()
- 2 けさの新聞では、今年の交通事故の死者数は1万人を超えそうだとのことだ。
()
- 3 この町は自転車で買い物に行ったりするには、ちょっと坂が多すぎるんですよ。
()
- 4 父の知人の紹介で、わたしはこの会社に入ることができた。
()
- 5 この写真集はこの地方の伝統文化を知るのに、とても役に立ちました。
()
- 6 ご依頼の件につきましては、当協会の規定により正式な文書でお申し込みいただきたく、お知らせいたします。
()
- 7 彼は知らせを待っているだろうから、とりあえず電話で知らせてあげよう。
()
- 8 部長の説得力で当たれば、あのがんこな社長も主張を曲げるかもしれない。
()
- 9 昔の人々は江戸で米や野菜を売るためにこの川を舟で下って行ったという。
()

C の中の言葉を使って文を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

- | | | |
|-------|------|--------|
| a ように | b べく | c を通じて |
| d による | e 上で | f によると |

私の兄は、現在、^{げんざい}京都^{きょうと}のある大学で^{かんせい}環境デザインを勉強している。兄1____、この学部は若い先生が多く、授業もとても活気があるそうだ。先生たちの考えでは、いい授業をする2____何より大切なのは、教師と学生の間の知的な相互作用であり、その考えから、学生たち一人ひとりが積極的に授業に参加できる3____、少人数制のクラスになっているそうだ。また、学生たち4____自主的な活動も盛んだということだ。私は兄5____この大学についていろいろ知るようになった。来年は私もこの大学に入る6____、努力するつもりだ。

ものごとの始まりと終わり、上と下の限界、その間を言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a をはじめ b にかけて c にわたって d を通じて e だけ

- 奈良には法隆寺____古い寺がたくさんある。
- 食べ放題というのは、食べたい____食べてもいいということです。
- 九月から十月____は、各地で祭りが行われます。
- 彼はすべての科目____、いつも成績がいい。
- 在学期間____、彼はいつもクラスのリーダーだった。



使えますか

- a ご両親をはじめ、 } ご家族の皆さんはお元気ですか。

b ご両親からして、 }
- a 夜中から明け方まで、 } 弱い地震が数回あった。

b 夜中から明け方にかけて、 }
- a あしたは東北地方の全域にわたって、 } 雪が降ります。

b あしたは東北地方の全域のかぎり、 }
- ここにあるものを { a できるだけたくさん運んでください。

b できるだけたくさん運んでください。
- a この地方は年間のかぎり } 雨が少ない。

b この地方は年間を通じて }

答は次のページにあります。

起点・終点・限界・範囲

ものごとの始まりと終わり、上と下の限界、その間を言いたい時



- 1 ～をはじめ（として）・
～をはじめとする
- 2 ～からして
- 3 ～から～にかけて
- 4 ～にわたって・～にわたる
- 5 ～を通^{つう}じて・～を通^{とお}して
- 6 ～だけ・～だけの
- 7 ～かぎり・～かぎりの



- 8 ～を皮^{かわ}切りに（して）・
～を皮切りとして
- 9 ～に至^{いた}るまで
- 10 ～を限^{かぎ}りに
- 11 ～をもって
- 12 ～というところだ・
～といったところだ



1 ～をはじめ（として）・～をはじめとする【～を第一^{だいいち}に】



●「～」に代表^{だいひょう}となるものをあげ、「同じグループの他のものもみんな」と言いたい時。

- ①ご両親^{りょうしん}をはじめ、家族^{みな}の皆さんによろしくお伝え^{つた}ください。（手紙文）
- ②わたしは日本に来てから保証人^{ほしょうにん}をはじめ多くの方のお世話^くになって暮らしています。
- ③東京の霞ヶ関^{かすみ がせき}には、国会議事堂^{こっかい ぎ じ だう}をはじめとして国のいろいろな機関^{き かん}が集まっています。
- ④アジアで行われた初めての^{はじ}世界女性会議^{じょせいかい ぎ}には、アメリカをはじめとする世界各国^{かっこく}の女性代表^{だいいひょう}が参加^{さんか}した。

🔊 2「～からして」の🔊を参照^{さんしょう}。



2 ～からして【～を第一^{れい}の例として】

- ①わたしはあの人があまり好き^すではない。下品^{げ ひん}な話し方^{はなし かた}からして気にいらない。
- ②この地方^{ち ほう}の習慣^{しゅうかん}はわたしのふるさとの習慣^{しゅうかん}とはずいぶん違^{ちが}っている。第一、毎日の食べ物^{たべもの}からして違^{ちが}う。



1 a 2 e 3 b 4 c 5 d



1 a 2 b 3 a 4 a 5 b

③この店の雰囲気は好きになれない。まず、流れている音楽からしてわたしの好みではない。

🔊 「～をはじめ」と意味、用法はよく似ているが、「～をはじめ」は代表をとりあげ、それを含む全体を言う。「～からして」はふつうはあまり問題にならないことをわざわざ取りあげ、「それが第一に」と言ってマイナスのことを表現することが多い。

🔗 名詞 + からして

3 ～から～にかけて【～から～までの間】

①このスタイルは1970年代から1980年代にかけて流行したものだ。

②朝、7時半から8時にかけて、電車が大変込み合う。

③あすは東北から関東にかけて、小雨が降りやすい天気になるでしょう。(天気予報)

④首都高速道路は銀座から羽田にかけて、ところどころ渋滞となっております。(交通情報)

🔊 ×A駅からB駅にかけて、わたしのアパートがあります。

×夜中から明け方にかけて、チンさんが訪ねて来ました。

「～から～まで」は始まりと終わりがはっきりしていて、その間ずっと同じ状態が続いていることを表す。「～から～にかけて」は始まりと終わりがそれほどはっきりしていない。後の文は1回だけのことでなく、連続的なこと。

○A駅からB駅にかけてアパートがたくさん並んでいる。

○夜中から明け方にかけて弱い地震が数回あった。

🔗 名詞 + から + 名詞 + にかけて

4 ～にわたって・～にわたる【～の全体に】

●「～の範囲の全体にそのことが言える」と言いたい時。

①今度の台風は日本全域にわたって被害を及ぼした。

②理事会の決定については、すべての学部にわたって学生の不満が広まった。

③全課目にわたり優秀な成績をとった者には奨学金を与える。

④1年間にわたる橋の工事がようやく終わった。

⑤7日間にわたった競技大会も今日で幕を閉じます。

めいし
名詞 + にわたって

5 ～を通じて・～を通して【～の間ずっと】

- ① 人類の歴史を通じて、地球のどこかで常に戦争が行われていた。
- ② この地方は一年を通じてほとんど同じような天候です。
- ③ 留学時代を通して、わたしは保証人や先生からとてもいい影響を受けた。
- ④ 一年を通して彼は無遅刻、無欠席でがんばり、皆勤賞をもらった。

👉 「～を通して」は積極的、意志的な文と結びつくことが多い。

→ 2 課 II ・ 4 「～を通じて・～を通して」



6 ～だけ・～だけの【～の範囲は全部】

- ① テーブルの上のものは食べただけ食べてもいいのです。
- ② 「ここにあるお菓子をどうぞ好きなだけお取りください。」
- ③ 「あしたはできるだけ早く来てください。」
- ④ わかっているだけのことはもう全部話しました。

👉 ③のように「できるだけ～」の形で慣用的に使うこともある。

🔗 連体修飾型（肯定形だけ。「名詞+の」の形はない） + だけ



7 ～かぎり・～かぎりの【～の限界まで】

- ① 「何かわたしにお手伝いできることがあったら言ってください。できるかぎりのことはいたしますから。」
- ② 戦後このあたりは見渡すかぎり焼け野原だった。
- ③ さあ、いよいよあしたは入学試験だ。力のかぎりががんばってみよう。
- ④ わたしたちのチームが負けそうになったので、みんなあらんかぎりの声を出して応援した。

👉 慣用表現として上のような例がよく使われる。

→ 8 課 3 「～かぎり（は）」



8 ～を皮切りに(して)・～を皮切りとして【～から始まって】

●「～から始まって、その後次々に」と言いたい時。

- ①そのバンドは東京公演を皮切りに、各地で公演をすることになっている。
- ②彼の発言を皮切りにして、大勢の人が次々に意見を言った。
- ③この作品を皮切りとして、彼女はその後、多くの小説を発表した。



9 ～に至るまで【～までも】



●「ものごとの範囲がそんなことにまで達した」と言いたい時。

- ①警察の調べは厳しかった。現在の給料から過去の借金の額に至るまで調べられた。
- ②中山さんはよほどわたしに関心があるらしく、休日のわたしの行動に至るまでしつこく知りたがった。
- ③身近なごみ問題から国際経済の問題に至るまで、面接試験の質問内容は実にいろいろだった。

☞ 上限を強調して表すのであるから、「～」には極端な意味の名詞が来る。

名詞 + に至るまで



10 ～を限りに【～を最後として】

●今まで続いていたことが今後はもう続かなくなることを表す。

- ①今日を限りに禁煙することにしました。
- ②今回の取引を限りに、今後A社とはいっさい取引しない。
- ③今年度を限りに土曜日の業務は行わないことになりました。

☞ 「～の限界まで」という意味の次のような慣用的表現もある。

・遠くなっていく船に向かって、彼は声を限りに恋人の名を呼んだ。



11 ～をもって【～で】



- ①「本日をもって今年の研修会は終了いたします。」
- ②今回をもって粗大ごみの無料回収は終わりにさせていただきます。(お知らせ)

③「これをもちまして^{だい かいそつぎょうしき しゅうりょう}第十回卒業式を終了いたします。」

📖 ^{こうしきぶんしよ} 公式文書やあいさつなどにみられる言い方。



12 ~というところだ・~といったところだ【^{さいこう}最高でも~だ/せいぜい~だ】

①このクラスの毎回のテストの^{へいきんでん}平均点は75点といったところだろうか。

②「毎日の^{すいみん}睡眠時間？ そうですねえ、6時間といったところです。」

③来年度わたしがもらえそうな^{しょうがくきん}奨学金はせいぜい5万円というところだ。

📖 せいぜい~だ、最高でも~だ、~以上ではない、と言いたい時の言い方なので、「~」にはあまり多くないと思える^{すうりょう}数量が来る。

🔗 数量 +というところだ



練習

3 ^{きてん}起点・^{しゅうてん}終点・^{げんかい}限界・^{はん い}範囲

A ☐ 中の^{ことば}言葉を使って、下の文を^{かんせい}完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えませ
ん。

I

a をはじめ b からして c にかけて
d にわたる e ^{つう}を通じて f だけ g かぎり

わたしは1990年から91年1 _____ 世界のあちこちに行った。そして92年から95年まで日本の大学で勉強した。4年間2 _____ ^{りゅうがくせいかつ}留学生活の間、^{ほしょうにん}保証人3 _____ いろいろな方のお世話になった。日本では食べ物4 _____ わたしには^あ合わなくて、はじめのうちはとも^{こま}困った。しかし、日本には年間5 _____ ^{やさい}いろいろな野菜があるし、保証人も「うちの畑のものは^す好きな6 _____ 持って行っていいですよ」と言ってくれたのでありがたかった。わたし自身も、その時、力^{ちから}の及^{およ}ぶ7 _____ がんばろうと思った。

II

- | | | |
|------------------------|------------------------|-----------------------|
| a を皮 ^{かわ} 切りに | b に至 ^{いた} るまで | c を限 ^{かぎ} りに |
| d をもって | e というところ | |

- 1 今日____、もうあの人は会わない。
 - 2 A会社の初任給^{しよにんきゅう}はそんなに高くない。せいぜい18万円____だろうか。
 - 3 この映画____、以後次々にアジアの映画が日本で上映^{じょうえい}されるようになった。
 - 4 彼は神経^{しんけい}の細^{こま}い人で、その日に食べた食事の内容^{ないよう}やその値段^{ねだん}、消費税^{しょうひぜい}____、手帳^{てちょう}に書いている。
 - 5 本年度____、当協会^{とうきょうかい}は解散^{かいさん}いたします。
- B どちらが適切^{てきせつ}ですか。いい方の記号^{きごう}に○をつけなさい。
- 1 この店の商品^{しょうひん}は高級品^{こうきゅうひん}ばかりだ。(a ダイヤの指輪^{ゆびわ} b ハンカチ) からして、わたしには手が出ない。
 - 2 年末^{ねんまつ}から年始^{ねんし}にかけて、わたしは (a 新しい服^{ふく}を買った b ふるさとの母のところに) 行っていた。
 - 3 この学校の屋上^{おくじょう}から見ると見渡^{わた}すかぎり (a 富士山^{ふじさん}が見える b ビルばかりだ)。
 - 4 (a 週末^{しゅうまつ} b 1週間) にわたる講習会^{こうしゅうかい}は、とても評判^{ひやうばん}がよく、次回^{じかい}もぜひ参加^{さんか}したいという人が大勢^{おおぜい}いた。
 - 5 今年は一年を^{つう}通じて (a 忙^{いそが}しかった b 日本語学校に入学した)。
 - 6 今年度をもって (a この研究会は終わります b 新しい研究会^{ほつそく}が発足します)。

ものがとが行われる時や場面しめを示したい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

- a おり 折に b うちに c ところに d さい に際して e さいちゅう 最中に

- 1 コーヒーショップで話をしている____、大切な用事わすを忘れてしまった。
- 2 このたびのわたしの入院____、いろいろな人のお世話になった。
- 3 閉会へいかいのあいさつが終わった____、中川なかがわさんが入って来た。
- 4 先日せんじつ京都へ旅行した____、京都大学の山田教授やまだ きょうじゆを訪ねた。
- 5 面接試験めんせつの____、急におなかいたが痛くなった。



使えますか

- 1 a ひじょう 非常の折には } この出口から出てください。
 b 非常の際には }
- 2 研究発表はつひょうするにあたって、 { a 病気になってしまった。
 b いろいろ準備じゅんびをした。
- 3 a 音楽を聴きいているうちに、 } 眠ねむくなってきた。
 b 音楽を聴きいているところで、 }
- 4 みち子はちょっと本を読みかけたが、 { a すぐに眠ねむってしまった。
 b 1時間で全部ぜんぶ読んでしまった。
- 5 a わたしはにぎやかな最中でも } 眠ることがある。
 b わたしは会議かいぎの最中でも }

答は次のページつぎにあります。

時点・場面 し てん ば めん しめ ものごとが行われる時や場面を示したい時



- 1 おり ～折 (に)・～折の
- 2 さい ～際 (に)・～際の
- 3 ～に際して
- 4 ～にあたって
- 5 ～ところ・～ところだ
- 6 ～かける・～かけの・～かけだ
- 7 ～うちに
- 8 さいちゅう ～最中 (に)・～最中だ
- 9 ～において・～における



- 10 ～にあって



1 おり ～折 (に)・～折の【きかい機会に】



- ①このことは今度お目にかかった折くわに詳しくお話しいたします。
- ②先月北海道に行った折ほっかいどう、偶然ぐうぜん昔むかしの友達ともだちに会った。
- ③何かの折にわたしのことを思い出したら手紙をくださいね。
- ④寒ささむ厳しい折きびから、くれぐれもお体を大切にしてください。✉

👉 「あるいい機会に」という意味であるから、後の文にはマイナスのことがらはあまり来ない。

🔗 れんたいしゅうしょくがた 連体修飾型 (否定形は少ない) ひていけい + 折 (に)



2 ～際 (に)・～際の【～時に】



- ①非常ひじょうの際はエレベーターを使わずに、階段かいだんをご利用りようください。
- ②これは昨年、ある大臣だいじんがアメリカを訪問ほうもんした際げんに、現地げんちの子どもたちから受け取うった



1 b 2 d 3 c 4 a 5 e



1 b 2 b 3 a 4 a 5 b

メッセージである。

③申込用紙は3月1日までにお送りください。その際、返信用封筒を忘れずに同封してください。

④「昨年、わたしがボランティアセミナーを行った際の記録をお見せいたします。」

連体修飾型（否定形と形容詞の例は少ない） + 際に



3 ～に際して【～をする時に】



●「あることを始める時点で」または「その進行中の時点で」という意味。

①来日に際していろいろな方のお世話になった。

②「お二人の人生の門出に際して、ひとことお祝いの言葉を申し上げます。」

③このたびの私の転職に際しましては、並々ならぬお世話になりました。

④この調査を始めるに際しては、関係者の了解をとらなければならない。

動詞の辞書形／する動詞の名詞 + に際して



4 ～にあたって【～をする時に】



●「～」という特別な時に対する積極的な姿勢を言いたい時。

①「新学期にあたって、皆さんに言っておきたいことがあります。」

②新居を購入するにあたって、わたしも夫婦はいろいろな調査をしました。

③研究発表をするにあたって、しっかり準備をすることが必要だ。

④この計画を実行に移すにあたり、ぜひ周囲の人の協力を求めなければならない。

動詞の辞書形／名詞 + にあたって



5 ～ところ・～ところだ

●ある行為のどの段階であるかを表す。

①家を出るところを母に呼びとめられ、いろいろ用事を頼まれた。

②3ページまで終わり、4ページに入るところで終了のベルが鳴ってしまった。

③ご飯を食べているところに電話がかかってきた。

④「おやすみのところを起こしてしまつてすみません。」

⑤「もしもし、今空港に着いたところです。今からそちらに行きます。」

⑥会議が終つたところへ小林さんがあわてて入つてきた。

☞ 「～ところ」の前に来る動詞の活用形によって、過去か、現在進行中か、近い未来かを示す。

また、後に来る動詞がどんな助詞をとるかによって、「～ところ」の後ろにつく助詞が、ところに、ところへ、ところで、ところを、のように変化する。

⑧ 動詞の辞書形・～ている形・～た形　＋ところ

6 ～かける・～かけの・～かけだ【途中まで～して、～し終わらない】

●ある動作をし始めるが、し終わらないで途中になっている状態を表す。

①席に座ると列車はすぐに動き出した。わたしは雑誌を読みかけて、そのままうとうと寝込んでしまった。

②こんなところに食べかけのりんごを置いて、あの子はどこへ行ったのだろう。

③別れる時、マリは何か言いかけたが、すぐに下を向いてしまった。

⑧ 動詞の(ます)形　＋かける

7 ～うちに【～している間に】

●「～」の間に、ある変化が現れることを表す。

①今は上手に話せなくても練習を重ねるうちに上手になります。

②友達に誘われて何回か山登りをしているうちに、わたしもすっかり山が好きになった。

③親しい仲間が集まると、いつも楽しいおしゃべりのうちにたちまち時間が過ぎてしまう。

④ふと外を見ると、気がつかないうちに雨が降り出していた。

☞ 「～」には継続性を表す語が来る。

⑧ 動詞の辞書形・～ている形・～ない形／名詞＋の　＋うちに

→5課II・5 「～うちに・～ないうちに」



8 ～最中（に）・～最中だ【ちょうど～中に】

- 「ちょうど～している時」という意味。

- ①新入社員しんにゅうの小林さんこばやしは、会議かいぎの最中さいちゅうにいぬむりを始めてしまった。
- ②来年度きやうどの行事日程ぎぎにっていについては、今検討けんとうしている最中さいちゅうです。
- ③今考えごとしずをしている最中さいちゅうだから、少し静かにしてください。

🔗 動詞どうしの～ている形けい/名詞めいし＋の　＋最中（に）



9 ～において・～における【～で／～に】

- ものが行われる場所、場面、状況を表す。

- ①式典しきてんはA会館かいかんにおいて行われる予定よてい。
- ②この植物しよくぶつは、ある一定いっていの環境かんきやうにおいてしか花さを咲かせない。
- ③学会がっかいにおける彼の地位かれのちいは必ずしも高くないが、彼の研究けんきゆうは高く評価ひやうかされている。
- ④このレポートでは江戸時代えどにおける庶民しよみんと武士ぶしの暮らし方くの比較ひかくをしてみた。

- 🔗 方面ほうめん、分野ぶんやにも使われる。
- ・最近ひとびと、人々の価値観かちかんにおいても、ある小さな変化へんかが見られる。
 - ・マスコミはある意味きぎにおいて、人を傷つける凶器きやうきともなる。
 - ・憲法研究けんぽうにおける山本氏やまもとの業績しは、広く知られているところである。

🔗 名詞　＋において



10 ～にあって【～に／～で】

- 「～のような特別な事態じたい、状況みに身をおいて」と言いたい時に使う。

- ①今、A国は経済成長期けいぎせいちやうきにあって、人々の表情ひやうじやうも生き生きとしている。
- ②数学すうがくは高度情報社会かうどじやうほうにあって、必要な教養ひつやうとなっている。
- ③「この非常時ひじやうじにあって、あなたはどのようにしてそんなに平気へいきでいられるのですか。」

- 🔗 ③の例のように、「こんな大変な状況たいへんにいるのに」と、後の文と逆接的につな
 げることがある。

🔗 名詞　＋にあって



練習

4 時点・場面

A 中の言葉を使って、下の文を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

- a 際 b にあたって c ところに d うちに
e 最中に f において g にあって

1 年のはじめ 1 _____、ひとことごあいさつを申し上げます。昨年は厳しい年でした。
契約交渉の 2 _____ 地震が起こったり、ようやく工事が終わった 3 _____ 台風が来たりしました。

しかし、厳しいということは、ある意味 4 _____ いいことです。困難な状況 5 _____
あれこれ考えている 6 _____ 新しい計画が生まれてくるのです。今後も何か困ったことが発生した 7 _____ はみんなで助け合っていきたいと思います。

B _____ の上に、を、に、で、また必要がない時は×を書き入れなさい。

- 1 タバコを吸っているところ _____ 見つかってしまった。
- 2 家に帰ると、夫が大阪から帰ったところ _____ だった。
- 3 コウさんはいつもわたしがご飯を食べようとしているところ _____ 来るんです。
- 4 きこの試験では、もうちょっとというところ _____、終了のベルが鳴ってしまった。
- 5 出かけようとしているところ _____、電話がかかってきた。
- 6 窓から顔を出しているところ _____ 写真に撮られたのです。
- 7 今食事をしているところ _____ です。後でこちらからお電話します。
- 8 この時計は3時をちょっと過ぎたところ _____ 止まっている。
- 9 ご家族そろってお食事のところ _____ 行つては、失礼かもしれませんよ。
- 10 赤ちゃんがもう少しで眠るところ _____ だから、ちょっと静かにしてください。

二つのことがらがほとんど同時に起こることを言いたい時や、二つのことがらの時間的な前後関係を言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a 次第 b うちに c かと思うと d からでないと e はじめて

- 1 ラッシュアワーの時は、今電車が出て行った_____もう次の電車が来る。
- 2 この書類は検討が済み_____, すぐ営業課の方へ回してください。
- 3 料理の材料は忘れない_____ノートに書いておこう。
- 4 この果物は実がもっと大きくなって_____おいしくない。
- 5 木村さんと別れて_____, 彼女の本当の心の深さを知った。



使えますか

- 1 a テレビをつけたとたんに、テレビの後ろでバチッと音がした。
b テレビが終わったとたんに、お風呂に入りなさいよ。
- 2 アメリカから帰国して以来、
 { a 大学院に入りました。
b ずっと大学院に通っています。
- 3 a 研究会での発表に先立って、主催者から発表者に対して説明があった。
b 買い物に行くに先立って、窓を閉め、かぎをかけた。
- 4 a 8時になったら、
 { b 8時になったかと思うと、 } すぐ出かけよう。
- 5 社長が着き次第、
 { a 会議を始めた。
b 会議を始めよう。

答は次のページにあります。

I 時間的同时性 じ かん てき どう じ せい 二つのことがらがほとんど同時に起こることを言いたい時



- 1 ~たとたん (に)
- 2 ~(か) と思うと・
~(か) と思ったら
- 3 ~か~ないかのうちに
- 4 ~次第 しだい



- 5 ~が早い
- 6 ~や・~や否や いな
- 7 ~なり
- 8 ~そばから



I・1 ~たとたん (に) 【~したら、その瞬間に】 しゅんかん

- 「~が終わったのとほとんど同時に予期しないことが起こった」と言いたい時に使う。
前のことと後のことは、互い たが かんけい に関係があることが多い。

- ①ずっと本を読んでいて急に立ち上がったとたん、めまいがしました。
- ②わたしが「さようなら」と言ったとたん、彼女 かのじょ は泣き出した。
- ③出かけようと思って家を出たとたんに、雨が降ってきた。
- ④電話のベルが鳴ったとたんに、みんなは急にシーンとなった。みんなが待っていた電話なのだ。

🔊 3「~か~ないかのうちに」の🔊を参照。 さんしょう



I・2 ~(か) と思うと・ ~(か) と思ったら 【~すると、すぐに】 ちよく ごと

- 「~が起こった直後に後のことが起こる」と言いたい時に使う。

- ①空で何かピカッと光ったか ひか と思うと、ドーンと大きな音がして地面が揺れた。 じ めん ゆ
- ②あの子はやっと勉強を始めた ちよく ごと と思ったら、もういねむりをしている。
- ③うちの子どもは学校から帰って来たか あそ と思うと、いつもすぐ遊びに行ってしまう。



1 c 2 a 3 b 4 d 5 e



1 a 2 b 3 a 4 a 5 b

3「～か～ないかのうちに」の「～」を^{さんしやう}参照。動詞の^{どうし}～た形 + (か) と思うと

I・3 ～か～ないかのうちに【～すると、同時に】

●「～が起こった直後に後のことが起こる」と言いたい時に使う。

①子どもは「おやすみなさい」と言ったか言わ^わないかのうちに、もう眠ってしまった。②彼はいつも終了のベルが鳴^なったか鳴^ならないかのうちに、教室を^と飛び出して行く。③この頃、うちの会社では一つの問題が解決する^{かいけつ}か^ごしないかのうちに、次々と新しい問題が起こってくる。×国へ帰ったとたんに、結^{けっこん}婚しようと思います。

×学校から帰って来たかと思うと、すぐ勉強しなさい。

×空港に着^くくか着^くかないかのうちに電話をかけるつもりです。1「～たとたん(に)」、2「～(か) と思うと・～(か) と思ったら」、3「～か～ないかのうちに」は、^{げんじつ}現実のできごとを言うのであるから、^{めいれいぶん}命令文、^{いし}意志を表す文(う・よう、つもり)、^{ひていぶん}否定文などが後に来ることはない。5「～が早いか」、6「～や・～や否^{いな}や」、7「～なり」も同じ。

動詞の辞書形・～た形 + か + ～ない形 + かのうちに



I・4 ～次第【～したらすぐ】

●「～」が起こったら、すぐ後のことをするという意志を^{いし}伝えたい^{つた}時によく使う。①「スケジュールが決まり^{しだい}次第、すぐ知らせてください。」②「資料の準備が^{じゅんび}でき^{しだい}次第、会議室にお届けします。」③「会長が^{とうちやく}到着し^{しだい}次第、会を始めたいと思います。もうしばらくお待ちください。」④新しい実験室がもうすぐできる。完成^{かんせい}^{しだい}次第、器具類^{きぐるい}のテストを始める^{よてい}予定だ。

動詞の(ます)形 + 次第



I・5 ～が早いか【～すると、同時に】

●「～が起こった直後に後のことが起こる」と言いたい時に使う。

①小田先生はチャイムが鳴る^{おだ}が^{おだ}早いか、教室に入ってきます。

②ひろ子は自転車に乗るが早いか、どんどん行ってしまった。

③その警察官は遠くに犯人らしい姿を見つめるが早いか、追いかけて行った。

🔊 3「～か～ないかのうちに」の🔊を参照。

🔊 動詞の辞書形 + が早い



I・6 ～や・～や否や【～すると、同時に】

●「～が起こった直後に後のことが起こる」と言いたい時に使う。

①よし子は部屋に入ってくるや、「変なおいがする」と言って窓を開け放した。

②そのニュースが伝わるや否や、たちまちテレビ局に抗議の電話がかかってくる。

③社長の決断がされるや否や、担当のスタッフはいっせいに仕事にとりかかった。

🔊 1 後のことは前のことに反応して起こる予想外のできごとが多い。

🔊 2 3「～か～ないかのうちに」の🔊を参照。

🔊 動詞の辞書形 + や否や



I・7 ～なり【～すると、同時に】

●「～をすると同時に、ふつうではない動作をした」と言いたい時に使う。

①子どもは母親の顔を見るなり、ワッと泣き出しました。

②彼はしばらく電話で話していたが、とつぜん受話器を置くなり飛び出して行った。

③彼は合格者のリストに自分の名前を発見するなり、とび上がって大声をあげた。

🔊 3「～か～ないかのうちに」の🔊を参照。

🔊 動詞の辞書形 + なり



I・8 ～そばから【～しても、すぐまた】

●「～しても～しても、すぐまた次のことが起こる」と言いたい時に使う。

①小さい子どもは、お母さんが洗濯するそばから、服を汚してしまいます。

②仕事を片づけるそばから次の仕事を頼まれるのでは体がいくつあっても足りない。

③もっと若いうちに語学を勉強すべきだった。今は習ったそばから忘れてしまう。



どうし じ しょけい
動詞の辞書形・～た形 + そばから

II 時間的前後関係

二つのことがらの時間的な前後関係を言いたい時



- 1 ～てはじめて
- 2 ～上で
- 3 ～て以来
- 4 ～てからでないと・
～てからでなければ
- 5 ～うちに・～ないうちに
- 6 ～に先立って・～に先立つ



- 7 ～てからというもの（は）



II・1 ～てはじめて

- 「～する前はそうではなかったが、～した後、それが理由になってやっとその状態になる」と言いたい時に使う。

- ①入院してはじめて健康のありがたさがわかりました。
- ②スポーツは自分でやってみてはじめてそのおもしろさがわかるのです。
- ③大きな仕事は十分な準備があつてはじめて成功するのだ。



II・2 ～上で【～してから】

- 「～をした後で、それに基づいて次の動作をする」と言いたい時に使う。

- ①詳しいことはお目にかかった上で、説明いたします。
- ②「申込書の書き方をよく読んだ上で、記入してください。」
- ③どの大学を受験するか、両親との相談の上で、決めます。
- ④これは一晩考えた上での決心だから、気持ちが変わることはない。



動詞の～た形・する動詞の名詞+の + 上で



II・3 ～て以来【～してから、ずっと】

●「ある動作の後、ある状態がずっと続いている」と言いたい時に使う。

- ①大学を卒業して以来、中山さんには一度も会っていません。
- ②一人暮らしを始めて以来、ずっと外食が続いている。
- ③あの画家の絵を見て以来、あの画家にすっかり夢中になっています。



×退院して以来、旅行に行きました。

後には一回限りのことを表す文は来ない。

○退院して以来、家で静かに暮らしています。



II・4 ～てからでないと・～てからでなければ【～した後でなければ】

●「～した後でなければだめだから、前もって～することが必要だ」と言いたい時に使う。

- ①野菜を生で食べるなら、よく洗ってからでないと、農薬が心配だ。
- ②木村教授には前もって電話してからでないと、お会いできないかもしれません。
- ③そのことについては、よく調査してからでなければ、責任ある説明はできない。



後には困難や不可能の意味の文が来る。



II・5 ～うちに・～ないうちに

●「～と反対の状態になったら実現が難しいから、そうなる前に」と言いたい時。

- ①独身のうちに、いろいろなことをやってみたいです。
- ②「若いうちに勉強しなかったら、いったいつ勉強するんですか。」
- ③体が丈夫なうちに、一度富士山に登ってみたい。
- ④「タンさんは3月に国へ帰るそうだよ。」
「本当？ 東京にいるうちにぜひ一緒に食事をしようって言ってたんだ。」
- ⑤スープに生クリームを加えたら、沸騰しないうちに火からおろす。(料理の本から)



連体修飾型 (現在形だけ) +うちに

→ 4課7「～うちに」



II・6 ～に先立って・～に先立つ【～の前に準備として】



- ①出発に先立って、大きい荷物は全部送っておきました。
- ②計画実行に先立って、周りの人たちの許可を求める必要がある。
- ③首相がA国を訪問するに先立って両国の政府関係者が打ち合わせを行った。
- ④移転に先立つ調査に、時間もお金もかかってしまった。

☞ 「～」には大きな仕事などを表す言葉が来る。

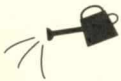
🔗 どうし じしよけい 動詞の辞書形／する動詞の名詞 + に先立って



II・7 ～てからというもの（は）【～してから、ずっと】

- ①たばこをやめてからというもの、食欲が出て体の調子がとてもいい。
- ②あの本を読んでからというもの、どう生きるべきかについて考えない日はない。
- ③円高の問題は深刻だ。今年になってからというもの、円高傾向は進む一方だ。

☞ 「～」が後の状態の契機になっている場合が多い。話す人の心情がこもっている。



練習

5 時間的同时性・時間的前後関係

□の中から適当なものを選んで（ ）の言葉と一緒に使い、前の文と後の文をつなげなさい。

- a 次第 b たとたん c 上で d て以来
e そばから f てからでないと

(立ち上がる)

1 いすから _____ いすが倒れた。

そうだん
(相談する)

2 おや せんばい 親や先輩とよく _____ 進路を決めます。

そつぎょう
(卒業する)

3 大学を _____ 一度もあの人に会っていない。

かた
(片づける)

4 _____ あの子は部屋をちらかす。

(やむ)

5 雨が _____ 出かけましょう。

(考える)

6 よく _____ 行くか行かないか決められない。

a 先に立って b うちに c てはじめて
d かと思うと e てからというもの

あたた
(温かい)

7 _____ 召し上がってください。

こうじ かいし
(工事開始)

8 _____ 近所にあいさつをする必要がある。

(着く)

9 かれ 彼は家に _____ 玄関に倒れてしまった。

(入院する)

10 _____ 看護婦の仕事の大変さがわかった。

(入院する)

11 病院に _____ 世間のできごとがまったくわからない。

ものごとがある方向に向かって進行している、または、一方が変化すると、それに応じて他方も変化する、と言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a ほど b 一方だ c につれて d にしたがって e つつある

- 1 学校で習った英語は、その後全然使わないので忘れる_____。
- 2 これは消防士の命を支える綱なのだから、丈夫なら丈夫な_____いい。
- 3 図書館の利用者が増える_____、本の数をもっと増やそうと思っている。
- 4 手術の後、日がたつ_____、体力も回復してきた。
- 5 都会人が失い_____もの、それは昔の人が衣食住に感じた季節感ではないだろうか。



使えますか

- 1 カードで買い物をする、 { a 結局は借金が増えるばかりだ。
b いい物が増えるばかりだ。
- 2 a 試験の日になるにしたがって、
b 試験の日が近づくにしたがって、 } だんだん心配になってきた。
- 3 暖かくなるにつれて、 { a 桜のつぼみもふくらんできた。
b 桜の花を見に行こう。
- 4 この本は始めは難しいが、読み進むにしたがって、 { a おもしろい。
b おもしろくなってくる。
- 5 a 課長になればなるほど、
b 社会的地位が上がれば上がるほど、 } 責任が増す。

答は次のページにあります。

I 進行 しん こう ものごとがある方向に向かって進行していると言いたい時 ほうこう む

2級

- 1 いっぽう 一方だ
2 いっぽう ばかりだ
3 いっぽう つつある



I・1 一方だ【ますます～していく】

●「～」の方向にだけ変化が進んでいることを表す。

- ① 2週間前に入院した母の病状は悪くなる一方いっぽうで、心配しんぱいです。
② 家賃やちんの高さ、物価ぶつ かの上昇じょうしょう、公害こうがいなど、東京は住みにくくなる一方だ。
③ 事業に失敗して希望を失い、川口さんの生活は荒れていく一方だった。

☞ 変化を表す動詞と接続する。2「～ばかりだ」の☞を参照。

🔗 動詞の辞書形 一方だ



I・2 ばかりだ【ますます～していく】

●悪い方向にだけ変化が進んでいることを表す。

- ① 父は年をとってから気難きむずかしくなるばかりで、この頃ごろは誰も寄りつこうとしない。
② 選挙せんきょの時の意見の対立が原因で、党内の二つのグループの関係は悪化するばかりだ。
③ この頃の委員長いいんちょうの行動はよいとは言えない。彼への不信感ふしんかんは増すばかりだ。

☞ ×この頃、雨が降る一方です。

×遠い外国にいて帰国したい気持ちをもつばかりだった。

! 「～一方だ」と同じように、変化を表す動詞と接続する。

○この頃、寒さむくなる一方です。

○遠い外国にいて故郷こきょうを思う気持ちは増すばかりだった。



1 b 2 a 3 d 4 c 5 e



1 a 2 b 3 a 4 b 5 b

動詞の辞書形 + ばかりだ



I・3 ～つつある【今ちょうど～している】



- ①休みが増え、社員食堂ができ、職場環境は改善されつつある。
- ②この国の経済も最近は安定しつつあるが、国民の生活の向上にはまだまだ時間がかかりそうだ。
- ③わたしはホテルの窓から山の向こうに沈みつつある夕日を眺めながら、一杯のコーヒーをゆっくり楽しんだ。

動詞の（ます）形 + つつある

II 相関関係 一方が変化すると、それに応じて他方も変化すると言いたい時



- 1 ～ば～ほど・～なら～ほど・～ほど
- 2 ～につれて
- 3 ～にしたがって
- 4 ～に伴って
- 5 ～とともに

II・1 ～ば～ほど・～なら～ほど・～ほど【～すれば～になり、もっと～すればもっと～になる】

●「一方の程度が変われば、それと一緒に他方も変わる」と言いたい時の表現。

- ①就職試験のことは、考えれば考えるほど心配になってくる。
- ②お礼の手紙を出すのは早ければ早いほどいい。
- ③日常使う器具の操作は簡単なら簡単なほどいい。
- ④「アパートを探しています。駅に近いほどいいんですが、どこかありませんか。」
- ⑤優れた営業マンほど客の声に耳を傾け、外の人の批判にも謙虚になれるものだ。

④⑤のように「～ば」や「～なら」を省略した文もある。



II・2 ～につれて【～すると、だんだん】

●「一方の程度が変化すれば、そのことが理由となつて、他方も変化する」という意味。

①時間がたつにつれて、印象も次第に薄れていくから、今のうちに書いておこう。

②震災の被害状況についての調査が進むにつれ、被害の深刻さが次第に明らかになってきた。

③温度が上がるにつれて、水の分子の動きが活発になってくる。

④日本語の上達につれて、友達が増え、日本での生活が楽しくなってきた。

🔍 1 前の文にも後の文にも変化を表す言葉が来る。このことは、3「～にしたがつて」、4「～に伴つて」、5「～とともに」も同じ。

🔍 2 ×二十歳になるにつれて、将来の志望を決めた。
1回だけの変化には使えない。これはIIの項目に共通の注意。

○二十歳に近づくにつれて、将来の志望がはっきりしてきた。

🔍 3 「～につれて」の後には話す人の意向を表す文（「～するつもり」など）や働きかけの文（「～ましょう」など）は来ない。

🔗 動詞の辞書形／する動詞の名詞 + につれて



II・3 ～にしたがつて【～すると、次第に】



①警察の調べが進むにしたがつて、次々と新しい疑問点が出てきた。

②今後、通勤客が増えるにしたがつて、バスの本数を増やしていこうと思っている。

③物価の上昇にしたがい、リサイクル運動への関心が高まってきた。

🔍 1 2「～につれて」の🔍 1と🔍 2を参照。

🔍 2 「～にしたがつて」、4「～に伴つて」、5「～とともに」は後の文に話す人の意向を表す表現が来ることもある。

🔗 動詞の辞書形／する動詞の名詞 + にしたがつて



II・4 ～に伴つて【～すると、それと一緒に】



①彼は成長するに伴つて、だんだん無口になつてきた。

- ②問題解決の能力は、経験を重ねるに伴って、だんだんに身についてくる。
- ③病気の回復に伴って、少しずつ働く時間を伸ばしていくつもりだ。
- ④社会の情報化に伴い、特に重要性を増してきたのが数学的な考え方である。

🔊 2「～につれて」の🔊 1、🔊 2と3「～にしたがって」の🔊 2を参照。
 🔊 動詞の辞書形／名詞 +に伴って

II・5 ～とともに【～すると、それと一緒に】

- ①陽射しが強まり、気温が高くなるとともに次々と花が開き始める。
- ②この国では内戦の拡大とともに、人々の生活の安定は次第に失われていった。
- ③秋の深まりとともに今年も柿がおいしくなってきた。

🔊 2「～につれて」の🔊 1、🔊 2と3「～にしたがって」の🔊 2を参照。
 🔊 動詞の辞書形／名詞 +とともに

練習

6 進行・相関関係

A どちらの使い方が適切ですか。いい方の記号に○をつけなさい。

- 1 寒くなってきたので、
 { a 遅刻する学生がいる一方だ。
 b 遅刻する学生が増える一方だ。
- 2 a この頃、成績がよくなるばかりなので、わたしはうれしいです。
 b この頃、成績が悪くなるばかりなので、わたしは心配です。
- 3 a A社との共同プロジェクトは順調に進行しつつあります。皆さん、ご期待ください。
 b 食事の準備ができつつあるから、もうちょっと待つてね。
- 4 日本にいる期間が長くなればなるほど、
 { a 日本のことがわからなくなる。
 b 日本のことがわからない。

- 5 寒^{さむ}くなるにつれて、
 { a エアコンの温度^{おんど}設定^{せってい}をだんだん高くしよう。
 b ブーツの売り上げ^{うりあげ}が伸びてきた。
- 6 女性^{じょせい}の社会^{しんしゆつ}進出^{しゆんしゆつ}に伴^{ともな}って、
 { a 日本でも離婚^{りこん}が増えてきた。
 b 日本でも離婚^{りこん}がある。
- 7 { a 学生数^{すう}が増えるにしたがつて、
 b 学生数^{すう}が増えるにつれて、 } 学生食堂^{がくせいじやうどう}のスペースを広げるつもりだ。

B ☐ 中の言葉^{ことば}を使って文^{ぶん}を完成^{かんせい}しなさい。一つの言葉^{ことば}は1回^{かい}しか使えませんが。

a につれて b ほど c にしたがって
 d つつある e ばかり f 一方^{いっぽう}

わたしは今、大学院の2年生です。専攻^{せんこう}は「コンピューターによる画像^が処理^{ざうしゅり}」です。
 どんな勉強^{べんきやう}をしているのか、家族^{かぞく}に説明^{せつめい}するのですが、みんな、難^{むずか}しくて聞けば聞く
 1 _____ わからなくなると言います。社会^{しやかい}の情報^{じやうほう}化^かが進^{すす}む2 _____、重要^{じやうようせい}性を増^まして
 きた分野^{ぶんや}で、いろいろな方面^{ほうめん}で注^{ちゆう}目^{もく}され3 _____ んですよ。専攻^{せんこう}を希望^{きぼう}する学生^{がくせい}も増
 える4 _____ で、教授^{きやうじゆ}も喜^{よろこ}んでいらっしゃいます。教授^{きやうじゆ}は、卒業^{そつぎやうせい}生^{せい}が増える5 _____、
 将来^{しやうらい}の就^{しゅう}職^{しよく}先^{きき}をどんどん新^{かいたく}しく開^{かい}拓^{たく}するつもりだ、とおっしゃっています。わたしも
 実験^{じっけん}が多^{おほ}くて、家^{おそ}へ帰^{かえ}る時間^{じかん}が遅^{おそ}くなる6 _____ ですが、充^{じゅう}実^{じつ}した毎日^{まいにち}です。

二つのことを一緒に、またはあることを伴わないで何かををしたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a ついでに b つつ c をこめて d ぬきで e ことなく

- 1 太郎は花子に心_____赤いバラの花を贈った。
- 2 一日にあったことを考え_____、夜、散歩するのが習慣になっている。
- 3 森氏は女性問題について特に深く考える_____、軽い気持ちで言ったのだ。
- 4 彼らはこの問題について、食事_____5時間も話し合っている。
- 5 出張でアメリカに行った_____、ボストンの美術館にも寄ってみた。



使えますか

- 1 a 神田まで行ったついでに、古本屋を2、3軒見て来た。
- b 医者として病院に勤めるついでに、漫画家としても活躍している。
- 2 a 先生のお宅へ伺いつつ、ごあいさつをした。
- b 彼は山道を登りつつ、人生について考えた。
- 3 a さあ、硬いあいさつはぬきにして、大いに飲みましょう。
- b 日曜日はぬきにして、わたしは毎日アルバイトをしている。
- 4 a 花子はいつもは砂糖を入れることなく、コーヒーを飲む。
- b 花子は家族にも相談することなく、エジプトへの留学を決めた。
- 5 a 今日はおしゃべりぬきの静かな授業だった。
- b 3千円というのは消費税ぬきの値段です。

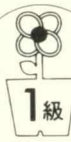
答は次のページにあります。

付帯・非付帯

二つのことを一緒に、またはあることを伴わないで何かをしたいと思います時



- 1 ~ついでに
- 2 ~つつ
- 3 ~をこめて
- 4 ~ことなく
- 5 ~ぬきで・~ぬきに・~ぬきの
- 6 ~をぬきにして・~はぬきにして



- 7 ~かたわら
- 8 ~がてら
- 9 ~かたがた
- 10 ~ながら・~ながらに・
~ながらの
- 11 ~なしに・~ことなしに



1 ~ついでに【~する機会につけ加えて】

●「ものごとを行う機会をつかまえて、都合よく外のこともつけ加えて行う」と言いたい時の言い方。

- ①上野の美術館に行ったついでに、久しぶりに公園を散歩した。
- ②買い物のついでに、図書館に寄って本を借りてきた。
- ③パリの国際会議に出席するついでに、パリ大学の森先生をお訪ねしてみたい。

🔍 1 前の文は初めからの予定の行動で、後の文は予定以外の追加的な行動。

🔍 2 ×帰宅のついでに、郵便局へ寄りました。

「機会をとらえて」という意味であるから、習慣的な行為で誰でも必ずしなければならぬようなことにはあまり使わない。

🔗 動詞の辞書形・~た形/する動詞の名詞+の +ついでに



2 ~つつ【~ながら】



- ①汽車に揺られつつ、2時間ほどいい気持ちでうとうと眠った。
- ②夜、仕事を終えて、ウイスキーを味わいつつ、気に入った推理小説を読むひととき



1 c 2 b 3 e 4 d 5 a



1 a 2 b 3 a 4 b 5 b

さいこう
は最高である。

- ③「この問題については、社員の皆さんと話し合いつつ解決を図っていきたいと考えております。」

🗨️ 「～ながら」と似ているが、「～ながら」より硬い表現。

「～つつ、～する」の場合、「つつ」の後の動作が主なもの。

🔗 動詞の(ます)形 +つつ →18課3「～つつ・～つつも」

3 ～をこめて【～を含めて】

①先生、ありがとうございました。私たちの感謝をこめてこの文集を作りました。

②昔の子どもたちは遠足の前の日などに「あした、天気になりますように」と願いをこめて、てるてるぼうずという小さい人形を作り、窓の外につるした。

③あなたに、愛をこめてこの指輪を贈ります。

他例 たれい こころ いの うら 心をこめて、祈りをこめて、願いをこめて、恨みをこめて、力をこめて

4 ～ことなく【～しないで】

●「ふつうは～する、または～してしまうが、この場合は～しない状態で」の意味。

①敵に知られることなく、島に上陸するのは難しい。

②犯人は周囲の人々に怪しまれることなく、その家族に近づくことができた。

③彼は先生にも友達にも相談することなく、帰国してしまった。

🗨️ 日常的なこと、たとえば下のようなものにはあまり使わない。

・うっかりして、切手をはることなくポストに入れてしまった。

🔗 動詞の辞書形 +ことなく →25課I・6「～ことなく」

5 ～ぬきで・～ぬきに・～ぬきの【～を入れないで】

●「ふつうは含まれるもの、本来当然あるべきものを加えずに」と言いたい時。

①「今晚の会はアルコールぬきのパーティーなんですよ。」

「えっ、お酒なし？ アルコールぬきじゃつまらないね。」

②田中君の就職について、本人ぬきにいくら話し合っても意味がない。

③あのレストランの昼食は、税金・サービス料ぬきで2千円です。

👉 「名詞+ぬき」で名詞のように使う。

〇〇 名詞 +ぬきで

6 ~をぬきにして・~はぬきにして【~を入れないで】

●「ふつうは含まれるもの、当然あるものを加えずに」と言いたい時の表現。

①交通機関についての問題は乗客の安全をぬきにして論じることとはできない。

②「今日は硬い話はぬきにして、気楽に楽しく飲みましょう。」

③政治の問題はぬきにして、とにかく集まろうということだった。

④「冗談はぬきにして、もっとまじめに考えてくださいよ。」

→20課5 「~をぬきにしては」

7 ~かたわら【~一方で、別に】

●「あることをする一方で、並行して別のこともしている」と言う時の表現。

①川田さんは銀行員として勤めるかたわら、作曲家としても活躍している。

②市川氏は役所で働くかたわら、ボランティアとして外国人に日本語を教えている。

③あの人は大学院での勉強のかたわら、作家活動もしているそうです。

👉 1 「~かたわら」は「~ながら」に比べ、長い期間続いていることに使う。
職業や立場などを両立させている場合によく使われる。

👉 2 「~かたわら」の「~」には、その人が本来していることが来る。

〇〇 動詞の辞書形/する動詞の名詞+の +かたわら

8 ~がてら【~を兼ねて】

●「一つのことをする時に、つけ加えて外のこともする」と言う時の言い方。

①「散歩がてら、ちょっと郵便局まで行ってきます。」

②買い物がてら、新宿へ行って展覧会ものぞいて来よう。

③駅まで30分ほどかかるが、天気の良い日は運動がてら歩くことにしている。

④桜が満開だから、少し遠回りして駅まで歩きがてらお花見をして行こう。

- ☞ 「～がてら」は一つの行為が二つの目的をもつ。後には、歩く、行くなど移動に関係のある動詞がよく使われる。
- 🔗 動詞の（ます）形／する動詞の名詞 +がてら



9 ～かたがた【～も同時にするつもりで】



- 「二つの目的をもたせて、あることをする」と言う時の表現。

- ①最近ご無沙汰をしているので、卒業のあいさつかたがた保証人のうちを訪ねた。
- ②ご無沙汰のお詫びかたがた、近況報告に先生をお訪ねした。
- ③彼がけがをしたということを聞いたので、お見舞いかたがた、彼のうちを訪ねた。

- ☞ 一つの行為に二つの目的をもたせる言い方。あらたまった場面やビジネス的な人間関係の場面でよく使われる。後には、訪問する、上京するなど移動に関係のある動詞がよく使われる。

他例 お祝いかたがた、お礼かたがた、ご報告かたがた

🔗 する動詞の名詞 +かたがた



10 ～ながら・～ながらに・～ながらの【～のままの状態】

- ①戦火を逃れてきた人々は涙ながらにそれぞれの恐ろしい体験を語った。
- ②彼には生まれながら備わっている品格があった。
- ③10年ぶりに昔ながらの校舎や校庭を見て懐かしかった。

- ☞ 慣用的な表現が多い。涙ながらに（涙を流して）、生まれながら（生まれつき）、昔ながらの（昔のままの）など。

🔗 名詞 +ながら →18課1「～ながら」、18課11「～ながらも」



11 ～なしに・～ことなしに【～しないで】



- 「ふつうは～する、または～してしまうが、この場合は～しない状態で」の意味。

- ①断りなしに人の部屋に入るな。
- ②彼女の話は涙なしには聞けない。
- ③血を流すことなしに、国を守ることができるのか。
- ④なんとか母に気づかれることなしに、家を出ることができた。



どうし じょけい
動詞の辞書形

+こと

めいし
名詞

+なしに

→25課 I・7 「～なしに・～ことなしに」



練習

7 付帯・非付帯

A ☐の中から最も適当な言葉を選んで、その記号を____の上に書きなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

- a かたがた b なしに c ついでに d はぬきにして e つつ
f ことなく g がてら h ながらに i をこめて j かたわら

- 1 太郎、買い物に行く____、この手紙をポストに入れて来てくれないか。
- 2 きのお散歩____、月1回のフリーマーケットを見て来た。
- 3 中国残留孤児であった林さんは、涙____苦しかった日々について語った。
- 4 堅苦しいあいさつ____、すぐに食事にしましょう。
- 5 就職のご報告____、先生のお宅に新年のごあいさつに行った。
- 6 母は子どもたち3人のために、毎朝、心____弁当を作ってくれたものだ。
- 7 田中さんは大学で教える____、小説を書いている。
- 8 断り____、この部屋のものを使っては困ります。
- 9 講義を聞き____、いつしか寝てしまい、目が覚めたら教室に誰もいなかった。
- 10 どんなに非難されても、彼はひとことの弁解もする____黙って去って行った。

B ☐の中から適当な語を選んで、次の文の下線の言葉を言い換えなさい。記号で答えなさい。

- a なしに b ぬきで c ついでに d かたわら e つつ

- 1 上京する^{き かい}機会を利用して^{り よう}、上野公園^{うえ の こうえん}の近くに^{お ば たず}住む叔母を訪ねてみよう。

()

- 2 太郎は親^{おや}にも教師^{きょうし}にも相談^{そうだん}しないで^{しん ろ き}、進路を決めてしまった。

()

- 3 一つのプロジェクトを進め^{すす}ながら、別の新しいプロジェクトを始めるのは大変^{たいへん}だ。

()

- 4 給料^{きゅうりょう}は、保険料^{ほ けんりょう}や税金^{ぜい金}を^{やく}入れなくて、約25万円です。

()

- 5 大川^{おおかわ}さんは高校^{こうこう}に勤め^{つと}る一方^{いっぽう}で、別に^{じゅう}塾で英語講師^{こうし}をしている。

()

じょうきょう じょうけん かぎ
状況や条件を限りたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a に限り b に限って c かぎり d かぎりでは e に限らず

- 1 わたしはクラシック音楽____、音楽なら何でも好きです。
- 2 あの人がそばにいてくれる____、わたしは安心していられる。
- 3 名簿で調べた____、そういう名前の人はこの学校にはいません。
- 4 65歳以上の人____、入場料は無料です。
- 5 うちの子____、そんな悪いことをするはずがない。



使えますか

- 1 わたしは { a とうふだけは好きになれない。
b とうふに限って好きになれない。
- 2 a わたしが疲れている時に限って { 部長に仕事を頼まれる。
b わたしが疲れているかぎりでは
- 3 あの人に限って、 { a いつもわたしに親切だ。
b そんなばかなことはしないと思う。
- 4 a 日本に着いた限り、 { 節約を心がけなければならない。
b 日本にいる限り、
- 5 わたしが知るかぎりでは、 { a そんな町に行きたい。
b そんな町はこの地方にはない。

答は次のページにあります。

げん てい
限定 じょうきょう じょうけん かぎ
状況や条件を限りたい時

2級

- 1 ～に限り
2 ～に限って
3 ～かぎり (は)
4 ～かぎりでは

1級

- 5 ただ～のみ
6 ～ならでは
7 ～をおいて



1 ～に限り【～だけは】

- 「～だけ特別に～する」と言いたい時。

- ①この券けんをご持参じさんのお客さまに限り、200円割わりり引きひいたします。
②電話取りつぎは8時まで。ただし、急ようを要ようする場ばい合あいに限り、11時まで受うけ付つける。
③朝9時までにらいてんご来店の方かたに限り、コーヒーマのサービスがあります。



めいし
名詞 + に限り

→ 9 課 I・3 「～に限らず」



2 ～に限って【～の場合だけは】

- 「～の時だけ、～だけは特に」と言いたい時。

- ①自信じしんがあると言う人ひとに限って、あまりよくできていないようだ。
②ハイキングに行こうという日ひに限って雨が降ふる。わたしはいつも運うんが悪いなあ。
③あの先生せんせいに限ってそんな叱しかり方かたはしないと思う。
④あの人ひとに限ってみんなを裏切うらぎるなんてことはしないだろうと思っていたのに……。



- 1 「特別このにその場合ばいだけ好ふましくない状況じょうきょうになって不ふ満まんだ」と言いたい時に使う。
(①②の例)



- 2 信しん頼らいや特別きな期き待たいをもつて話わ題だいにし、「その人ひとだけは好ふましくないことはしないはずだ」と推すい量りょうする時に使う。(③④の例)



1 e 2 c 3 d 4 a 5 b



1 a 2 a 3 b 4 b 5 b



3 ～かぎり (は) 【～の状態が続く間は】

- ① 体が丈夫なかぎり、思いきり社会活動をしたいものだ。
 ② 日本がこの憲法を守っているかぎりは、平和が維持されると考えていいだろうか。
 ③ 小川氏がこの学校の校長でいるかぎり、校則は変えられないだろう。
 ④ 「わたしの目の黒いかぎり、おまえに勝手なことはさせないぞ。」



「～」にはその時の状態を表す言葉、後にも時間的に幅のある表現が来る。



連体修飾型 + かぎり(は)

→ 3 課 7 「～かぎり・～かぎりの」



4 ～かぎりでは【～の範囲のことに限れば】

- ある判断をするための材料の範囲を限定する。

- ① この売り上げ状況のグラフを見るかぎりでは、わが社の製品の売れ行きは順調だ。
 ② ちょっと話したかぎりでは、彼はいつもとまったく変わらないように思えた。
 ③ 今回の調査のかぎりでは、この問題に関する外国の資料はあまりないようだ。



動詞の辞書形・～た形／名詞＋の + かぎりでは



5 ただ～のみ【ただ～だけ】



- ① マラソン当日の天気、選手にとってはただそのみが心配だ。
 ② この問題は先進諸国ではすでに解決済みで、ただ日本のみが大幅に立ち遅れていたのだ。
 ③ ただ厳しいみではいい教育とは言えない。
 ④ 今はもう過去を振り返るな。ただ前進あるみ。

→ 9 課 I・5 「ただ～のみならず」



6 ～ならでは【～でなければ～ない】

- 「～以外では不可能だ、ただ～だけが～できると感心する言い方。」

- ①この絵には子どもならでは表せない無邪気さがある。
 ②この祭りは京都ならではの光景です。
 ③これは芸術的才能のある山本さんならではの作品だと思います。

👉 「～ならではの」の「の」は、見られない、できない、などの動詞の代わり。
 名詞 + ならでは



7 ～をおいて【～以外に】



- 「～以外に外にない」と言いたい時。

- ①この仕事をやれる人はあなたをおいて外にいないと思います。
 ②こんないやなことを引き受ける人は彼をおいて誰もいない。
 ③海洋学を勉強するなら、入るべき大学はあの大学をおいて外にない。

👉 「～をおいて～ない」の形で使う。
 「それと比較できるものは外にない」と高く評価する時に使うことが多い。
 名詞 + をおいて



練習

8 限定

- A 中の言葉を使って、次の文を完成しなさい。一つ言葉はⅠ、Ⅱそれぞれに1回ずつしか使えません。

a に限り b に限って c かぎりでは d のみ
 e かぎりは f ならでは g をおいて

- Ⅰ わたしの知る1____、ヤンさんはとても芸術的才能がある人だ。今度の個展でも、ヤンさん2____の作品を見せてくれると信じている。この個展では先着30名3____、彼がかいた色紙をもらえることになっているから、友人にもすすめて

みようと思っている。

ヤンさんはわたしの後輩だから、わたしが日本にいる4____ヤンさんのお世話をしたいと思っているが、彼はなぜかわたしがお金がない時5____、お金を借りに来る。しかし、将来わたしの画廊を発展させてくれる人は、彼6____外にな
れているので、わたしは彼との交際を大切にしたい。

ヤンさんは今、ただ前進ある7____だ。将来が楽しみな青年である。

II わたしが調べた1____、わが国でこういう手術ができる人は森先生2____
外にいない。ただ森先生3____がこの難しい手術ができるのだ。あきらめていた
人に希望を与える手術は、腕がよくて心がやさしい森先生4____のものだ。

先生の手術は週に1回だけだが、急を要する場合5____、すぐに手術を始める
ことになっている。それで、先生はいつも緊張している。夕食後の数時間だけが
先生のリラックスタイムなのだが、そんな時6____、急に患者さんが来る。森先
生がわたしたちの病院にいる7____、わたしたちスタッフものんびりしてはいら
れない。

B ☐の中から最も適当な言葉を選んで、その記号を____の上書きなさい。一つ
の言葉は1回しか使えません。

- a ノーベル賞をもらったO氏
- b 最後までがんばった人
- c 医学を勉強したことがあるK氏
- d 70歳以上の人
- e 早く答案を出す人

- 1 _____に限ってあまりよくできていないようだ。
- 2 ただ_____のみが栄冠を手にするのだ。
- 3 このテーマについて講演をする適任者は_____をおいてほかにいない。
- 4 _____に限り、第一診察室で健康診断を受けることができます。
- 5 この小説は_____ならではの作品ですね。病気の症状の描写が実にうまい。

それだけに限らない、外にもあると言いたい時や、それもあるし、その上、外にもあると言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a はもとより b ばかりか c はもちろん d に限らず e に^{くわ}加えて

- 1 まさこ^{まさこ}さんは性格^{せいかく}が明るい____、人にとってもやさしいので人^{にん}気がある。
- 2 東京____どこの大都市でもゴミ問題が深刻になっている。
- 3 授業^{じゅぎょう}に出席^{しゅっせき}すること____、レポートをきちんと提出^{ていしゅつ}することも大切だ。
- 4 「今回のプロジェクトでは、スタッフ____、各方面^{かくほうめん}からのご協力^{きょうりょく}が得られたことを感謝^{かんしゃ}しております。」
- 5 今、書いている報告書^{ほうこくしょ}____次^{つぎ}の仕事の計画書も書かなければならないことになった。



使えますか

- 1 a このレストランは味がいいうえに、安いので、いつも^こでんでいる。
b 食事を作ったうえに、部屋^{へや}のそうじもしなさいよ。
- 2 この服^{ふく}は色がいいのみならず、
 { a デザインも新しい。
 b わたしが一番^{ばん}好きな服だ。
- 3 このバンドは若者^{わかも}に限らず、
 { a うちの母も好きだ。
 b 広い年齢層^{ねんれいそう}の人たちにも人^{にん}気がある。
- 4 a 小川^{おがわ}さんは専門^{せんもん}の経済問題^{けいぎ}ばかりか、法律^{ほうりつ}についても詳^{くわ}しい。
 b 専門^{せんもん}の経済問題^{けいぎ}ばかりか、法律も少し勉強しなさい。
- 5 手術^{しゅじゅつ}の後^{のち}は、
 { a おかゆはもちろん、ふつうのごはんも食べられない。
 b ふつうのごはんはもちろん、おかゆも食べられない。

答^{こた}は次のページにあります。

I 非限定 ひ げん てい それだけに限らない、外にもあると言いたい時



- 1 ~ばかりでなく
- 2 ~ばかりか
- 3 ~に限らず かぎ
- 4 ~のみならず



- 5 ただ~だけでなく・
ただ~のみならず・
ひとり~だけでなく・
ひとり~のみならず
- 6 ~にとどまらず



I・1 ~ばかりでなく【~だけでなく】

●「~だけでなく、はん い範囲はもっと大きく外にも及ぶおよ」と言いたい時に使う。

- ①わたしたちは日本語ばかりでなく、英語や数学の授業も受けています。
- ②「今日は頭が痛いばかりでなく、吐き気は けもするし、少々熱もあるんです。」
- ③テレビの見過ぎは子どもの目を弱めるばかりでなく、自分で考える力を失わせると言われている。
- ④あの人は有名な学者であるばかりでなく、環境問題の活動家でもある。
- ⑤会議では森さんの仕事上のミスについてばかりでなく、彼の私生活の話まで出た。



めい し れんたいしゅうしよくがた
名詞／連体修飾型（「名詞＋の」の形はない） ＋ばかりでなく



I・2 ~ばかりか【~だけでなく】

●「~だけでなく、その上にもっと程度の重いことがらも加わる」という意味。

- ①いくら薬を飲んでも、なぜが治らないばかりか、もっと悪くなってきました。
- ②この頃彼は遅刻が多いばかりか、授業中にいねむりすることさえあります。
- ③彼は仕事や財産ばかりか、家族まで捨てて家を出てしまった。
- ④あの人は仕事に熱心であるばかりか、地域活動も積極的にしている。



1 b 2 d 3 c 4 a 5 e



1 a 2 a 3 b 4 a 5 b



×自分のことばかりか、他人^{たにん}のことも考えられる人間になりなさい。

×試験^{せんじつ}の前日ばかりか、ふだんもしっかり勉強しろ。

「～ばかりか」の後には、命令^{めいれい}、強制^{きやうせい}の文が来ることはほとんどない。

○自分のことばかりでなく、他人のことも考えられる人間になりなさい。

○試験の前日ばかりでなく、ふだんもしっかり勉強しろ。



1「～ばかりでなく」と同じ。



I・3 ～に限らず【～だけでなく】

●「～だけでなく、～が属^{ぞく}するグループの中の全部^{ぜんぶ}に当てはまる」と言いたい時。

①日曜日に限らず、休みの日はいつでも、家族と運動をしに出かけます。

②男性^{だんせい}に限らず女性^{じよせい}も、新しい職業分野^{しよくぎやうぶん}の可能性^{かのうせい}を広げようとしている。

③この家^いに限らず、このあたりの家はみんな庭の手入れ^{てい}がいい。



名詞 + に限らず

→ 8 課 1 「～に限り」



I・4 ～のみならず【～だけでなく】



●「～だけでなく、範囲^{はんい}はもっと大きく外にも及^{およ}ぶ」と言いたい時に使う。

①山川^{やまかわ}さんは出張先^{しやっちやうさき}でトラブルを起^おこしたのみならず、部長^{ぶちやう}への報告^{ほうこく}も怠^{おこた}った。

②私立大学^{しりつ}のみならず国立大学^{こくりつ}でも学費^{がくひ}の値上^{ねあ}げは避^さけられないようだ。

③この不景気^{ふけいき}では、中小企業^{ちやうしやうきぎやう}のみならず大企業^{けいひ}でも経費^{けいひ}を削^{けず}る必要^{ひつやう}がある。



名詞／普通形型（な形容詞と名詞は「である型」） + のみならず



I・5 ただ～だけでなく・ただ～のみならず・ひとり～だけでなく・ひとり～のみならず【～だけでなく】



●「～だけでなく、範囲はもっと大きく外にも及ぶ」と言いたい時に使う。

①ただ東京都民^{とみん}だけでなく、全国^{ぜん}民が今度の知事選^{ちじせん}に関心^{かんしん}をもっている。

②会社の業績改善^{ぎやうせきかいぜん}は、ただ営業部門^{えいぎやうぶもん}のみならず、社員全体^{ぜんたい}の努力^{どりよく}にかかっている。

③今回の水不足^{こんかい みず ぶそく}はひとりA県^{けん}だけでなく、わが国全体の問題である。

④学校の「いじめ」の問題は、ひとり当事者^{とうじしや}のみならず家庭^{かてい}や学校全体^{かいけつ}で解決^{かいけつ}してい

なければならない。

🗨️ 日常会話の中では、「～だけでなく」、1「～ばかりでなく」、3「～に限らず」などを使う。「ひとり～のみならず」は特に書き言葉的。

→ 8 課 5 「ただ～のみ」



I・6 ～にとどまらず【～だけでなく】



●「あることがらが、～という狭い範囲を越えて、より広い範囲に及ぶ」と言う時。

① 彼のテニスは単なる趣味にとどまらず、今やプロ級の腕前です。

② 田中教授の話は専門の話題だけにとどまらず、いろいろな分野にわたるので、いつもとても刺激的だ。

③ 学歴重視は子どもの生活から子どもらしさを奪うにとどまらず、社会全体を歪めるに至っている。

🗨️ 「(ある話題)は、～にとどまらず、～だ」の形で使う。

🔗 名詞／普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」) + とどまらず

II 付加 ふ か それもあるし、その上、外にもあると言いたい時



2級

- 1 ～も～ば～も・～も～なら～も
- 2 ～うえ (に)
- 3 ～はもちろん
- 4 ～はもとより
- 5 ～に加えて



1級

- 6 ～はおろか
- 7 ～もさることながら
- 8 ～と相まって



II・1 ～も～ば～も・～も～なら～も【～も～し～も】

●前のことがらと同じ方向のことがらを加える (プラスとプラス、マイナスとマイナス)。何かを言いたい時の理由として提出される場合が多い。

① きのうの試験は問題も難しければ量も多かったので、苦労しました。

②あしたは数学の試験もあればレポートも提出しなければならないので、今晚は寝られそうもない。

③あのメーカーの製品は値段も手頃なら、アフターケアもきちんとしているので、人気がある。

④今度の仕事は予算も不足なら、スタッフも足りないので、成功は望めそうもない。

 同類のものや対立するものを並べて、両方あるという意味の言い方もある。

・りんごにはいろいろな種類がある。赤いのもあれば、黄色いのもある。

・楽もあれば苦もあるのが人生というもののだ。



II・2 ～うえ（に）【～。それに】

●前のことがらと同じ方向のことがら（プラスとプラス、マイナスとマイナス）を「それに」という気持ちで加える。

①ゆうべは道に迷ったうえ、雨にも降られて大変でした。

②この機械は操作が簡単うえに、小型で使いやすい。

③彼の話は長いうえに、要点がはっきりしないから、聞いている人は疲れる。

 後に、命令、禁止、依頼、勧誘などの相手への働きかけの文は来ない。

 連体修飾型 +うえ（に）



II・3 ～はもちろん【～は当然として】

●「～は当然として、言うまでもないことだが」という意味。

①復習はもちろん予習もしなければなりません。

②浅草という町は日曜、祭日はもちろん、ウィークデーにもぎやかだ。

③大都市ではもちろん、地方の小さな農村でも情報がすばやくキャッチできるようになってきた。

④山下さんは勉強についてはもちろんのこと、私生活の問題まで何でも相談できる先輩だ。



II・4 ～はもとより【～は当然として】



●「～は当然として、ほかのことからも」という意味。

① 体の弱^{よわ}い^ぶく^じが無^む事^じに学^{がく}校^{こう}を卒^{そつ}業^{ぎょう}で^{りょう}きた^{しん}の^{かた}も^{がた}両^{りょう}親^{しん}は^{かた}も^{がた}と^{えん}より、い^いろ^ろい^ろな^な方^{かた}々^々の^{えん}援^{えん}助^{じょ}が^あっ^たた^から^です。

②数学は、^{しぜん かがく}自然科学や社会科学はもとより^{ほうめん}どんな方面に^{すす}進む人にとっても^{じゅうよう}重要だ。

③アジアでは、日本はもとより、多くの国がこの大会の成果に期待している。

「～はもとより」は、3「～はもちろん」より書き言葉^{ことばでき}的な言い方。



II・5 ～に加えて^{くわ}

●「今まであったものに類似^{るいじ}の別のものが加わる」と言いたい時に使う。

①^{たいふう}台風が近づくにつれ、大雨に加えて風も強くなってきた。

②今学期から日本語の授業に加えて、英語と数学の授業も始まります。

③今年から家のローンに加えて、子どもの^{がくひ}学費を^{はら}払わなければならないので、^{たいへん}大変だ。



めいし
名詞 + に加えて



II・6 ～はおろか【～はふつうとしても】

●「～はふつうとしても、ほかのことがらも」という意味。

①わたしのうちにはビデオはおろかテレビもない。

②今度の^{てんさい}天災のために、家財^{かざい}はおろか家^{うしな}まで失ってしまった。

③この地球上には、電気、ガスはおろか、水道さえない生活をしている人々がまだまだたくさんいる。

④木村さんは会計学についてはおろか、法律一般の知識もないらしい。



「も、さえ、まで」などの強調の語と一緒に使って、話す人の驚きや不満の気持ちを表す。



あい て はたら めいれい きん し いらい かんゆう
相手への働きかけ（命令、禁止、依頼、勧誘など）の文には使わない。



II・7 ～もさることながら【～も無視できないが】

●「～も無視できないが、ほかのことがらも」と言いたい時に使う。

①子どもの心を傷つける要因として、「いじめ」の問題もさることながら、不安定な社

会そのものの影響も無視できない。

②あの作家の作品は、若い頃の作品もさることながら、老年期に入ってからのものも実にすばらしい。

③最近、世界の政治や宗教の問題もさることながら、人権問題も多くの人の注目を集めている。



II・8 ～と相まって【～と影響し合って】



●「あることがらに、～という別のことがらが加わって、よりいっそうの効果を生む」という意味。

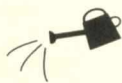
①彼の才能は人一倍の努力と相まって、みごとに花を咲かせた。

②彼の厳しい性格は、社会的に受け入れられなかった不満と相まって、ますますその度を増していった。

③日本の山の多い地形が、島国という環境と相まって、日本人の性格を形成しているのかもしれない。



名詞 +と相まって



練習

9 非限定・付加

A どちらの使い方が適切ですか。いい方に○をつけなさい。

1 最近の若者は女性 { a はもとより、 } 男性もファッションに興味をもっているようです。
b と相まって、

2 テレビゲームのし過ぎは子どもの視力を弱める { a もさることながら、 } 子ども
b にとどまらず、
の基礎体力まで低下させているということだ。

3 「このりんご、おいしい！ あまい { a のみならず、 } 酸味もちょうどいいわ。」
b だけでなく、

4 今年は家の新築 { a に加えて } 姉の結婚式もあるので忙しくなりそうだ。
b に限らず、

B 次の文を完成させるものとして、どちらが適切ですか。○をつけなさい。

1 この本は内容が難しいうえに、 { a 字が大きいので案外読みやすい。
b 翻訳がよくないので読みにくい。

2 復習ばかりか、 { a 予習もしなければならないので毎日忙しい。
b 予習もしなさい。

3 「このかばん、いいでしょう。 { a ひとり値段だけでなく、便利さも気に入っているのよ。」
b 値段はもちろん便利さも気に入っているのよ。」

4 うちの子は親の手伝いはおろか、 { a 自分の部屋のそうじもするんです。
b 自分の部屋のそうじもしないんです。

5 この電車は昼の時間帯はもとより、 { a ラッシュアワーの間もそんなに込まない。
b ラッシュアワーの間も込む。

C ☐ 中の言葉を使って文を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a もとより b 相まって c とどまらず
d さることながら e のみならず f 限らず

最近のサッカーの人気はすごい。古くからのファンは1____、ふつうのスポーツファンの人気も集めている。特に人気のあるチームの試合となると、ファンの熱狂はただのスポーツの試合の応援に2____、まるでお祭り騒ぎだ。サッカーがこのように盛んになったのは、ファンの熱心な応援も3____、地元^{じもと}に根をおろしたプロのチームを作ろうという関係者の努力が実を結んだのだろう。

先月のサッカー大会でも、主催者の組織力が、晴天続きという好条件と4____大会に大成功をもたらした。しかし、関係者も選手もこの人気に安心してはいけない。サッカーに5____プロのスポーツというものは、ファンがいるからこそのものである。

これから選手たちにおもしろく、見る者^{もの}に感動^{かんどう}を与えるような試合^{し あい}を見せてほしいと
いうのが、ひとり熱狂^{ねつきやうてき}的なファン6 一般^{いっばん}のサッカーファン^{ねが}の願いだろう。

二つ以上のものを比べたり、あるものが一番だと言ったり、二つ以上のものを対立させて考えたりしたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a どころか b に限る c に反して d 一方で e かわりに

- 1 疲れた時は、温かいお風呂に入って寝る_____。
- 2 今日は雨が降っていたので、いつもの散歩の____、部屋でダンベル体操をした。
- 3 今年の夏は冷夏という予報だったが、冷夏_____記録的な暑い夏になってしまった。
- 4 父は弟を医者にしたかったらしいが、弟はその期待_____スポーツの世界に入ってしまった。
- 5 田村課長は仕事には厳しかった____、部下の面倒はよく見た。



使えますか

- 1 今度の旅行に行こうか行くまいか、
 { a 早く決めてください。
 b 迷っています。
- 2 会社勤めは時間にしばられる反面、
 { a 生活の安定というよさがある。
 b 自由業には自由がある。
- 3 駅員「横浜へ行くには一番線の特急に
 { a 乗るに限ります。」
 b 乗るのが一番早いです。」
- 4 東京に対して { a 京都の方がもっと古い町だ。
 b 京都は高層ビルが少ない。
- 5 妹に比べて { a 姉は留学したことがある。
 b 姉は英語が得意だ。

答は次のページにあります。

I 比較・最上級 ひ かく さい じょう きゅう 二つ以上のものを比べたり、あるものが一番だと言ったりしたい時 くら いちばん



- 1 ~に比べて くら
- 2 ~ほど~はない・
~くらい~はない
- 3 ~に限る かぎ



- 4 ~にもまして



I・1 ~に比べて

●二つ以上のものを並べて、ある点について比較する。 なら てん

- ①本が好きな兄に比べて、弟は活動的で、スポーツが得意だ。 す かつどうてき とく い
- ②今年は昨年に比べて、米の出来がいいようだ。 さくねん こめ で き
- ③女性は男性に比べ、平均寿命が長い。 じょせい だんせい へいきんじゅみょう



名詞 + に比べて めい し



I・2 ~ほど~はない・~くらい~はない【~は最高に~だ】 さいこう

●話す人が主観的に「~は最高に~だ」と感じ、強調して言う時に使う。 しゅかんてき かん きょうちよう

- ①「暑いねえ。」 あつ
「まったく今年の夏ほど暑い夏はないね。」
- ②彼ぐらいわがまなやつはいない。 かれ
- ③困っている時、思いやりのある友人の言葉はどうれしいものはない。 こま ゆうじん ことば
- ④夕食後、好きな音楽を聴きながら、本を読むくらい楽しいことはない。 ゆうしょくご き



×富士山ほど高い山はない。 ふ じ さん

客観的な事実については使わない。 きやくかんてき じつ



1 b 2 e 3 a 4 c 5 d



1 b 2 a 3 b 4 b 5 b

○富士山は日本で一番高い山だ。

めいし 名詞／連体修飾型 + ほど（くらい）～はない



I・3 ～に限る【～が一番いい】

●話す人が主観的に「～が一番いい」と思って、そう主張する時に使う。

- ①一日の仕事を終えた後は、冷えたビールに限ります。
- ②自分が悪いと思ったら、素直に謝ってしまうに限る。
- ③子どもの育て方で問題を抱えている時は、育児書に頼ったり一人で悩んだりしてないで、とにかく経験者の意見を聞いてみるに限る。
- ④太りたくなければ、とにかくカロリーの高いものを食べないに限る。

✎ ×医者「この病気を治すには、手術に限りますよ。」

客観的な判断を言う時は使わない。

動詞の辞書形・～ない形／名詞 + に限る



I・4 ～にもまして【～以上に】



●「～も～だが、それ以上に～だ」と言いたい時に使う。

- ①私自身の結婚問題にもまして気がかりなのは姉の離婚問題です。
- ②ゴミ問題は何にもまして急を要する問題だ。
- ③きのう友達が結婚するという手紙が来たが、それにもましてうれしかったのは彼女の病気がすっかり治ったということだった。

共起 疑問詞+にもまして

名詞 + にもまして

II 対比 たいひ 二つ以上のものを対立させて考える時 たいりつ



- 1 ~う（よう）か~まいか
- 2 ~どころか
- 3 ~一方（で） いっぽう
- 4 ~に対して たい
- 5 ~に反して・~に反する・
~に反した はん
- 6 ~反面・~半面 はんめん はんめん
- 7 ~というより
- 8 ~かわりに
- 9 ~にかわって



- 10 ~ないまでも
- 11 ~にひきかえ

II・1 ~う（よう）か~まいか【~をしようか、するのはやめようか】

●どちらがいかと迷^{まよ}ったり、考えたりする時に使う。

- ①朝出かけるとき、かさを持って行こうか行くまいかと迷うのはいつものことだ。
- ②九月に大切な試験があるので、夏休みに国へ帰ろうか帰るまいか、考えています。
- ③知事^{ちじ}は博覧会^{はくらんかい}の開催^{かいさい}を中止^{ちゅうし}しようかするまいか、最後の決断^{さいご けつだん}を迫^{せま}られていた。

🔗 動詞^{どうし}の辞書形^{じしょけい}（動詞II・IIIは「(ない) 形+まいか」もある。「する」は「すまい」もある） + まいか → 21課 8 「~う（よう）か~まいか」

II・2 ~どころか A【~はもちろん、もっと程度の重^{ていど}い（軽^{おも}い）~も】

- ①この製品^{せいひん}はアジア諸国^{しよこく}どころか遠^{とほ}い南米^{なんべい}やアフリカにまで輸出^{しゅつしゆ}されている。
- ②うちの父^{ちち}はお酒^{さけ}はまったくだめで、ウイスキーどころかビールも飲^のめない。
- ③隣^{となり}の部屋^{へや}に住む人は出会^{であ}っても話^わをするどころか、あいさつもしない。

~どころか B【~なんてとんでもない、事実^{じじつ}は~だ】

●「～を^{かんぜん}完全に^{ひてい}否定して、^{じじつ}事実はその^{せいはんたい}正反対だ」と言いたい時に使う。

①タクシーで行ったら道が^こ込んでいて、早く着くどころかかえって30分も^{ちこく}遅刻してしま
った。

②休日に子ども^づ連れで^{ゆうえんち}遊園地に出かけるのは、楽しいどころか^{くる}苦しみ半分だ。

③「先日お^か貸した本、どうでしたか。^{たいくつ}退屈だったんじゃないですか。」

「退屈どころか^ね寝るの^{わす}も忘れて読んでしまいましたよ。」



「～どころか」は「～どころではなく」の言い方もある。



名詞／連体修飾型（「名詞＋の」の形はない）＋どころか



II・3 ～一方（で）^{いっぽう}

●あることがらについて二つの^{めん}面を^{たいひ}対比して^{しめ}示す。

①いい親は厳しく叱る一方^{しか}で、ほめることも忘れない。

②一人暮らしは寂しさを感じる^{かん}ことが多い一方、^{きらく}気楽だというよさもある。

③この出版社は^{しやうばんしや}大衆向けの^{たいしやう}雑誌を^{ざっし}発行する一方^{はつこう}で、^{しよ}研究書も多く出版している。

④わたしの家では兄が父の会社を手^て伝う一方^{つだ}、姉がうちで母の店を手伝っている。



連体修飾型　＋一方（で）



II・4 ～に対して^{たい}

●あることがらについて二つの^{じようきやう}状況を対比するときに使う。

①日本人の^{へいきんじゆみやう}平均寿命は、^{だんせい}男性78歳（であるの）に対して^{じよせい}、女性85歳です。

②日本海側では、冬、雪が^{ゆき}多いのに対して、太平洋側では^{たいへいようがわ}晴れの^は日が続く^{つづ}。

③日本では大学に入ることにに対して出ることは^{むづか}そんなに難しくないと言われている。



名詞／連体修飾型（名詞は「である型」。「名詞＋な」の形もある）＋の　＋に対して



II・5 ～に反して・～に反する・～に反した【～に逆らって／～とは反対に】^{はん}

①^{よそう}予想に反して試験はとてもやさしかったです。

②親の^き期待に反し、^{けつぎよく}結局、彼は大学さえ^{そつぎやう}卒業しなかった。



③今回の選挙は、多くの人の予想に反する結果に終わった。

☞ 「～」には、予想、期待、命令、意図などの言葉が来ることが多い。

🔗 名詞 + に反して

II・6 ～反面・～半面【一面では～と考えられるが、別の面から見ると】

●あることがらについて二つの反対の傾向や性質を言う時の言い方。

①彼女はいつもは明るい反面、寂しがりやでもあります。

②郊外に住むのは、通勤には不便な半面、身近に自然があるというよさもある。

③科学の発達は人間の生活を便利で豊かにする反面、環境を汚し、素朴な人間らしさを失わせることになるのではないか。

🔗 連体修飾型 + 反面

II・7 ～というより

●あることについて評価するとき、「～と言うより、(言葉を変えて)～と言った方が当たっている」と言いたい時に使う。

①コンピューターゲームは子どものおもちゃというより、今や大人向けの一大産業プロダクトとなっている。

②「この辺はにぎやかですね。」

「にぎやかというより、人通りや車の音でうるさいくらいなんです。」

③子ども「選挙で投票するというのは、国民の義務なんでしょう。」

父親「義務というよりむしろ権利なんだよ。」

④「やはり田中さんにあいさつに行った方がいいでしょうか。」

「というより、行かなければならないでしょうね。」

II・8 ～かわりに A【～しないで／～するのではなく】

●「ふつう、することをしないで別のことをする」という意味。

①雨が降ったのでテニスの練習をするかわりに、うちでテレビを見て過ごしました。

②手紙を出しに行くのに、自分で行くかわりに、弟を行かせた。

③新聞社は今年度は新聞料金を値上げするかわりに、ページ数を減らすと発表した。

動詞の辞書形／名詞＋の　＋かわりに

～かわりに　B【～の代償として】

①この辺は買い物などに便利なかわりに、ちょっとうるさい。

②ジムさんに英語を教えてもらうかわりに、彼に日本語を教えてあげることにした。

③現代人は様々な生活の快適さを手に入れたかわりに、取り返しのつかないほど自然を破壊してしまったのではないか。

連体修飾型　＋かわりに



II・9　～にかわって【～ではなく】

●「いつもの～、通常の～ではなく」と言いたい時に使う。

①「木村先生は急用で学校へいらっしゃいません。それで今日は、木村先生にかわって私が授業をします。」

②「本日は社長にかわり、私、中川がごあいさつを申し上げます。」

③ふつうの電話にかわって、各家庭でテレビ電話が使われるようになる日もそう遠くないだろう。

名詞　＋にかわって



II・10　～ないまでも【～まではしないが／～まではできなくても】

●「～の程度には達しなくても、それより下の程度には達する」と言いたい時。

①「休みごとには帰らないまでも、1週間に1回ぐらいは電話をしたらどうですか。」

②選手にはなれないまでも、せめて趣味でスポーツを楽しみたい。

③給料は十分とは言えないまでも、これで親子4人がなんとか暮らしていけます。

④営業目標は100パーセント達成したとはいかないまでも、一応満足すべき結果だと言える。

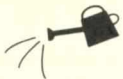


II・11 ～にひきかえ【～とは反対に／～とは大きく変わって】

- ① ^{こめ ぶ そく}ひどい米不足だった去年にひきかえ、^{ほうさく}今年は豊作のようです。
- ② ^{せつやく か}節約家の父にひきかえ、母は^{ほんとう ろう ひ か}本当に浪費家だ。
- ③ ^{わか し わかも の}昔の若者がよく本を読んだのにひきかえ、^{かつ じ}今の若者は活字は^{にが て}どうも苦手のようだ。

☞ 4「～に対して」は、前のことがらと後のことがらを、^{ちゅうかんてき}中間的な立場で^{れいせい}冷静に^{たい ひ}対比させるが、「～にひきかえ」は、前のことがらとは^{せいはんたい}「正反対に」とか「大きく変わって」というように^{しゅかんてき}主観的な気持ちを込める時に使う。

🔗 ^{めい し れんたいしゅうしよくがた}名詞／連体修飾型（名詞は「である型」。「名詞＋な」の形もある）＋の ＋に
ひきかえ



練習

10 比較・最上級・対比

- A 中の^{こと ば}言葉を使って、^{か せん}下線の言葉を言い換えなさい。一つの言葉は1回しか使えませんが。

- | | | |
|------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| a ^{はん} に反して | b ^{さいじょうきゅう} くらい～はない | c ^{たい ひ} かわりに |
| d ^{はんめん} どころか | e ^{いっぼう} ないまでも | f ^{いっぼう} う（よう）か～まいか |
| g ^{はんめん} 反面 | h ^{いっぼう} にかわって | i ^{いっぼう} にもまして |
| | j ^{いっぼう} 一方で | |

- 1 ^{やまかわ}山川さんは^{いそが}忙しい^{き しゃせい かつ}記者生活をおくっているが、^{か せん}家族との生活も^{たい いしつ}大切にしている。
()
- 2 ^{き まつ}病気で^う期末試験が^{さい}受けられなかったが、^{さい}再試験を^{てい いしつ}受けなくて、レポートを^{てい いしつ}提出すればいいとのことだった。
()
- 3 ^{しょうらい}将来、^{にんげん}人間の^{だい たい}代替として^{か じ}ロボットが^{いっさい}家事の一切を^{いっさい}やってくれる日が来るだろうか。
()
- 4 「これ、バナナケーキなんです。お口に^あ合わないんじゃないかと^{しんぱい}心配なんですが。」

「口^あに合わないなんてとんでもない、実は大^{じつ}好^{だいこう}物^{ぶつ}なんですよ。」

()

- 5 両親^{りょうしん}の強い^{ようぼう}要望^きにより彼は自分の^{きぼう}希望^{はんたい}とは反対^{しん}に進路^{しん}を変えなければならなかった。

()

- 6 ワープロ書きの手紙^{いっけん}は一見^{いっけん}きれいで読み^{めん}やすいが、別の^{めん}面^{めん}から見るとあたたかみに欠けるのではない。

()

- 7 リンさんに本当^{ほんとう}のことを言おうか言うのはやめようかと悩^{なや}んでいる。

()

- 8 信^{しん}頼^{らい}していた友人^{ゆうじん}に裏^{うら}切^ぎられるのは最^{さい}高^{こう}につらいことだ。

()

- 9 看護^{かんご}婦^ふになって1年^{せん}。先輩^{せんぱい}たちはみんなとてもやさしいです。でも、それ以上^{いじょう}にうれ^{かん}しいのは患者^{かん}さんの「あ^ひりがとう」の一^{ひと}言^{こと}です。()

- 10 「夕^{ゆう}食^{しょく}作^{つく}りをする^むのは無^む理^りでも、せめて食^{しょく}器^き洗^{あら}いぐらい手^て伝^{つた}ってください。」

()

- B ☐ 中の言^{こと}葉^ばを使^{かん}って文^{せい}を完^{かい}成^{かい}しなさい。一つ^{いっ}の言^{かい}葉^{かい}は1回^{いち}しか使^{かい}えませ

a どころか b 反面^{はんめん} c ほど d までも
e にもまして f 対^{たい}して g というより

わたしは考古^{こうこ}学^{がく}1 おもしろい学^{がく}問^{もん}はないと思^{おも}っている。わたしにとって、考古^{こう}学^{がく}は学^{がく}問^{もん}2 趣味^{しゆみ}に近い。考古^{こう}学^{がく}者^{しや}は図^ず書^{しよ}館^{かん}で古^こい文^{ぶん}書^{しよ}に囲^{かこ}まれて過^すごすことも多い3、遺^い跡^{せき}などを発^{はつ}掘^{くつ}するフ^ふィ^いールドワ^わークも多い。そのどちらもわたしに合^あっていると思^{おも}うからだ。将^{しょう}来^{らい}は大学^{だいがく}で考古^{こう}学^{がく}を教^{しやう}えたいと思^{おも}うが、この仕^し事^じは収^{しゅう}入^{にゅう}4 支^し出^{しゅつ}が意^い外^{がい}に多^たいと聞^きいている。しかし、何^{なん}5 心^{しん}配^{ぱい}なのは、果^はたしてわ^わたしが今^{いま}の仕^し事^じをやめて大学^{だいがく}に入^い学^{がく}できるかとい^いうことだ。入^い学^{がく}できなければ、大学^{だいがく}の先^{せん}生^{せい}6、高^{こう}校^{がう}や中^{ちゅう}学^{がく}の教^{きやう}師^しになることさえない。考古^{こう}学^{がく}科^かのある有^{ゆう}名^{めい}な大学^{だいがく}とは言^いわな^ない7、せめて史^し学^{がく}科^かのある大学^{だいがく}に入^いりた^{たい}い。

ものごとを判断する時の立場や評価する時の視点を言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a にとって b として c の上で d わりには e にしては

- 1 彼はクラスの班長^{はんちやう}____、毎日ががんばっています。
- 2 彼のやったことは法律^{ほうりつ}____は、問題になることではない。
- 3 水は生物^{せいぶつ}____なくてはならないものです。
- 4 「あの人はサッカーの選手^{せんしゆ}だそうですよ。」
「そうですか。それ____体が弱^{よわ}そうですね。」
- 5 あの人は年齢^{ねんれい}の____若^{わか}く見えます。



使えますか

- 1 a 議論^{ぎろん}に時間をかけたわりには、 } いい結論^{けつろん}が出なかった。
b 会議^{かいぎ}のわりには、 }
- 2 正月はわたしにとって { a いつも楽しく過^すぎします。
b 一年中^{じゅういちねん}で一番楽しい時です。
- 3 あの人は仕事の上では { a 満点^{まんてん}をあげられる人です。
b ときどきいねむりをします。
- 4 ここは観光名所^{かんこうめいしょ}にしては、 { a 訪^{おとず}れる人が多い。
b 訪^{おとず}れる人が少ない。
- 5 課長^{かちょう}はわたしを外^かの課^{うつ}に移^{うつ}したいらしい。
わたしにしても { a この課にはもういたくない。
b この課を移^{うつ}りたくない。

答^{こた}は次のページにあります。

I 判断の立場 はん だん たち ば ものごとを判断する時の立場を言いたい時



- 1 ~にとって
- 2 ~として
- 3 ~の上で・~^{じょう}上・~^{じょう}上の
- 4 ~からいうと・~からいえば・
~からいって
- 5 ~から見ると・~から見れば・
~から見て
- 6 ~からすると・~からすれば・
~からして
- 7 ~にしたら・~にすれば



- 8 ~なりに・~なりの



I・1 ~にとって【~の立場から考えると】

●「~の立場で考えると~だ」と言いたい時。

- ①現代人^{げんだいじん}にとって、ごみをどう処理^{しゅり}するかは大きな問題です。
- ②これはありふれた絵^えかもしれないが、わたしにとっては大切な思い出のものだ。
- ③石油^{せきゆ}は現代の工業^{こうぎょう}にとってなくてはならない原料^{げんりょう}である。
- ④車はわたしにとって、作家^{さっか}にとってのペンのようなものだ。

🔍 1 ある視点^{してん}で見た場合^{ばあい}の判断^{はんぱん}や評価^{ひやうか}を述べる。

🔍 2 「~として」の🔍を参照^{さんしやう}。

🔍 名詞^{めいし} + にとって

I・2 ~として【~の立場で/~の資格^{し かく}で/~の名目^{めいもく}で】



1 b 2 c 3 a 4 e 5 d



1 a 2 b 3 a 4 b 5 a

- ①わたしは前に一度観光客として日本に来たことがある。
- ②わたしは卒業論文のテーマとして資源の再利用の問題を取り上げることにした。
- ③今回の事故につきましては、会社側としてもできるだけの補償をさせていただきます。
- ④古代ギリシャではじめて学問としての数学の歴史が始まった。
- ⑤この問題についてわたしとしては特に意見はありません。



「～にとって」と「～として」は立場を表している点ではよく似ている。しかし、「～にとって」の後の文は主として判断文（形容詞文）、「～として」の後の文は動作文が来ることが多いという違いがある。

- ・工場管理者にとって、工場内の事故は大きな責任問題です。
- ・工場管理者として、彼は今回の事故の責任をとって辞職した。



名詞 + として

I・3 ～の上で・～上・～上の【～の方面では／～を見て評価すると】

- ①この機械はみかけの上では使い方が難しそうですが、実際はとても簡単なのです。
- ②この会に参加するには、形式上面倒な手続きをとらなければならない。
- ③「お手元の決算報告書をごらんください。計算上のミスはないつもりですが。」

他例 表面上、法律上、習慣上、都合上、生活上、経済上、健康上、～の関係上

名詞 + の上で 名詞 + 上 → 2 課 I・2 「～上で」

I・4 ～からいうと・～からいえば・～からいって【～の立場から判断すると】

- ①仕事への意欲からいうと、田中さんより山下さんの方が上だが、能力からいうと、やはり田中さんの方が優れている。
- ②小林選手は、年齢からいえばもうとくに引退してもいいはずだが、意欲、体力ともにまだまだ十分だ。
- ③リンさんの性格からいって、黙って会を欠席するはずがない。何か事故でもあったのではないだろうか。
- ④教師のわたしの立場からいっても、試験はあまり多くない方がいいのです。



名詞 + からいうと



I・5 ～から見ると・～から見れば・～から見て【～の立場から観察すると】

- ①外国人のわたしから見ると、日本人はいつもとても忙し^{いそが}がっているようです。
- ②来日^{らいにちとうじ}当時の^{じょうたい}状態から見れば、彼はすばらしい成長^{せいちょう}をしたと言えるだろう。
- ③「保証^{ほしょう}人の^{にん}山田^{やまだ}さんから見て、ヤン君^{くん}の最近^{さいきん}の言動^{げんどう}をどう思われますか。」
- ④彼に好意^{こうい}的な人から見て、あの会での彼の発言^{はつげん}は許^{ゆる}せないだろう。



名詞 + から見ると



I・6 ～からすると・～からすれば・～からして【～の立場から考えると】

- ①米^{こめ}を作る農家^{のうか}からすると、涼^{すず}しい夏はあまりありがたくないことだ。
- ②伝統^{でんとう}的町並^{まちなみ}みを保存^{ほぞん}するという点^{てん}からすれば、京都^{きょうと}の家々^{いえいえ}の建て替え^{たてか}えにある程度^{ていど}の制限^{せいげん}があるのはしかたのないことだろう。
- ③この頃^{ごろ}びんや缶^{かん}などの資源^{しげん}回収^{かいしゅう}が盛ん^{きか}に行われている。これは資源^{しげん}の保護^{ほご}から見て望^{のぞ}ましいことだが、生産^{せいさん}者の側^{しや}からしても有益^{ゆうえき}なことだと思う。



名詞 + からすると



I・7 ～にしたら・～にすれば【～の気持ちでは】

- ①住民^{じゅうみん}側^{がわ}からは夜になっても工事^{こうじ}の音^{おん}がうるさいと文句^{もんく}が出たが、建築^{けんちく}する側^{がわ}にしたら、少しでも早く工事^{こうじ}を完成^{かんせい}させたいのである。
- ②姉^{あね}にすればわたしにいろいろ不満^{ふまん}があるようだけれど、わたしにしても姉には言いたいことがある。
- ③わたしはこのアパートを出て、今度は学校^{がっこう}の寮^{りょう}に入ることになりました。両親^{りょうしん}にしてもその方が安心^{あんしん}でしょう。



名詞 + にしたら



I・8 ～なりに・～なりの【～の力の及ぶ範囲で】

- ①きのう彼が出した提案^{ていあん}について、わたしに少し考えてみた。

②あの子も子どもなりにいろいろ^{しんぱい}心配しているのだ。

③「あなたはあなた^{なり}の意見をもっているでしょう。自分の意見を言いなさい。」

 「わたしなりに」の形ではよく使うが、目上の人についてはあまり使わない。

 ^{めいし}名詞 + なりに

II 評価の視点 ^{ひょう か し てん} ものごとを評価する時の視点を言いたい時



- 1 ~わりに(は)
- 2 ~にしては
- 3 ~^む向きに・~向きの・~向きだ



- 4 ~ともなると・~ともなれば
- 5 ~ともあろう
- 6 ~たる
- 7 ~まじき

II・1 ~わりに (は) 【~こととは不釣り合いに】

●「~から考えて当然であると思われる^{ていど そうとう}程度に相当していない」と言いたい時。

①わたしの母は、年をとっている^{いよくてき}わりには意欲的です。

②きのうの講演^{こうえんかい}会は、思った^{こうぜん}わりには人が集まらなかった。

③このくつは値段^{ねだん}が高いわりによく売れる。

④彼女は年齢^{かのじょ ねんれい}のわりには^{わか}若く見えます。

 2「~にしては」と意味、用法がよく似ているが、「~わりに (は)」は不釣り合いであることを問題にしていることが特徴的。「~」には程度を表す表現^{とくちようてき}が来ることが多い。

 ^{れんたいい}連体修飾型 + わりに (は)

II・2 ~にしては 【~にふさわしくなく】

●「~という事実^{じじつ}から考えると、当然とは言えない状態だ」と言いたい時に使う。

①あの人^{しんにゅう}は新入社員にしては、客^{きやく}の応対^{おうたい}がうまい。

②彼は力士^{かれ りきし}にしては体が小さめだが、毎日の努力^{どりよく}と技術^{ぎじゆつ}と天性^{てんせい}の^{ゆうしょう}カンで今日の優勝^{ゆうしょう}を

勝ち取ったのだ。

③この文は文学賞をとった彼が書いたにしては、活力がなく、おもしろさもない。

④このレポートは時間をかけて調査したにしては、詳しいデータが集まっていない。

☞ 「～にしては」は外の人を批判したり評価したりする時の言い方。自分自身のことには使いにくい。

名詞／普通形型（な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある）＋にしては

II・3 ～向きに・～向きの・～向きだ【～にちょうど合う】

①これはお年寄り向きにやわらかく煮た料理です。

②この店には子ども向きのかわいいデザインのものが多い。

③「この作家のエッセーを一度読んでごらん下さい。あなた向きだとわたしは思いますよ。」

名詞＋向きに

II・4 ～ともなると・～ともなれば【～という程度の立場になると】

①ふつうの社員は毎日きちんとタイムカードを押さなければならないが、社長ともなるといつ出勤しても退社してもかまわないのだろう。

②一国の首相ともなると、忙しくてゆっくり家族旅行などしてはいられないだろう。

③大学4年生ともなると、就職その他で大忙しだ。

④大学の教授ともなれば、自分の研究だけでなく後輩の指導もしなければならない。

☞ ×子どもともなると、外で遊びたがる。

×女の子ともなると、将来のことをいろいろ考えるようになる。

「～ともなると」の「も」は、ある幅をもった範囲のうち、程度がそこまで進んだことを表すから、「～」にはより程度が進んだことを示す名詞が来る。

○2、3歳の幼児はおとなしく家の中で遊ぶが、4、5歳の子どもともなると外で遊びたがる。

○中学生ともなると、将来のことをいろいろ考えるようになる。

名詞＋ともなると



II・5 ～ともあろう【～のような】

- ①大会社の社長ともあろう人が、^{けいそつ はつげん}軽率な発言をしてはいけない。
- ②「あなたともあろう人がどうしてあんな人のうそにだまされたのですか。」
- ③国会ともあろう機関でそのような^{きょうこう さいけつ}強行な採決をするとは許せない。

☞ 「～」には話す人が高く評価している人やものが来る。高く評価しているのに
 実際はそれにふさわしくない行動をした、または高く評価しているのだからそ
 れにふさわしい行動をしてほしいなどと、話す人の感想を述べたい時に使う。

🔗
 名詞 +ともあろう+名詞



II・6 ～たる【～の立場にある】



- 「～の立場にあるのだから、それにふさわしく」と言いたい時に使う。

- ①国を任された大臣たる者は、自分の言葉には責任をもたなければならない。
- ②一国一城の主たる者、1回や2回の失敗であきらめてはならぬ。
- ③国の代表たる機関で働くのなら、それなりの誇りと覚悟をもってください。

☞ 「～たる者」の形でよく使われる。「～」は話す人が高く評価している立場を表
 す語。文語的な表現。

🔗
 名詞 +たる+名詞



II・7 ～まじき【～てはいけない／～べきではない】



- ①学生にあるまじき行為をした者は退学処分にする。
- ②外の人を案を盗むなんて許すまじきこと、この業界では決してやってはいけない。
- ③あの大臣は、日本の責任について言うまじきことを言ってしまったために辞職に追い
 やられた。

☞ 文語的な表現。

🔗
 動詞の辞書形（「する」は「すまじき」もある） +まじき+名詞



練習

11 判断の立場・評価の視点

□の中の言葉を使って下の文を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

I a にとって b として c 上で d 上 e わりに f なりに

わたしは私費留学生1 日本に来ました。わたし2 ががんばったので、今
はもう生活の3 は何の問題もありません。しかし、日本語はわたし4 は大
変難しく、最初は漢字を覚えるのが精一杯でした。漢字だけではなく、文法5
の様々な規則もめんどうです。でも、めんどうな6 は覚えやすいです。今は日本
語を勉強するのが楽しいです。

II

a からいえば b にしては c 向きの
d ともなると e たる f まじき

わたしの学校の大木教授は今年65歳。65歳1 気持ちかが若い。先生はよくお酒
を飲んで翌日講義を休む。また、よく遅刻する。これは教授2 者にある3
ことだ。教授4 お酒を飲む機会が多いのだろうか。もともとあまり学者5
性格ではないのかもしれない。学生の立場6 、あまり立派な先生とは言えないが、
そのわりには人に悪く言われないから不思議だ。

何かを基準にして動作が行われると言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a とおりに b を中心に c に沿って d をもとにして e のもとで

- この神社の祭りは、伝統的なやり方_____行われています。
- これはある伝説_____創作された芝居です。
- 田中先生のご指導_____、この論文を書き上げた。
- この会は中山さん_____、いろいろな活動をしている。
- 実験結果は必ずしも教科書の_____はいかない。



使えますか

- 子ども部屋を { a 本人が望んでいるように } 改造してみました。
b 本人が望んでいるような
- a 先生の指示とおりに } 行動してください。
b 先生の指示どおりに
- ひらがなとカタカナは、漢字をもとにして { a 使われた。
b 造られた。
- 小説の話は必ずしも読者の期待に沿って { a 展開するわけではない。
b おもしろいわけではない。
- 教育は平等の原則に基づいて { a 大変重要だ。
b 行われなければならない。

答は次のページにあります。

基準 ^{き じゅん} 何かを基準にして動作が行われると言いたい時



- 1 ～ように・～ような
- 2 ～とおり（に）・～とおりの・
～とおりだ
- 3 ～に沿って・～に沿う・
～に沿った
- 4 ～に基づいて・～に基づく・
～に基づいた
- 5 ～をもとに（して）・
～をもとにする・
～をもとにした
- 6 ～のもとで・～のもとに
- 7 ～を中心に（して）・
～を中心として・～を中心にする・
～を中心とする・～を中心にした・
～を中心とした
- 8 ～を～に（して）・～を～として・
～を～にする・～を～とする・
～を～にした・～を～とした



- 9 ～に即して・～に即した
- 10 ～ごとく・～ごとき



1 ～ように・～ような

- ①旅行の日程は次のように決まりました。
- ②「世の中が何でもあなたの思うように動くなどとは考えないでください。」
- ③この実験結果では、わたしが期待していたようなデータは得られなかった。



1 c 2 d 3 e 4 b 5 a



1 a 2 b 3 b 4 a 5 b

 2「～とおりに」の  を参照。
 ^{れんたいしゅうしよくがた}連体修飾型 + ように

→ 2 課 I・1 「～ように」

2 ～とおりに (に)・～とおりの・～とおりで【～と同じに】

- ①ものごとは自分の考えのとおりにはいかないものだ。
- ②「わたしの言ったとおりにやってみてください。」
- ③この本の作者に初めて直接会うことができた。わたしが前から思っていたとおりの方だった。
- ④案内書を見ながら日光を歩いた。そのすばらしさは案内書どおりだった。

 意味や使い方は、「～ように」と大体同じ。Iより「まったく同じに」という感じが強い。

 ^{どうし}動詞の辞書形・^{じしよけい}～た形 / ^{めいし}名詞+の +とおりに 名詞 +どおりに

3 ～に沿って・～に沿う・～に沿った【～に合うように／～に従って】

- ①本校では創立者の教育方針に沿って年間の学習計画を立てています。
- ②「ただ今の鋭いご質問に対してお答えします。ご期待に沿う回答ができるかどうか自信がありませんが……。」
- ③このたびの災害を機に、政府には安全対策の基本的考えに沿った実施計画を打ち出してもらいたいと思う。

 名詞 +に沿って

4 ～に基づいて・～に基づく・～に基づいた【～を基本にして】

●「～を考え方の基本にしてあることをする」と言いたい時。

- ①この小説は歴史的事実に基づいて書かれたものです。
- ②この学校はキリスト教精神に基づいて教育が行われています。
- ③我々は今、公職選挙法に基づき公正な選挙の大切さを再認識しなければならない。
- ④これは単なる推測ではなく、たくさんの実験データに基づいた事実である。



5「～をもとに（して）」の②を参照。^{さんしやう}



名詞 + ^{もと}に基づいて



5 ～をもとに（して）・～をもとにする・～をもとにした【～を^{そざい}素材にして／～から^えヒントを得て】

- ①^{ほくおウ}北欧の古い歌をもとに、新しい音楽に作りかえたのがこの^{きょく}曲です。
- ②^{せんそうたいけんしや}戦争体験者の話してくれたこと^{もと}をもとにして、このテレビドラマを^{そうさく}創作しました。
- ③^{しやうけい も じ し じ}象形文字や指事文字をもとにしてたくさんの漢字が^{つく}造られた。また、ひらがなとカタカナは漢字をもとにして生まれたものである。
- ④ポップスの中には有名な曲の^{いち ぶ}一部をもとにしたものがある。

- ☞ 1 あるものが生み出される^{こんげん}根源や^{ぐたいてき}具体的^{そざい}素材を表す。後には、書く、話す、作る、創作する、などの意味を持つ文が来る。
- ☞ 2 4「～に基づいて」は、それから^{せいしんてき}精神的に^{はな}離れずにという^{ほんしつてき}気持ちが強いが、「～をもとに」は、それから本質的なことを得るだけであり、離れずにという^{ほんしつてき}気持ちはやすい。また、4より具体的。



6 ～のもとで・～のもとに【～を^{たよ}頼って／～の下で】

- ①わたしはいい^{かんきやう}環境、いい^{り かいしや}理解者のもとで、恵まれた^{めぐ}研究生活^{せいみかつ}をおくることができた。
- ②この鳥は国の^{ほ ごせいさく}保護政策のもとに^{まも}守られてきた。
- ③新しい^{ひとびと}リーダーのもとに、人々は^{きやうりよく}協力を^{やくそく}約束し^あ合った。



名詞 + のもとで



7 ～を中心に（して）・～を中心として・～を中心にする・～を中心とする・～を中心にした・～を中心とした

- ①^{たいふう}今度の台風^{ひ がい}の被害は東京^{かんとう}を中心に^{ち ほうぜんいき}関東地方^{ひろ}全域に広がった。
- ②^{じつこう いんちやう}実行委員長^{あきやまくん}の秋山君を中心として、^{ぶん か さい}文化祭^{かか}の係りは心^{こころ}を一つにがんばっています。
- ③この研究会では^{こうがひ}公害問題を中心とした^{さまざま}様々な問題を話し合いたいと思う。
- ④^{いし い}石井さんを中心とする新しい委員会^{きんぎ}ができた。



8 ～を～に（して）・～を～として・～を～にする・ ～を～とする・～を～にした・～を～とした

- ①戦後50年を一つの区切りとして、平和の大切さを次代に伝えなければならない。
 ②この大会に参加できるのは社会奉仕を目的とする団体だけです。
 ③ビルの建設は安全を第一条件とし、慎重に工事を進めてください。
 ④文化祭は「地球の未来」をテーマとして、着々と準備が進められています。



9 ～に即して・～に即した【～に従って】



- ①試験中の不正行為は、校則に即して処理する。
 ②現行の法律に即して、ものごとの可否を判断しなければならない。
 ③非常事態でも、人道に即した行動がとれるようになりたい。

名詞 + に即して



10 ～ごとく・～ごとき【～ように】



- ①前回の手紙にも書いたごとく、私も来年は定年だ。だから君にもそろそろ自分の将来のことを真剣に考えてもらいたい。（父から息子への手紙）
 ②上記のごとく、いったん納入したお金は返却されません。
 ③次のごとき日程で、研修会を行う。

動詞の辞書形・～た形／名詞＋の + ごとく



練習

12 基準

A ☐ 中の言葉を使って下の文を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

- a ような b どおり c に^そ沿って
d に^{もと}基づく e をもとにして f のもとに

- I この作家は大病の後、親の保護 1 静かに暮らしていました。そして、その時、母親から聞いた話 2 書いたのが、この作品です。伝統的な小説作法 3 創作したようです。若い人が好む 4 話ではないけれど、史実 5 貴重な作品です。予想 6 今年の賞を受けました。

- II 次の 1 スケジュールで工場見学を行いますので、どうぞご参加ください。見学は案内図 2 、順番に行きます。第 1 工場では不用ガラスびん 3 新しい素材を作り出す工程を見ることが出来ます。これは、A 大学の山田先生のご指導 4 実験を行ってきたものです。我々の期待 5 の結果が得られました。今回お見せするのはその実験結果に 6 ものです。

- B ☐ 中の言葉を使って、例のように前の文と後の文をつなげなさい。一つの言葉は 1 回しか使えません。

- a どおりに b とおりに c ような d をもとにして
e のもとでは f を中心にして g に^{そく}即して h に^{ちゅうしん}基づく

例 説明書 a ク。

- 1 ここに書いてある 。
2 自然界にある物質 、 。
3 あすは関東地方 、 。
4 わたしが発音する 、 。
5 違反者は規定 。
6 この雑誌は最新の情報 。
7 軍事体制 、 。

ア 正しくカタカナを書きなさい。

イ 記事が少ない。

ウ 罰する。

エ 自由な発想は生まれないと思う。

オ 日程で北海道へ行く。

カ 次々に新しい化合物が造られる。

キ 全国的に雨が降ります。

ク 組み立てて、本箱を作った。

二つのものごとの間に関連があると言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a によって b によっては c に^{おう}応じて d のたびに e をきっかけに

1 フランス旅行____、わたしはフランス料理を習い始めた。

2 人は地位^{ち い}____、社会的責任^{てきせきにん}も重くなる。

3 場合^{ばあい}____、今夜は家に帰れないかもしれません。

4 同じ料理でも、店____味^{ちが}が違う。

5 あの人は出張^{しゅつちやう}____、新しいかばんを買う。



使えますか

1 天気によって、
 { a ここから富士山^{ふじさん}が見えたり見えなかったりする。
 b ここから富士山は見えない。

2 テレビに出たことがきっかけで、
 { a うれしかった。
 b 急に友人^{ゆうじん}が増えた。

3 この時間は { a 能力^{のうりよく}に比べたクラス^{くら}に入って、
 b 能力に応じたクラスに入って、 } 会話^{わんしやう}の練習をする。

4 この写真を見るたびに、
 { a うれしい。
 b 子どもの頃^{ころ}のことを思い出す。

5 a 解決方法^{かいけつほうほう}がある時は、
 b どんな解決方法^{かいけつほうほう}を選ぶかは、 } あなたの考え^{しだい}方次第です。

答は次のページにあります。

かん れん たい おう 関連・対応

二つのものごとの間に関連があると言いたい時



- 1 ~によって・~による
- 2 ~によつては
- 3 ~次第^{しだい}で・~次第だ
- 4 ~次第では
- 5 ~に^{おう}応じて・~に応じた
- 6 ~たび(に)
- 7 ~につけて
- 8 ~をきっかけに(して)・
~をきっかけとして
- 9 ~を契機^{けいき}に(して)・
~を契機として



- 10 ~いかにで・
~いかにによって・
~いかなだ
- 11 ~いかなでは・
~いかにによつては



1 ~によって・~による

●「~」に対応して後のことがらがそれぞれに違うことを表す。

- ①収穫^{しゅうかく}されたみかんを大きさによつて三つに分類^{ぶんるい}し、それぞれの箱^{はこ}に入れます。
- ②ホテルの窓^{まど}からは、その日の天候^{てんこう}によつて富士山^{ふじさん}が見えたり見えなかったりです。
- ③人^{じん}により人生観^{じんせいかん}はいろいろだが、命^{いのち}の重み^{ひでい}を否定する人はいないと思う。
- ④季節^{きせつ}による風景^{ふうけい}の変化^{へんか}は、人の感性^{かんせい}を豊^{ゆた}かにしてくれる。

👉 「~」にはさまざま種類^{しゆるい}や可能性^{かのうせい}を表す名詞^{めいし}が、後^{いってい}には、いろいろある、違うなど、一定ではないという意味を表す文が来る。

🔗 名詞 + によつて → 19課 I・1 「~によって・~による」



2 ~によつては【ある~の場合は】

●「ある~の場合は~のこともある」と言いたい時。



1 e 2 c 3 b 4 a 5 d



1 a 2 b 3 b 4 b 5 b

- ①この地方ではよくお茶を飲む。人によっては1日20杯も飲むそうだ。
- ②母が病気なので、場合によっては研修旅行には参加できないかもしれません。
- ③この辺りの店はどこも早く閉店する。店によっては7時に閉まってしまう。

👉 1「～によって」の用法の一部。様々な種類の中の一つだけを取り出して述べる言い方。

🔗 1「～によって」と同じ。



3 ～次第で・～次第だ【～で】

●「～に対応して、あることが決まる」と言いたい時。

- ①言葉の使い方次第で相手を怒らせることもあるし、喜ばせることもある。
- ②わたしはその日の天気次第で、一日の行動の予定を立てます。
- ③国の援助を受けられるか受けられないかは、この仕事の結果次第です。

👉 10「～いかんで・～いかんによって・～いかんだ」の👉を参照。

🔗 めいし 名詞 + 次第で



4 ～次第では【ある～の場合は】

●「ある～の場合は～のこともある」と言いたい時。

- ①成績次第では、あなたは別のコースに入ることになります。
- ②道の込み方次第では、着くのが大幅に遅れるかもしれません。
- ③考え方次第では、苦しい経験も貴重な思い出になる。

👉 1 3「～次第で」の用法の一部。いろいろな可能性の中の一つを取り上げて述べる言い方。

👉 2 11「～いかんでは・～いかんによっては」と意味、用法が同じ。

🔗 3「～次第で」と同じ。



5 ～に応じて・～に応じた

●前のことがらが変われば、それに対応して後のことがらも変わることを表す。

- ①人は年齢に応じて社会性を身につけていくものだ。

②アルバイト料は労働時間に応じて計算される。

③当店ではお客様のご予算に応じて料理をご用意いたします。

④ハイキングの日の服装は、その日の天候に応じた調節可能なものが多い。

④ 名詞 + に応じて



6 ～たび (に) 【～の時はいつも】

●「～が起こると、その時はいつも同じことになる」と言いたい時。

①出張のたびに書類を整理しなければならない。

②あの人は、会うたびに新しい話題を聞かせてくれる。

③父は外国に行くたびに珍しいおみやげを買ってくる。

③ 動詞の辞書形 / 名詞 + の + たびに



7 ～につけて 【～に関連していつも】

●「同じ状況にある時、いつもある気持ちになってそうする」と言いたい時。

①あの人の暗い顔を見るにつけ、わたしは子どもの頃の自分を思い出す。

②彼の生活ぶりを聞くにつけて、家庭教育の大切さを感じる。

③彼女は何ごとにつけても、他人を非難する人です。

④あの人は体の調子がいいにつけ悪いにつけ、神社に行き手を合わせている。

☞ 「何か、何ごと」などの言葉と結びついて慣用的に使う。また、④の例のように、「～につけ」の前に対立する意味の言葉を並べ、「どちらの時も」という意味を表す慣用表現もある。



8 ～をきっかけに (して) ・ ～をきっかけとして

①夏の軽い登山をきっかけに、わたしは山登りに興味をもつようになった。

②ある新聞記事をきっかけにして、20年前のあるできごとを思い出した。

③ある日本人と友達になったことがきっかけで、日本留学を考えるようになった。

☞ ③のように「～がきっかけで」の形もある。

👉 2 9「～を契機に（して）・～を契機として」の👉を参照。

🌸 9 ～を契機に（して）・～を契機として



- ①この災害^{さいがい}を契機^{けいき}にして、わが家でも防災対策^{ぼうさいたいさく}を強化^{きやうか}することにした。
- ②転居^{てんきょ}を契機^{けいき}に、わたしも今までの仕事をやめて自分の店^{みづかみ}を持つ決心^{けっしん}をした。
- ③今度の病気^{びやうき}、入院^{けいんしん}を契機^{けいき}として、今後は定期検診^{ていきけんしん}をきちんと受けようと思った。

👉 意味、用法は8「～をきっかけに（して）・～をきっかけとして」とほとんど同じだが、「～を契機に（して）・～を契機として」の後にはプラスの意味の文が来ることが多い。

🌸 10 ～いかにで・～いかにによって・～いかにだ【～に対応して】



- ①商品^{しょうひん}の説明^{せつめい}のしかたいかにで、売れ行きに大きく差^さが出てきてしまう。
- ②この頃^{ごろ}とても疲れやすいので、当日^{とうじつ}の体調^{たいちよう}いかにでその会^{かい}に出席^{しゅっせき}するかどうか決めたい。
- ③国の政策^{せいさく}のいかにによって、高齢者^{こうれいしゃ}や身体障害者^{しんたいしょうがいしゃ}たちの暮らし方^{くらしかた}が変わってくるのは明らかだ。
- ④今度の事件^{じけん}をどう扱うかは校長^{あつか}の考え方^{かんがえ}いかにです。

👉 3「～次第^{しだい}で・～次第だ」と意味、用法が同じ。

🔗 名詞（の） + いかにで → 14課6「～いかにによらず・～いかににかかわらず」

🌸 11 ～いかにでは・～いかにによっては【ある～の場合は】



●「ある～の場合は～のこともある」と言いたい時。

- ①「君の今学期^{こんがくき}の出席率^{しゅっせきりつ}いかにでは、進級^{しんきゅう}できないかもしれないよ。」
- ②本の売れ行きいかにでは、すぐに再版^{さいはん}ということもあるでしょう。
- ③出港^{しゅっこう}は午後3時だが、天候^{てんこう}のいかにによっては、出発^{しゅっぱつ}が遅^{おく}れることもある。

👉 1 10「～いかにで」の用法の一部。いろいろな可能性^{かのうせい}の中の一つを取り上げて述べる言い方。

👉 2 4「～次第では」と意味、用法が同じ。



10「～いかんで」と同じ。



13 かんれん たいおう 関連・対応

☐の中の言葉を使って、下線の言葉を言い換えなさい。記号で答えなさい。一つ
の言葉は1回しか使えません。

a によって b によっては c 次第だ d に応じた
e たびに f につけて g をきっかけに

- 1 この会では、年齢や条件にあったアルバイトを紹介します。
()
- 2 年が違えば、1年間の総雨量が違う。
()
- 3 同窓会での再会がチャンスになって、二人はまた親しくつき合うようになった。
()
- 4 あの人は何かの場合にいつも自分の親のことを自慢する。
()
- 5 わたしの家は古いので、地震の時はいつも大きく揺れる。
()
- 6 うちの電話代は、2万円を超える月もある。
うちの電話代は、月() 2万円を超える。
- 7 客が増えるか増えないかは、営業の努力によって決まる。
()

関係ない、考えに入れない、例外だ、と言いたい時はどんな言い方がありますか。



知っていますか（2回使うものもあります。）

a はともかく b にかかわらず c もかまわず

- 1 値段の^{ね だん}高い^{かい}安い^{あひ}____、いい物は売れるという傾向^{けいこう}がある。
- 2 この仕事は内容^{ないよう}____、給料^{きゅうりょう}の面^{めん}でちょっと問題がある。
- 3 田中^{た なか}さんは相手^{あいて}の都合^{つごう}____仕事^{たの}を頼^{たの}んで来るので本当^{ほんとう}に困^{こま}る。
- 4 この店の料理は値段^{ね だん}____、味^{あじ}のよさは最高^{さいこう}だ。
- 5 電車^{でんしゃ}の中で人目^{ひとめ}____泣^ないている女の人を見かけた。



使えますか

- 1 a その小さい子どもは親^{おや}の注意^{ちゅうい}もかまわず、一人^{ひとり}で道^{みち}を渡^{わた}ってしまった。
b 交通信号^{こうつうしんごう}が赤^{あか}なものもかまわず、道^{みち}を渡^{わた}ってしまおう。
- 2 そのアパートは家賃^{やちん}の高^{たか}さはさておき、
 { a 部屋^{へや}も広^{ひろ}くていい。
 b 環境^{かんきょう}がとて^いも気^きに入^いった。
- 3 a この仕事^{けいけん}は経験^うの有^あ無^なを問^とわず、
 b この仕事^{わか}は若い人^{としよ}やお年寄^{としよ}りを問^とわず、
 { だれ^{だれ}でも^{おう}応募^ぼできます。
- 4 a 会^{さんか}に参加^{さんか}するしないにもかかわらず、
 b 会^{さんか}に参加^{さんか}するしないにかかわらず、
 { アンケートにはお答え^{こた}えください。
- 5 その車^{くるま}を買^かうかどうかはともかくとして、
 { a やっぱり買^かうことにしよう。
 b まず見^みに行^いこう。

答^{こた}は次のページにあります。

無関係・無視・例外

関係ない、考えに入れない、例外だ、と言いたい時



- 1 ～を問わず・～は問わず
- 2 ～にかかわらず・
～にかかわりなく
- 3 ～もかまわず
- 4 ～はともかく（として）
- 5 ～はさておき



- 6 ～いかによらず・
～いかにかわらず
- 7 ～をものともせず（に）
- 8 ～をよそに
- 9 ～はいざしらず・～ならいざしらず



1 ～を問わず・～は問わず【～に関係なく】

- ① この辺りは若者に人気がある町で、昼夜を問わずいつもにぎわっている。
- ② オールウェザーコートでは、天候を問わずいつでも試合ができる。
- ③ 近年、文化財保護の問題は、国の内外を問わず大きな関心と呼んでいる。
- ④ この会には年齢、性別は問わず、いろいろな人を集めたいのです。

👉 1「～を問わず」、2「～にかかわらず」は大体同じ意味で使われる。どちらも、「昼夜」「降る降らない」など対立の関係にある言葉に続くことが多い。



2 ～にかかわらず・～にかかわりなく【～に関係なく】

- ① このグループのいいところは、社会的な地位にかかわりなく、誰でも言いたいことが言えることだ。
- ② このデパートは曜日にかかわらず、いつも込んでいる。
- ③ お酒を飲む飲まないにかかわりなく、参加者には一人3千円払っていただきます。
- ④ 当社は学校の成績のいい悪いにかかわりなく、やる気のある人材を求めています。
- ⑤ 金額の多少にかかわらず、寄付は大歓迎です。



1 b 2 a 3 c 4 a 5 c



1 a 2 b 3 a 4 b 5 b

 「～を問わ^とず」の^{さんしやう}を参照。

 名詞^{めいし} + にかかわらず

→18課 5 「～にもかかわらず」



3 ～もかまわず【～も気にしないで】

- ①最近^{さいきん}は電車^{でんしゃ}の中で人目^{ひとめ}もかま^かわず化粧^{けしょう}している女の人をよく見かけます。
- ②父^{ちち}は身なり^{みなり}もかま^かわず出かけるので、一緒^{いっしょ}に歩くのが恥^はずかしい。
- ③彼女^{かのじょ}は雨^{あめ}の中を、服^{ふく}がぬれるのもかま^かわず歩き去^さって行^いった。
- ④アパートの隣^{となり}の人^{ひと}はいつも夜遅^{おそ}いのもかま^かわず、大きな音^{おと}で音楽^{おんがく}を聴^きいている。

 名詞／連体修飾型(名詞は「である型」。「名詞+な」の形もある) + の + もかまわず



4 ～はともかく(として)【～は一応問題にしないで】

●「～の問題も考えなければならないが、今はそれよりも後の文のことがらを先に考える」という気持ちで使う。

- ①費用^{ひよう}の問題^もはともかく、旅行^{りょこう}の目的地^{もくてきち}を決^きめる方が先^きです。
- ②コストの問題^もはともかくとして、重要^{じゅうよう}なのは商品^{しょうひん}が売^うれるか売^うれないかだ。
- ③この計画^{けいこう}は実行^{じっこう}できるかどうかはともかくとして、まず実行^{じっこう}する価値^{かち}があるかどうかをもう一度よく考えてみよう。

 5 「～はさておき」の^おを参照。



5 ～はさておき【～は今は考えの外に置いて】

- ①大学進学^{だいがくしんがく}の問題^もはさておき、今^{こん}の彼^{かれ}には健康^{けんこう}を取り戻^とすことが第一^{だいいち}だ。
- ②責任^{せきにん}が誰^{だれ}にあるのかはさておき、今^{こん}は今後^{こんご}の対策^{たいさく}を考^{かんが}えるべきだ。
- ③(二人の男の人が仕事の話をした後)

「それはさておき、社員旅行^{しやくいんりょこう}のことはどうなっているんだろう。」

「ああ、それは木村^{きむら}さん^{さん}が中心^{ちゅうしん}になって進^{すす}めているという話ですよ。」

 4 「～はともかく(として)」は前のことがらと後のことがらを比較^{ひかく}する気持ちがあるのに対し、「～はさておき」では、前のことを考えの外^ひにはずしてしまいう気持ちが強い。



6 ～いかによらず・～いかにかわらず【～がどうであっても それに関係なく】



- ①事情のいかによらず、欠席は欠席だ。
 ②試験の結果いかによらず、試験中に不正行為のあったこの学生の入学は絶対に認められない。
 ③理由のいかにかわらず、いったん払い込まれた受講料は返金できないことになっている。

名詞 (+) +いかによらず → 13課10「～いかにで・～いかにによって・～いかにだ」



7 ～をものともせず (に)【～に負けないで】

- 「困難に負けないで、何かに勇敢に立ち向かう」ということを言いたい時。
 ①山田選手はひざのけがをものともせず決勝戦に出ました。
 ②彼は体の障害をものともせず勇敢に人生に立ち向かった。
 ③村の人々は山で遭難した人を助けるため、風雨をものともせず出発した。
 ④話す人自身の行為には使わない。



8 ～をよそに【～を自分とは無関係なものとして】

- ①手術が終わった後、子どもは親の心配をよそに、すやすやと寝入っている。
 ②家族の期待をよそに、彼は結局大学には入らずにアルバイト生活が続けている。
 ③老人や低所得者層の不安をよそに、再び増税が計画されている。
 ④忙しそうに働く人々をよそに、彼は一人マイペースで自分の研究に打ち込んでいた。



9 ～はいざしらず・～ならいざしらず【～は特別だから例外だが】

- 「～」には極端な例や特別な場合が来て、「その場合は別だが」と除外してしまう時の言い方。
 ①「美術館は込んでいるんじゃないかしら。」
 「土日はいざしらず、ウィークデーだから大丈夫だよ。」
 ②知らなかったのならいざしらず、知っていてこんなことをするなんて許せない。

- ③ 神様^{かみさま}ならいざしらず、ふつうの人間にはあした何^おが起きるかさえわからない。まして
1 年先のことなんて……。



練習

14 無関係・無視・例外

どちらが正しいですか。正しい方の記号^{きごう}に○をつけなさい。

- コンビニエンスストアは昼夜^{ちゅうや} { a を問わず
b のいかににかかわらず } 営業^{えいぎょう}している。
- 会長の責任^{せきにん}問題 { a はさておき、
b をよそに、 } 今はどうやって会をまとめることができるか
を考えた方がいい。
- 最近^{さいきん}、他人^{たにん}がどう思うか { a を問わず、
b もかまわず、 } 電車の中や路上^{ろじょう}で電話をしている人
を見かける。
- 合格^{ごうかく}するかどうか { a をよそに、
b はともかく、 } 一応^{いちおう}受験^{じゅけん}してみるつもりだ。
- サッカーの試合^{しあい}は天候^{てんこう} { a はさておき
b のいかにによらず } 行われます。
- 面接^{めんせつ}の結果^{けつ}は採否^{さいひ} { a にかかわらず
b はともかく } 手紙^{てうし}で通知^{つうち}します。
- 田中^{たなか}さんは経済的困難^{けいざいてきこんなん} { a をものともせず
b はさておき } いつも力強^{ちからづよ}く生きている。
- 山田^{やまだ}さんの家庭事情^{かていじじょう} { a にかかわらず、
b をよそに、 } 会社^{かえ}は彼^{たんしん}を単身赴任^{ふにん}させた。
- 神様 { a ならいざしらず、
b もかまわず、 } 真犯人^{しんはん}が誰^{だれ}かは結局^{けつぎよく}わからないのではないか。

例を挙げたい時はどんな言い方がありますか。



知っていますか

a とか b やら c にしろ d や e にしても

- 1 日本語では、漢字やらひらがな____、三つも文字を覚えなければならない。
- 2 太郎にしても次郎____、うちの子はどうしてみんな運動が苦手なんだろう。
- 3 ただぶらぶらしていないで、本を読むとか旅行をする____、もっと休みを有効に使ったらどうですか。
- 4 天ぶらを揚げるにしろ、ケーキを焼く____、料理は火加減が大切だ。
- 5 机の上には資料や図面____色鉛筆などが置いてある。



使えますか

- 1 a 林さんの部屋には大型テレビやらステレオやら、高そうな電気製品がいっぱいある。
b 林さんの部屋にはテレビやらステレオやら、何もない。
- 2 a わたしは桜とか梅とかいった } 木に咲く花が好きだ。
b わたしは桜やら梅やらいった }
- 3 a 花子さんはやさしいとか親切とか、クラスでとても人気がある。
b クラスにはあき子さんとかみち子さんとか、人気者が多い。
- 4 大学にせよ専門学校にせよ、
a あなたはどちらに行くのですか。
b 行くなら目的をはっきり持ちなさい。
- 5 a 決まったら電話するやらファックスするやらして } 知らせてください。
b 決まったら電話するとかファックスするとかして }

答は次のページにあります。

例示 れい じ 例を挙げたい時 あ



- 1 ~とか~とか
- 2 ~やら~やら
- 3 ~にしても~にしても・
~にしろ~にしろ・
~にせよ~にせよ



- 4 ~なり~なり
- 5 ~といい~といい
- 6 ~といわず~といわず
- 7 ~であれ~であれ

1 ~とか~とか【~や~など】

●あるものごとや方法の具体例をいくつか示したい時の言い方。

①科目の中では、わたしは数学とか物理とかの理科系の科目が好きです。

②病院とか図書館とかいったところでは静かに歩きましょう。

③「親と話し合うとか先輩に相談するとかして早く進路を決めてください。」

④「夜遅くなくても、タクシーを拾うとか友達に送ってもらうとかして必ず家に帰って来なさい。」

🔊 1 ③④のように方法の具体例の場合は「~とか~とかして」の形になる。

🔊 2 「~といった」の使い方もある。

・インド料理とかタイ料理といった南の国の食べ物は辛いものが多い。

・父は「パソコン、ファミコンといったものは苦手だよ」といつも言っている。

🔗 どうし じしよけい めいし
動詞の辞書形／名詞 + とか

2 ~やら~やら【~や~など】

●まだ外にもいろいろあるが、まず1、2の例を挙げたい時に使う。



1 b 2 e 3 a 4 c 5 d



1 a 2 a 3 b 4 b 5 b

①色紙は赤いのやら青いのやらいろいろあります。

②机の上には紙くずやらノートやらのりやらがごちやごちや置いてある。

③びっくりするやら悲しむやら、ニュースを聞いた人たちの反応は様々だった。

④マラソンで3位に入賞した時、うれしいやら悔しいやら複雑な気持ちだった。

④ 動詞・い形容詞の辞書形／名詞 + やら



3 ～にしても～にしても・～にしろ～にしろ・～にせよ～にせよ 【～でも～でも】



●「～でも～でも」と例をいくつか挙げて「その全部にあてはまる」と言いたい時に使う。

①野球にしろサッカーにしろ、スポーツにけがはつきものです。

②動物にせよ植物にせよ、生物はみんな水がなければ生きられない。

③東京にしても横浜にしても大阪にしても、日本の大都市には地方から出て来た若者が多い。

④リンさんににしてもカンさんににしても、このクラスの男の人はみんな背が高い。

⑤泳ぐにしろ走るにしろ、体を動かす時は準備運動が必要だ。

⑤ 動詞の辞書形／名詞 + にしろ →18課6 「～にしても・～にしろ・～にせよ」、
21課3 「～としても・～にしても」、21課4 「～にしろ・～にせよ」



4 ～なり～なり 【～でもいい～でもいい】

●「～でもいい～でもいい、何か」と考えられる例を挙げる言い方。

①「奨学金のことは先生になりなり学生課の人になりなり相談してみたらどうですか。」

②「黙っていないで、反対するなり賛成するなり意見を言ってください。」

③隣の部屋の人がうるさいので、朝早く起きるなり図書館へ行くなり、勉強の方法を考えなければならない。

☞ ×いただいた魚は煮るなり焼くなりして食べました。

過去のことは使えない。

○この魚は煮るなり焼くなりして食べてください。

④ 動詞の辞書形／名詞／名詞+助詞 + なり



5 ～といい～といい【～も～も】

●あること^{りよう}がらについて、いくつか^{れい}の例^とを取り上げて「どの点^{てん}から見ても～だ」と話す人の評価^{ひやう}を言いたい時に使う。

- ①デザイン^{かれ}といい色^{さくひん}といい、彼の作品^{さいゆうしゅう}が最優秀^{さいゆうしゅう}だと思う。
- ②頭^{あたま}のよさ^あといい気^あのやさしさ^あといい、彼はリーダーとしてふさわしい人間だ。
- ③リーさん^あといいラムさん^あといい、このクラスにはおもしろい人が多い。
- ④額^{ひたい}の広いところ^あといいあご^あの四角いところ^あといい、この子^{ちちおや}は父親^{ちちおや}にそっくりだ。

 名詞 + といい



6 ～といわず～といわず【～だけでなく～だけでなく】

●「～も～もみんな」と例を挙げる。

- ①彼の部屋^へは机^{つくえ}の上^あといわず下^あといわず、紙くずだらけです。
- ②手^てといわず足^{あし}といわず、子どもは体中^{じゅうどう}泥だらけで帰って来た。
- ③新聞記者^{きしや}の山田^{やまだ}さんは国内^{こくない}といわず海外^{かいがい}といわずいつも取材^{しゆざい}で飛び回^とっている。
- ④母^{はは}はわたしのこと^{しんぱい}が心配^{しんぱい}らしく、昼^{ひる}といわず夜^よといわず電話^{でんわ}してくるので、ちょっとうるさくて困^{こま}る。

 「～も～も区別なく、どこも（いつも、どれも、みんな、など）」と強調^{きょうちよう}して言いたい時に使う。

 名詞 + といわず

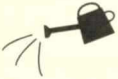


7 ～であれ～であれ【～でも～でも】



●「～でも～でも」と例をいくつか挙げて「その全部^{ぜんぶ}にあてはまる」と言いたい時に使う。

- ①着るものであれ^あ食べるものであれ^あ、無駄^{むだ}な買い物はやめたいものです。
- ②物理学^{ぶつりがく}であれ化学^{かがく}であれ、この国は基礎研究^{きそ}が遅^{おく}れている。
- ③学校教育^{きょうういく}であれ家庭教育^{かてい}であれ、長い目で子どもの将来^{しょうらい}を考えた方がいい。
- ④論文^{ろんぶん}を書くのであれ^あ、研究発表^{けんきゅうはつぷう}をするのであれ^あ、十分なデータ^{ひつよう}が必要^{ひつよう}だ。



練習

15 例示

□の中から最も適切な言葉を選んで、その記号を____の上を書きなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a なり～なり b やら～やら c であれ～であれ

- パーティーでは、すし____サンドイッチ____食べきれないほどのごちそうが出た。
- 誰かの家に招待された時は、後でカードを送る____電話をする____してお礼の気持ちを表すといい。
- J R ____私鉄____日本の鉄道は時間が正確だ。

a とか～とか b なり～なり c いい～といい

- わたしはインド____メキシコ____いった暑い国が好きだ。
- 駅で何か事件があったらしく、駅の中____周辺____人や救急車などでいっぱいだった。
- 連休には、海____山____、どこか空気のきれいな所へ行きたい。

a にしても～にしても b とか～とか c いわず～といわず

- 東京の名所と言えば、上野____浅草____いった町がすぐ頭に浮かぶ。これらの町は東京の「下町」と呼ばれ、人々に親しまれている。上野には公園や美術館や動物園があり、浅草には「浅草寺」という有名なお寺がある。また、上野____浅草____、古くからの店がたくさん残っていて、おもしろい。特に浅草は、休日____普段の日____、いつも観光客でにぎわっている。

意味を強くしたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a など b として c までして d こそ e さえ

- 1 彼の^{かれ}極端^{きょくたん}な意見^{いけん}に賛成^{さんせい}するものは、誰^{だれ}一人____いなかった。
- 2 早く仕事^{しごと}が決まらないと、家賃^{やちん}____払えなくなる。
- 3 過^{あやま}ちを認める勇気^{ゆうき}____が大切だ。
- 4 有効期限^{ゆうこうきげん}が切れている薬^{くすり}____飲まない方がいい。
- 5 体を壊^{こわ}すようなこと____ダイエットはしたくない。



使えますか

- 1 a あの人は人のわずかなミスこそ許さない } 厳しい人だ。
b あの人は人のわずかなミスさえ許さない }
- 2 チャーハンぐらいはわたしにも { a 作れます。
b 作れません。
- 3 あの人の言うことなんか { a 信じられない。
b 信じられる。
- 4 a 今月はお金^{あま}が余ったから、ビデオカメラまで買いましょう。
b お金がない、ない、と言いながら、ビデオカメラまで買ったんですか。
- 5 わたしの意見^{かいぎ}は会議で何一つとして { a 取り上げられた。
b 取り上げられなかった。

答は次のページにあります。

I 強調 その1 きょう ちょう ことば 言葉の意味を強くしたい時



- 1 ～さえ・～でさえ
- 2 ～として



- 3 ～たりとも
- 4 ～といえども
- 5 ～すら・～ですら
- 6 ～だに



I・1 ～さえ・～でさえ【～も】

●特に極端な「～」を取り出して「外はもちろん」と言いたい時。

- ①幼い息子を失った彼女は生きる希望さえなくしてしまった。
- ②彼は日本に3年もいるのだから会話は不自由ないが、読み書きの方はひらがなさえだめだそう。
- ③えり子は親友の花子にさえ知らせずに外国へ旅立った。
- ④山の上には夏でさえ雪が残っている。



めいし 名詞 + さえ



I・2 ～として【～も】

●最小のものを挙げて、「～も～ない」と全否定を強く言う言い方。

- ①火事で焼けてしまったため、わたしの子どもの頃の写真は一枚として残っていない。
- ②娘が突然いなくなって以来、わたしは一日として心安らかに過ごした日はない。
- ③犯人が通った出入り口の近くに人が何人かいたのだが、誰一人として気がついた人はいなかった。



「(疑問詞) + 1 + 助数詞 + として + ～ない」の形で使うことが多い。



1 b 2 e 3 d 4 a 5 c



1 b 2 a 3 a 4 b 5 b

他例 何一つとして



I・3 ～たりとも【～も】



●最小さいしょうのものを挙あげて、「～も～ない」と全否定ぜんひていを強く言う言い方。

- ①彼かれの働はたらきぶりは一分むだたりとも無駄ようすにしたいという様子ようすだった。
- ②開かい会かい式しきまでの日に数すうを考かんえると、工こう事じは一日いちにちたりとも遅おくらせることはできない。
- ③一日いちにち2時間きゅうじかん給水きびという厳せいしい制せい限げんの中なかで、この夏なつ、水みづは一滴いつてきたりとも無駄ようすにするこ
とはできなかった。

☞ 「1 + 助数詞じょすうし + たりとも + ～ない」の形かたちで使うことが多い。



I・4 ～といえども【～も】



●最小のものを挙げて、「～も～ない」と全否定を強く言う言い方。

- ①日本にっぽんは物価ぶつ かが高いから、一円いちえんといえども無駄ようすに使うことはできない。
- ②わたしは一日いちにちといえども仕事しごとを休やすみたくない。
- ③熱帯雨林ねったい う りんにすむ動物どうぶつたちの中には、森もりを離はなれたら一日いちにちといえども生きられない動物も
あるそうだ。

☞ 「1 + 助数詞 + と いえども + ～ない」の形で使うことが多い。

→18課9「～といえども」、21課5「～といえども」



I・5 ～すら・～ですら【～も／～でも】



●特に極端きょくたんな「～」を取とり出して「外ほかはもちろん」と言いいたい時とき。

- ①高橋たかはしさんは食くわ事じをする時間じかんすら惜おしんで、研究けんきゅうしている。
- ②腰こしの骨ほねを傷いためて、歩あるくことすらできない。
- ③大学教授きょうじゆですらわかんないような数学すうがくの問題もんだいを10歳さいの子こどもが解といたと評判りやうばんになっ
ている。

☞ 「～さえ」と同じように使う。



I・6 ～だに【～だけでも／～も】



●「～だけでも～だ」と強調する時の表現。

- ①あの人との再会は、想像するだに胸がドキドキする。
- ②街で毒ガスをまく人がいるとは聞くだに恐ろしい話だ。
- ③私が賞をいただくなどとは夢にだに思わなかった。
- ④50年前には、今日のような日本の繁栄は想像だにしなかった。

🔍 1 想像する、聞く、など決まった動詞とともに慣用的に使われる例が多い。
古い言い方。

🔍 2 ③④は「～だに～ない」の形で「想像もしない」などと言いたい時の言い方。

II 強調 その2 言葉の意味を強くしたり弱くしたり、重くしたり軽くしたりしたい時

2級

- 1 ～くらい
- 2 ～など・～なんか・～なんて
- 3 ～こそ
- 4 ～まで・～までして

1級

- 5 ～からある・～からの
- 6 ～というもの
- 7 ～にして
- 8 ～あつての
- 9 ～極まる・～極まりない
- 10 ～の極み
- 11 ～の至り



II・1 ～くらい【～のような軽いこと】

●「～」を軽く考えている（軽視する）時の言葉。

- ①「子どもじゃないんだから、自分の部屋ぐらい自分で掃除しなさい。」
- ②自分一人ぐらいはルール違反をしてもいいだろう、と思っている人が多い。
- ③ちょっと会ったぐらいで、人のことがわかるはずはない。



II・2 ～など・～なんか・～なんて【～のようなものは】

●「～」を大切ではないと考えている（軽視する）時の言葉。

- ①変^{へん}なおい^{なつとう}のする納豆など二度と食べたくない。
- ②こんな簡単^{かんたん}な仕事なんか一日でできる。
- ③いつもそばかりついているあんな人の言うことなんて信じられない。

👉 「～なんか」「～なんて」は口語的。



II・3 ～こそ

●大切なことを外と区別して強調したい時に使う。

- ①今年こそ大学に入れるよう、勉強します。
- ②「子どもがいつもお世話になっております。」
「こちらこそ。」
- ③知識^{ちしき}の量^{りょう}を増^ふやすのではなく考える訓練^{くんれん}をすることにこそ学校^{がっこう}の存在価値^{そんざいかち}がある。

👉 1 ×丸暗記^{まるあんき}こそやりたくない。

×テレビゲームこそ、嫌いだ。

マイナスの意味での強めにはあまり使わない。

👉 2 「～てこそ」は「～てはじめて」の意味。後の文は可能表現が多い。

- ・日本シリーズで勝^かってこそ日本一^{とうしゅ}の投手^かと言えるのだから、がんばります。
- ・スポーツでもゲームでも自分でやってこそ、おもしろさがわかる。



II・4 ～まで・～までして【～も／～ても／～もして】

●極端なことを挙げて「そんな程度の～も」と強調したい時の言い方。

- ①「一番^{いちばん}の親友^{しんゆう}のあなたまで、わたしを疑^{うたが}うの。」
- ②映画の仕事は彼^{かれ}が家出^{いえで}をしてまでやりたかったことなのだ。
- ③「あなたは人をだますようなことまでして、お金をもうけたいのですか。」

👉 話す人の相手^{あいて}への気持ち^{ふく}を含んだ言い方。また話す人の主張^{しゅちやう}、判断^{はんだん}、評価^{ひやうか}などを表す文が多い。



II・5 ～からある・～からの【～か、それ以上もある】

●数量を表す言葉につけて、多いことを強調する言い方。

- ①ホテルのエレベーターが故障していたので、20キロからある荷物を背負って7階まで階段を登った。
- ②ここから町までは10キロからあるだろう。車が必要だ。
- ③作業員は100枚からの窓ガラスを手際よく次々と磨いていく。



II・6 ～というもの【～という長い間】

●期間や時間を表す言葉について、それが長いことを感情を込めて言う。

- ①この10年というもの、一日もあなたのことを忘れたことはありません。
- ②地震が起こって以来、この1週間というもの食事らしい食事は一度もしていない。
- ③山の中で迷ってしまい、12時間というもの飲まず食わずでぐったりしているところを救援隊に救われた。

☞ 後には継続を表す文が来る。



II・7 ～にして【～だから／～でも】

●「～まで程度が高いから」または「～ほど程度が高いのに」と言いたい時。

- ①人間80歳にしてはじめてわかることもある。
- ②こんなに無邪気で楽しい絵は、純真な子どもにしてはじめて描ける絵だ。
- ③この芝居は人間国宝の彼にして「難しい」と言わせるほど、演じにくいものであるらしい。

共起 ～にしてはじめて

名詞 +にして



II・8 ～あつての【～があるから成り立つ】

●「～があるという条件があつてはじめて～が可能」ということを強調する。

- ①愛あつての結婚生活だ。愛がなければ、一緒に暮らす意味がない。

- ②私たちはお客様^{きやくさま}あつての仕事ですから、お客様を何より大切にしています。
- ③交渉^{こうしょう}は相手^{あいて}あつてのことだから、自分の都合^{つごう}だけ主張^{しゅちよう}してもうまくいかない。

名詞 + あつての + 名詞



II・9 ～極まる・～極まりない【この上なく～だ】

- ①電車の中などで見る最近^{さいきん}の若い者^{わかもの}の態度^{たいど}の悪いこと、まったく不愉快^{ふゆかい}極まる。
- ②あのレストランのウェイターの態度^{ぶさほう}は不作法^{ぶさほう}極まる。もう二度と行くものか。
- ③目が合^あってもあいさつもしないとは、隣^{となり}の息子^{むすこ}は失礼^{しつれい}極まりない。

話す人が感情的^{かんじょうてき}な言い方をする時に使われることが多い。

な形容詞の語幹 + 極まる



II・10 ～の極み【最高の～／～の最高だ】

- ①この世の幸せ^{よしあわ}の極み^{きわ}は子や孫に囲まれて暮らすことだと言う人もいる。
- ②現在の祭り^{げんざいまつ}の極み^{きわ}はオリンピックだろう。
- ③能・狂言^{のうきょうげん}は日本文化^{ぶんか}のおもしろさ、深さ^{ふか}の極み^{きわ}だ。
- ④こんなに細かく美しい竹細工^{こまうつく たけざいく}があるとは！ これぞ手仕事^{てしごと}の極み^{きわ}！

話す人が感激^{かんげき}してその気持ち^{あらわ}を表す時に使われることが多い。



II・11 ～の至り【最高の～】

- ①「私のような者が、こんな立派^{りっぱ}な賞^{しょう}をいただくとは光栄^{こうえい}の至り^{いた}でございます。」
- ②私の書いたものが認^{みと}めていただけるとは、感激^{かんげき}の至り^{いた}だ。
- ③こんな失敗^{しっぱい}を做的是、まったく赤面^{せきめん}の至り^{いた}だ。

話す人が感激^{かんげき}した時や強く感^{かん}じたことを表現^{ひょうげん}する時に言う。慣^{かん}用的^{ようてき}な古い表現。



練習

16 きょうちょう 強調

□の中から最も適切な言葉を選んで、その記号を____の上書きなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a など bこそ cまで dとして eにさえ fぐらい

- この1か月はとても忙しくて、一日____ゆっくり休めた日はなかった。
- 毎日、新聞____出ないような小さな事件が日本中で山ほど起こっているに違いない。
- 毎日の小さな努力の積み重ね____が大切だと思う。
- 1度や2度の失敗____で落ち込んでいてはだめだ。
- これについてはもう話し合う必要____ない。もう決まったことだ。
- イエスマンになって____課長に気に入られようとは思わない。

aすら bたりとも cあつての dというもの eにして

- 経費節減にご協力ください。コピー用紙なども1枚____無駄にしないこと。
- 東京の学校に行っている息子から、「電気代を払うお金____なくなった」と言ってきた。困ったものだ。
- 単身赴任の夫から、この3週間____、連絡がない。どうしたのだろうか。
- サービス業というのは、お客____仕事だから、そのことを忘れないように。
- 伝統工芸というのは、経験30年という職人____はじめて可能な仕事が多い。

あることを話題にする時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

- a というのは b というものは c というのと d といったら
e にかけては

- 1 小学校____、大勢^{おおぜい}の子どもたちや広い校庭^{こうてい}が頭^{あたま}に浮かびます。
- 2 友達^{ともだち}____、ありがたいものだ。
- 3 入管^{にゅうかん}____、入国管理局^{かん くりきょく りやく}の略である。
- 4 決勝戦^{けっしょうせん}で負けた時の悔しさ^ま____、言葉^{ことば}では表^{あらわ}せないほどだった。
- 5 彼は走ること^{かれ}____、誰^{だれ}にも負けないだろう。



使えますか

- 1 「うり二つ」というのは、二つのものが { a よく似^にていることです。
b よく似ています。
- 2 a 外国で一人で暮らすというものは { 大変^{たいへん}ですね。
b 外国で暮らすということは
- 3 校則^{こうそく}という、 { a わたしは好き^すではありません。
b まず、とても厳^{きび}しいものを想像^{そうぞう}します。
- 4 この夏の暑^{あつ}さといったら、 { a 我慢^{がまん}できないほどだった。
b それほどでもなかった。
- 5 わたしは水泳^{すいえい}にかけては、 { a 自信^{じしん}があります。
b あまり上手^{じょうず}ではないのです。

答^{こた}は次のページにあります。



- 1 ~とは・~というのは
- 2 ~というものは・~ということは
- 3 ~といえば
- 4 ~というと・~はというと
- 5 ~といたら
- 6 ~にかけては



- 7 ~ときたら



1 ~とは・~というのは【~は】



- 「~」の意味や定義を言う時。

- ①教育ママとは自分の子どもの教育に熱心な母親のことです。
- ②水蒸気というのは気体の状態に変わった水のことである。
- ③季語というのは季節を表す言葉で、俳句の中で必ず使われるものです。



めいし
名詞 +とは



2 ~というものは・~ということは【~は/~ことは】

- 本質、普遍的な性質を感情を込めて述べるために、あることを話題にする時。

- ①親というものはありがたいものだ。
- ②外国で一人で暮らす大変さというものは、経験しないとわからない。
- ③社会を変えるということは大変なことだなあ。



後の文には話す人の感想、感慨などを表す文が来る。



名詞 +というものは 普通形型 +ということは



1 c 2 b 3 a 4 d 5 e



1 a 2 b 3 b 4 a 5 a



3 ～といえば【～を話題にすれば】

●その場の誰かが話題にしたこと、または自分の心に思い浮かんだことがらを取り上げて話題にする時の言い方。

- ①今年は海外旅行をする人が多かったそうです。海外旅行といえば、来年みんなでタイへ行く話が出ています。
- ②子どもの頃、川にホテルをとりに行ったことを思い出す。ホテルといえば、先日「ホテルの光、窓の雪」という歌を聞いたが、あれはいい歌だと思う。
- ③「きのうの台風はすごかったねえ。記録的な大雨だったようですよ。」
「記録的といえば、今年の暑さも相当でしたね。」



4 ～というと A【～という言い方をすると】

●「～」を話題にした時、すぐ連想されることを言う時。

- ①この町に新しく病院ができた。病院というとただ四角いだけの建物を想像するが、この病院はカントリーホテルという感じのものだ。
- ②わたしは毎日建設会社に通勤しています。通勤しているというとラッシュアワーの混雑を想像するでしょうが、会社は家から歩いて10分ほどのところなんです。

～というと B【あなたが今言った～は】

●相手の言った言葉が自分の思っているのと同じかどうか確かめる時に使う。

- ①「林さんが結婚したそうです。あいさつ状がきました。」
「林さんというと、前にこの受付をしていた林さんのことですか。」
- ②「リーさんは荷物を整理して、もう国へ帰りました。」
「というと、もう日本には戻らないということでしょうか。」

～はというと C【一方～はどうかというと】

●あることを対比的に話題として取り上げる言い方。

- ①父も母ものんびり過ごしています。わたしはというと、毎日馬か牛のようにただ忙しく働いています。

- ②ここ10年間で保育所の数は大幅に増えたようだ。しかし、わたしの地域はちいさという、まったく増えていない。



5 ～といったら【～は】

- 驚いたり、あきれたり、感動したりなどの感情をもって話題にする時。

- ①あの学生のまじめさきょうしといったら、教師の方が頭があた下がる。
②広いキャンパスや市民開放のプールなど、この大学の施設しせつといったら驚くものばかりです。
③山の中の一軒家いっけんにたった一人で泊とまったんです。あの時の怖さこわといったら、今思い出してもゾッとします。

名詞 + といったら → 27課 I・6 「～といったらない・～といったらありはしない」



6 ～にかけては【～では】

- 「～の素質や能力に関しては自信がある、外より優れている」と言いたい時。

- ①あの方は事務処理じむしょりにかけてはすばらしい能力をもっています。
②水泳部員は50人もいるけれど、飛び込みのフォームの美しさうつくにかけては、あの選手せんしゅの右に出るものはいない。
③足の速さはやにかけては自信じしんがあつたのですが、若い人にはもうかないません。

名詞 + にかけては



7 ～ときたら【～は】



- 非難、不満の気持ちをもって話題にする時に使う。

- ①「お宅の息子さんは外でよく遊んでいいですね。うちの子たくときたらテレビの前から動かないんですよ。」
②周りの家はみんなきれいなのに、わが家まわときたら草がくさいっぱい生えているし、へいも壊れかけている。
③この自動販売機じどうはんばいきときたらよく故障する。取り替えた方がといいと思う。



練習

17 わだい
話題

A 中の言葉を使って、下の文を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えませ
ん。

a というものは b という c はという
d といったら e にかけては f ときたら

I 時間1 _____ 早くたってしまうものだ。今はもう秋。あたたかいお風呂がうれし
い季節だ。お風呂といえば、去年行った温泉を思い出す。温泉2 _____ 大きなお風
呂を思い浮かべるが、その温泉は小さなお風呂が二つあるだけだった。しかし、そ
のお風呂に入った時の気持ちのよさ3 _____ 今でも忘れられない。宿の主人は「料
理4 _____、この辺ではここが一番だ」と自慢していた。客たちはのんびり楽しん
でいたが、わたし5 _____、一日中机に向かって原稿を書いていた。本当は自分
のうちで書いた方がいいのだが、わが家6 _____、いつも人が出たり入ったりして、
とてもうるさいのだ。今年もまたぜひ行きたい。

II 弟や妹たちは今夏休みだが、サラリーマンのわたし1 _____、毎日会社勤めだ。
会社2 _____、立派な建物を想像する人が多いが、わたしの会社はマンションの一
室である。マンションといえば、林さんが今のマンションを売りたいと言っていた。
そういうこと3 _____ わたしは腕のいいセールスマンだから、林さんの力になって
あげられると思う。セールスマン4 _____、このように常に売り買いを考えている
のだ。土曜も日曜もない。それにうちの社長5 _____、命令ばかりしているのだが、
それでもわたしはこの仕事が好きだ。契約が成立した時のうれしさ6 _____ 何とも
いえない。

B ☐ 中の言葉^{ことば}を使って、文を完成^{かんせい}しなさい。一つの言葉は1回^{かい}しか使えません。

- | | | | |
|--|--|--------|----------------------|
| a 家族 | b 音楽 ^き を聴く | c うちの弟 | d 猫舌 ^{ねこじた} |
| e 都市部 ^{としぶ} の住宅難 ^{じゅうたくなん} | f ビザ延長 ^{えんちょう} の手続 ^{てつづ} き | | |

- 1 _____ というのは、どんな意味でしょうか。
- 2 _____ というものはありがたいものだ。
- 3 _____ ということは楽しいことだ。
- 4 _____ というと、まず複雑^{ふくざつ}でめんどうだというイメージを持つ。
- 5 _____ といったら驚^{おどろ}くほどだ。
- 6 _____ ときたら、人に迷惑^{めいわく}ばかりかけている。

前の文のことから考えて、^{とうぜん}当然とは言えないことを言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a くせに b にもかかわらず c といっても d ながら e ものの

- 今日は休日^{きゅうじつ}だった____、連日^{れんじつ}の雨で行楽地^{こうらくち}はどこも空^すいていた。
- 必ず^{かならず}来ると約束^{やくそく}した____来ないとは、本当^{ほんとう}にあいつは信頼^{しんらい}できない。
- この辺^{へん}は都心^{としん}であり____、緑^{みどり}も多く、街^{まち}の騒音^{そうおん}も聞こえないすばらしい住宅^{じゅうたく}地^ちです。
- 入院^{にんえん}した____、検査^{けんさ}のためだけです。
- 昼間^{ひるま}は全体^{ぜんたい}に晴^はれる____、北風^{きぷう}が強く気温^{きおん}は上がりません(天気予報^{てんきよほう})



使えますか

- a いろいろなことを考えていながら、散歩^{さんぽ}するのは楽しい。
b 毎日、運動^{うんどう}をしていながら、ちっともやせない。
- 彼は通勤^{かたれ つうきん}に20分しかかからない所^{ところ}に住んでいるくせに、
 { a 遅刻^{ちこく}が多い。
b 遅刻^{ちこく}はしない。
- a 気をつけてはいたものの、
b 気をつけてはいたくせに、
 } かぜをひいてしまった。
- 新入社員^{しんにゅう}であるにしても、
 { a 彼は仕事^{おそ}が遅すぎる。
b 彼は仕事^{はや}が速い。
- a 先生^{せんせい}が見るなど言いつつ、
b 悪いと知りつつ、
 } 試験^{しけん}でやっぱり友達^{ともだち}の答^{こた}を見てしまった。

答^{こた}は次のページにあります。

逆接・譲歩

前の文のことから考えて当然とは言えないことを言いたい時



- 1 ~ながら
- 2 ~くせに・~くせして
- 3 ~つつ・~つつも
- 4 ~ものの・~とはいうものの
- 5 ~にもかかわらず
- 6 ~にしても・~にしる・~にせよ
- 7 ~といっても
- 8 ~からといって



- 9 ~といえども
- 10 ~とはいえ
- 11 ~ながらも
- 12 ~ところを
- 13 ~ものを
- 14 ~と思いきや



1 ~ながら【~のに／~だが】

●「~から予想されることがらとは違って実際はこうだ」と言いたい時。

- ①彼は金持ちでありながら、とても地味な生活をしている。
- ②お手紙をいただいていたながら、お返事もさしあげずに失礼いたしました。
- ③一郎という子は、子どもながら将棋では大人も勝てないほど強い。
- ④残念ながら、わたしたちのチームは負けてしまった。
- ⑤父は耳が少し不自由ながら、体は非常に元気です。



「~」には状態性の動詞や「~ている」の形、形容詞、名詞なども来る。

⑤のように一つの話題についてなら、前の文と後の文で主語が違っていてもいい。

他例

勝手ながら、いやいやながら、陰ながら、及ばずながら



動詞の（ます）形／い形容詞の現在形 + ながら

な形容詞（+であり）／名詞（+であり） + ながら

→ 7 課10 「~ながら・~ながらに・~ながらの」



1 b 2 a 3 d 4 c 5 e



1 b 2 a 3 a 4 a 5 b



2 ～くせに・～くせして【～のに】

●悪い点を非難したり、軽蔑したりする気持ちや意外な気持ち、不満を表す時。

①本当のことを何も知らないくせに、わかっているようなことをいうものではない。

②和男は二十歳にもなったくせに、まだ親に部屋の掃除をしてもらっている。

③今度入社した人は、新人のくせにあいさつもしない。

④あの人はお金もないくせに、旅行ばかりしている。



「～くせに」の前後の文は、主語が同じ。



連体修飾型 + くせに



3 ～つつ・～つつも【～ているのだが】



①悪いと知りつつ、友達の出題の答を書いてそのまま出してしまった。

②毎日お返事を書かなければと思つつも、今日まで日がたってしまいました。

③いけないと知りつつも、ごみを分別せずに捨ててしまう。

④顔色の悪い佐藤さんのことが気になりつつも、急いでいたので何も聞かずに帰って来てしまった。



話す人が反省したり後悔したり告白したりする場合に使われることが多い。



動詞の（ます）形 + つつ

→ 7 課 2 「～つつ」



4 ～ものの・～とはいいうものの【～けれども／～のに】

●「～のことがらは一応本当なのだが、そのことから考えられる通りにはいかない」と言いたい時に使う。

①頭ではわかっているものの、実際に使い方を言葉で説明するのは難しい。

②コンピューターの使い方は専門家の兄に聞けばいいと思うものの、兄はいつも忙しいので聞きにくい。

③立春とはいいうものの、春はまだ遠い。

④オリンピックは「参加することに意義がある」とはいいうものの、やはり自分の国の選手には勝ってほしいと思う。



れんたいしゅうしよくがた めい し かたち
連体修飾型（「名詞＋の」の形はない）＋ものの



5 ～にもかかわらず【～のに、それでも】

●「～の事実から予想されることとは違った結果になる」と言いたい時。

①耳が不自由というハンディキャップがあるにもかかわらず、彼は優秀な成績で大学を卒業した。

②「本日は雨にもかかわらず大勢の方々がお集まりくださって本当にありがとうございました。」

③あれだけ多くの人がいたにもかかわらず、犯人の顔を見た人は一人もいなかった。



後の文は話す人の驚き、意外、不満、非難などの気持ちを表す文が多い。



名詞／普通形型（な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある）＋にもかかわらず →14課2「～にかかわらず・～に(は)かわりなく」



6 ～にしても・～にしろ・～にせよ【～のはわかるが、しかし】

①あの人は一日中忙しかったにしても、「今日は帰れない」という電話をかける時間ぐらいあったと思う。

②今度の事件とは関係がなかったにしろ、あのグループの人たちが危ないことをしているのは確かだ。

③西さんほどではないにせよ、林さんだつてときどき遅れて来る。



後の文には話す人の意見、不審や納得できない気持ち、非難、判断、評価が来ることが多い。



名詞／普通形型（な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある）＋にしても

→15課3「～にしても～にしても・～にしろ～にしろ・～にせよ～にせよ」、
21課3「～としても・～にしても」、21課4「～にしろ・～にせよ」



7 ～といっても【～というけれども、実は】

●「～から期待されるものと違って、実は～だ」と説明をする時の言い方。

- ①わたしの住んでいるところはマンションといっても9戸^こだけの小さなものです。
- ②入学金は高いといっても払^{はら}えない額^{がく}ではなかった。
- ③アフリカで暮^くらしたことがあるといっても、実は3か月^{じつ}だけなんです。
- ④彼^{かれ}はロシア語ができるといっても日常^{にちじょう}会話^{かいわ}だけで、読んだり書いたり^{よみたりかきたり}はだめだ。

👉 ふつう後の文には、話す人の意見、判断^{はんだん}などの文が来ることが多い。

🔗 名詞^{めいし}／普通形^{ふつうけい} + といっても

8 ～からといって【～ということから当然^{とうぜん}考えられることとは違^{ちが}って】

- ①大学を出た^{かなら}からといって、必ずしも教養^{きょうよう}があるとは言えない。
- ②アメリカに住んでいた^{かぜ}からといって、英語がうまいとは限らない。
- ③「幼^{おきな}いからといって油断^{ゆだん}するな。あの子^しは将棋^{しょうぎ}じゃ大人^{おとな}を負^まかすほど強いぞ。」
- ④「あの人はお金持^{きふ}ちだから、きっと寄付^{きふ}してくれるよ。」
- 「金持^{かぎ}ちだからって、寄付^{きふ}をしてくれるとは限らないよ。」

👉 1 後の文には「～わけではない、～とは限らない、～というわけではない」などの部分否定^{ぶぶんひてい}の文が来ることが多い。話す人の判断^{はん}や、批判^{ひはん}を言う時によく使う。

👉 2 「～からって」は口語^{こうご}。

🔗 普通形 + からといって

9 ～といえども【～でも／～とはいっても】

●～から受ける印象や特徴に反することを述べる時。

- ①高齢者^{こうれいしや}といえども、まだまだ意欲^{いきよく}的な人が大勢いる。
- ②副主任^{ふくしゅにん}といえども、監督^{かんとくしや}者なら事故^{じこ}の責任^{せきにん}は逃^{のが}れられない。
- ③暴力^{ぼうりよく}で人から金^とを取り上げるということをした人は、未成年^{みせいねん}といえども罰^{ばつ}を受^うけるべきだ。

🔗 名詞／普通形 + といえども → 16課 I・4「～といえども」、21課 5「～といえども」

10 ～とはいえ【～けれども／～とはいっても】

●「～」という事実^{じつじ}から受ける印象^{いんしょう}や特徴^{とくちょう}の一部^{いちぶ}を否定^{ひてい}して実^{じつ}際^{さい}の事^{こと}を説明^{せつめい}する表現^{ひょうげん}。

- ①彼は留学生かれ りゅうがくせいとはいえ、日本語を読む力ちからはふつうの日本人とほとんど同じです。
- ②ここは山の中とはいえ、コンピューターもファックスもあるから不便ふべんは感じない。
- ③新聞に書いてあるとはいえ、これがどこまで本当ほんとうのことかはわからない。
- ④梅雨つゆが明けたとはいえ、朝夕あさゆふは涼しくて少し寒さむいくらいだ。

👉 ふつう後の文には話す人の意見、判断はんだんなどの文が来ることが多い。

🔗 名詞／普通形めいし ふつうけい + とはいえ



11 ～ながらも【～けれども／～のに】

- ①今月引越したばかりの新しい事務所は狭いながらも駅に近いので満足まんぞくしている。
- ②彼は豊かな音楽の才能さいのうに恵まれながらも、その才能を十分に生かせないうちに病に倒れ、32歳で亡くなってしまった。
- ③ミレーはあれほど多くの優れた作品を残しながらも、当時は絵が売れず生活は非常に貧しかったという。

👉 「～ながら」より硬い表現。使い方や意味は同じ。

🔗 「～ながら」と同じ。 → 7 課10 「～ながら・～ながらに・～ながらの」



12 ～ところを【～のに／～だったのに】

● 「～という状況なのに～した」と言いたい時。

- ①「お忙しいところをご出席くださり、ありがとうございました。」
- ②あの人は疲れているところを、わたしのためにいろいろ調べてくれた。
- ③黙だまっていてもいいところを彼は「ぼくがやりました」と自分から正直しょうじきに言った。
- ④お世話になった方が病氣と聞き、すぐにお見舞いに行くべきところを、外国にいたためお見舞いにも行けなかった。

👉 話す人の感謝や後悔などの感情のこもった言い方が多い。あいさつの時の慣用表現が多い。

他例 お疲れのところを、ご多忙のところを、おやすみのところを

🔗 連体修飾型 + ところを



13 ～ものを【～のに】

● 不満、恨み、非難、後悔、残念な気持ちを込めて言う時の言い方。

- ①先輩があんなに親切に言ってくれるものを、彼はどうして断るのだろう。
 ②「知っていれば教えてあげたものを。知らなかったんです……。ごめんなさい。」
 ③夏の間にもう少し作業を進めていけばよかったものを。怠けていたものだから、今になって、締め切りに追われて苦しんでいる。
 ④あの時、葉さえあれば彼は助かったものを。

👉 ②③④のように、期待とは違ってしまった現実を悔やんだり、不満に思ったりした時によく使われる。④の例のように、後の文が省略される場合が多い。



連体修飾型（「名詞＋の」の形はない）＋ものを



14 ～と思いきや【～かと思ったら、そうではなく実際は】

● 「ふつうに予想すると～だが、この場合は～ではなかった」と意外な気持ちを表す。

- ①父は頑固だから兄の結婚には反対するかと思いきや、何も言わずに賛成した。
 ②彼はマリにあんなに会いたがっていたんだから帰国したらすぐに彼女のところに行くかと思いきや、なかなか行かない。どうしたんだろう。
 ③父親が大酒飲みだったから彼もどんなにたくさん飲むのだろうと思いきや、一滴も飲めないんだそうだ。



公式の文や論文などの硬い文章にはあまり使われない。



練習

18 逆接・譲歩

- A の中から適当な語を選んで、次の文の下線の言葉を言い換えなさい。記号で答えなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

- a とはいえ b のところを c にもかかわらず
d にしても e しながらも

- 1 ^{あくてんこう}悪天候なのに、^{おおぜい}それでも大勢の人が30キロのウォーキング大会に^{たいかい}参加した。
()
- 2 「お金がないのはわかるが、食事ぐらいはちゃんと食べなさい」と母に言われた。
()
- 3 あの会社は^{しょうき}小規模だけれども、^{ぎょうせき}なかなかいい業績をあげている。
()
- 4 ^{つか}お疲れなのに、わざわざ来てくださって、すみません。
()
- 5 うちの父はテレビの^{ひはん}批判をするけれども、それでも、毎日見ている。
()

B ☐ 中の^{ことば}言葉を使って文を^{かんせい}完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

- a といっても b くせに c からといって d ながら
e ものの f ものを g と思いきや h つつも

ぼくは、母が^か音楽家であり1 _____、今まで特に音楽に^{きょうみ}興味がなかった。「音楽家の^{おや}親がいる2 _____何も^{がっ}楽器がひけないのか」と友達に^{ともだち}言われて、最近、^{さいきん}ギターでもひけるようになりたいと思うようになった。友達が「^{ひとくち}一口にギター3 _____いろいろあるから、一度見に行ってみたら」と言うので、ある日、^{あきはばら}秋葉原の^{てん}楽器店へ行ってみた。ギターはさぞかし高いだろう4 _____、ぼくにも買えそうな安いのもあった。ぼくが安いギターばかり見ていたら、店員が「^{しょしんしゃ}初心者だ5 _____安い楽器でいいというわけじゃありませんよ」と言う。ぼくは「なるほど」とは思った6 _____、やはり^{けいざいじょうきょう}経済状況を考えて安めのを買った。さて、^{れんしゅう}練習は……せっかく楽器を手に入れたのだから、早く^{じょうず}上手になりたいと思い7 _____、なかなか練習の時間がとれない。その上、母に「このギター、あまり音がよくないわね」と言われてしまった。あの店員のアドバイスを聞いていればよかった8 _____と、ちょっと^{こうかい}後悔している。

ものごとがそうなったわけや、そのように感じたり考えたり判断したりするわけなどを言う時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a ことだから b 以上 c ばかりに d おかげで e だけに

- 「わたしがやる」と約束した____、何があっても最後までやります。
- あのまじめな林さんの____、約束の時間を守らないということはないだろう。
- 心配していた____、無事だという知らせを聞いて本当にうれしかった。
- 漫画家なんかになった____、いつも雑誌の締め切りに追われて忙しい。
- 先輩の____、新入社員のぼくも会社に早く慣れることができた。



使えますか

- これだけ資金をつぎ込んだからには、
 { a 失敗は許されない。
 b 失敗するだろう。
- 部屋の電気が消えているところを見ると、
 { a 田中さんは留守だった。
 b 田中さんは留守だろう。
- はじめに水を1 cc 加えなかったばかりに、
 { a 実験は失敗してしまった。
 b 実験は成功するだろう。
- 子どもの頃、重い病気をしたせいで、
 { a わたしは今でも体が弱い。
 b 今からでもがんばろう。
- リンさんはさすが漫画家だけあって
 { a 人の表情をかくのがうまい。
 b 不規則な生活をしている。

答は次のページにあります。

I 原因・理由 その1 げん いん り ゆう そうなったわけやそう思うわけを言いたい時



- 1 ~によって・~による
- 2 ~から・~ことから・
~ところから
- 3 ~からこそ
- 4 ~につき



- 5 ~こととて
- 6 ~とあって
- 7 ~ゆえ (に)・~ゆえの



I・1 ~によって・~による【~が原因で】

- ① この店は一昨年からの不景気によってついに店を閉めることとなった。
- ② 女性の社会進出が進んだことにより、女性の社会的地位もだんだん向上してきた。
- ③ 地震による被害者は6千人以上になるようだ。

名詞 + によって

→13課1 「~によって・~による」



I・2 ~から・~ことから・~ところから【~が原因で／~が理由で】

- ① たばこの火の不始末から火事になった。
- ② 友人の無責任なひとことから、彼女は会社にはいられなくなって会社をやめた。
- ③ この辺は桜の木が多いことから、桜木町と呼ばれるようになった。
- ④ 彼女はアラビア語ができるということから、オリンピックの通訳に推薦された。
- ⑤ 灰皿に煙の立っている吸殻が残っていたところから、犯人はまだ遠くへは行っていないと思われる。

「~ところから」は外にも理由があると思われる、という気持ちが加わる。

名詞 + から 連体修飾型（「名詞+の」の形はない） + ことから



1 b 2 a 3 e 4 c 5 d



1 a 2 b 3 a 4 a 5 a



I・3 ～からこそ A【～から】

●「～」がただ一つの理由であり、大切であることを強調したい時に使う。

- ①「あなただからこそ、話すのです。外の人には言いませんよ。」
- ②彼は数学や英語の成績がよかったからこそ、合格できたのでしょう。
- ③先生に手術をしていただいたからこそ、再び歩けるようになったのです。

👉 1 「～からこそ、～のだ。」という形の使い方が多い。

👉 2 ×努力しなかったからこそ、合格できなかったのですよ。

マイナスの意味を強める時にはあまり使われない。

～からこそ B【～から、かえって】

●常識に反する理由だが、その理由を特に言いたい時の言い方。

- ①かわいいと思っているからこそ、厳しくしつけるのです。
- ②知らない人ばかりだったからこそ、言いにくいことも言うことができたのだ。
- ③雨だからこそ、うちにいたくない。雨の日にうちにいるのは寂しすぎる。



I・4 ～につき【～のため】



- ①店内改装中につき、しばらく休業いたします。
- ②本日は祭日につき、休業。
- ③この手紙は料金不足につき、返送されました。(郵便局からの通知)

👉 お知らせ、掲示、張り紙など、通知の文の決まった言い方。

🔗 名詞 + につき



I・5 ～こととて【～ことだから】



- ①「世間知らずの若者のしたこととて、どうぞ許してやってください。」
- ②「山の中の村のこととて上等な料理などございませんが……。」
- ③子どものこととて、何を聞いても泣いてばかりいる。

🔗 連体修飾型 + こととて



I・6 ～とあって【～というわけで／～ので】



●「～ので～だ」という観察などを言いたい時。

- ①外国へ行くのは初めてとあって、会員たちはみんな興奮していた。
- ②歳末大売り出しが始まったが、不景気とあって、デパートの人出はよくなかった。
- ③久しぶりの晴天の休日とあって、山は紅葉を楽しむ人でいっぱいだ。
- ④苦しい練習を越えての優勝とあって、どの選手の顔も喜びにあふれていた。

👉 後の文では特別な様子や状況についての話す人の観察を言う。



I・7 ～ゆえ（に）・～ゆえの【～から／～のため】



- ①円高ゆえ、今年の夏休みに海外に出かけた人々は例年より多かった。
- ②新しい仕事は慣れぬことゆえ、失敗ばかりしております。（手紙文）
- ③当時は貧しさゆえに、小学校に行けない子どももいた。
- ④犯行の原因は家族の愛情が乏しかったゆえのことだろうか。

👉 少し古い文語的な表現。

🔗 名詞（＋の）／連体修飾型（「な」と「の」がない場合もある）＋ゆえに

II 原因・理由 その2 そうなったわけ、またはある判断をするわけを言いたい時



- 1 ～おかげで・～おかげか・
～おかげだ
- 2 ～せいで・～せいか・～せいだ
- 3 ～ものだから・～もので・～もの
- 4 ～ばかりに
- 5 ～だけに・～だけの
- 6 ～だけあって
- 7 ～あまり・～のあまり・
あまりの～に



- 8 ～ばこそ

II・1 ～おかげで・～おかげか・～おかげだ【～の^{たす}助^けで】

●「～の助けがあったので、よい結果^{けっか}になった」と感謝^{かんしゃ}の気持ちで言う時。

- ①母は最近^{さいきん}新しく発売^{はつぱい}された新薬^{しんやく}のおかげで、ずいぶん元気になりました。
- ②彼^{かれ}がけさ電話をかけてきてくれたおかげで、遅刻^{ちこく}しないですんだ。
- ③夜の道路^{どうろ}工事が終わったおかげか、昨夜^{さくや}はいつもよりよく寝^ねられた。
- ④今日、私が指揮者^{しきしや}として成功^{せいこう}できたのは齊藤^{さいとう}先生の厳^{きび}しいご指導^{しどう}のおかげです。



連体修飾型^{れんたいしゅうしきけい} + おかげで

II・2 ～せいで・～せいか・～せいだ【～が^{げんいん}原因^でで】

●「～の原因で、悪い結果となった」と言いたい時の言い方。

- ①林^{はやし}さんが急に休んだ^ぐせいで、今日は3時間も残業^{ざんぎょう}しなけりばならなかった。
- ②マリが授業中^{じゅぎょうちゅう}に何回も話しかけてくる。そのせいでわたしまで先生に叱^{しか}られてしまう。
- ③タンさんは最近^{さいきん}体の具合^{ぐあい}が悪^{わる}いと聞いているが、気のせいか^{せいか}、顔色^{かおいろ}が悪く見える。
- ④兄^{あに}さんが今日晩御飯^{ばんごはん}を全然^{ぜんぜん}食べなかったのは病気のせいだ^{せいだ}と思う。



連体修飾型^{れんたいしゅうしきけい} + せいで



II・3 ～ものだから・～もので・～もの【～ので】

●個人的^{こじんてき}な言いわけを言いたい時によく使う言い方。

- ①先生「どうして遅刻^{ちこく}したんですか。」
学生「目覚まし時計^{めざましどけい}が壊^{こわ}れていた^うものですから。」
- ②姉「あっ、わたしのベストまた着^きてる。どうして、黙^{だま}って着^きるの。」
妹「だって、これ、好き^すなんだ^{もん}。それに、お姉さん、いなかったし……。」
- ③今週^{いそが}は忙^{いそが}しかった^うもので、お返事^{へんじ}するの^{おそ}がつい遅^{おそ}くな^{おそ}ってしまいました。(手紙文)



連体修飾型^{れんたいしゅうしきけい} (「名詞^{めいし}＋の」は「名詞＋な」になることが多い) + ものだから

II・4 ～ばかりに【～ことが原因^でで】

●「そんなことが原因で、予想外の悪い結果となってしまった」と言いたい時。

- ①注意^{わす}を忘れてちょっと生水^{なまみず}を飲んだばかりに、おなかを悪くしてしまった。
- ②パスポートを取りに行^とったが、はんこを忘れたばかりに、もらえなかった。
- ③コンピューターの知識^{ちしき}がないばかりに、社内の希望^{しゃない きぼう}の課に行けなかった。

☞ 後^{けっか}には悪い結果^{どうぜん}の文が来る。当然^{とうぜん}、「～するつもり」など人の意志^{いし}を表す文は来ない。話す人の後悔^{こうかい}の気持ち、残念^{ざんねん}な気持ちを表す。

〇〇 連体修飾型（「名詞+の」の形はない） + ばかりに



II・5 ～だけに・～だけの A【～ので、それにふさわしく】

- 「～ので、当然のことだが」と言いたい時。

- ①連休^{れんきゅう}だけに、道路^{どうろ}は行楽地^{こうらくち}へ向かう車^むでいっぱいだ。
- ②辻^{つじ}さんは子どもの時からイギリスで教育^{きょういく}を受けただけに、きれいな英語^うを話す。
- ③手術^{しゅじゅつ}をしただけのことはあった。けがはすっかり治^{もとどお}って元通り^{もとどお}に歩けるようになった。

☞ 前^{りゆう}の文で理由^{じゆつ}となる事実^{じつじつ}を言い、後^かの文では「その価値^{かち}、能力^{のうりよく}にふさわしく～だ」と当然^{りようか}出てくる評価^{はんだん}や判断^{きやうちやう}などを強調^{きやうちやう}して言う。

共起 さすが～だけに

～だけに・～だけの B【～ので、もっと】

- 「～ので、～ふつう以上に」という意味。

- ①父^ふは年^{とし}をとっているだけに、病気^{びんげい}をすると心配^{しんぱい}だ。
- ②この都市^{とし}には電車^{でんしゃ}がないだけに、市民生活^{しみんせいいかつ}にとってよい道路^{だうろ}が大切^{たいせつ}なのです。
- ③体調^{たいちやう}が悪^{わる}くてあきらめていただけに、今日^{けふ}の優勝^{ゆうしょう}は特にうれい。

〇〇 連体修飾型（「名詞+の」の形はない） + だけに



II・6 ～だけあって【～ので、それにふさわしく】

- 「その才能^{さいのう}や身分^{みぶん}にふさわしく～だ」と感心^{かんしん}したり、ほめたりする時の言い方。

- ①ここは一流^{いちりゅう}ホテルだけあって、サービ^さスがとてもいい。
- ②さすがオリンピック^{せんしゆ}の選手^{せんしゆ}だけあって、期待^{きたい}どおりの見事^{みごと}な演技^{えんぎ}を見せてくれた。

③10年もフランスに住んでいただけあって、彼女^{かのじょ}は洋服^{ようふく}のセンスがよい。

共起^{きょうき} さすが〜だけあって

⑤「〜だけに」と同じ。



II・7 〜あまり・〜のあまり・あまりの〜に【〜すぎるので／あまり〜ので】

●「〜すぎるので、ふつうでない状態^{じょうたい}やよくない結果^{けっか}になった」と言う時の表現^{ひょうげん}。

①今のオリンピックは勝ち負けにこだわるあまり、スポーツマンシップの大切なものをなくしているのではないか。

②問題は簡単^{かんたん}だったのに、考えすぎたあまり、間違^{まちが}えてしまった。

③夫^{おっと}が突然^{とつぜん}の事故^{じこ}で亡^なくなったので、彼女^{かのじょ}は悲しみ^{かな}のあまり仕事^{しごと}が手につかなくなっていました。

④合格^{ごうかく}の知らせを聞いて、彼女^{かのじょ}はうれしさのあまり泣^なき出した。

⑤今年の夏^{なつ}はあまりの暑^{あつ}さに食欲^{しょくよく}もなくなってしまった。

📖 「〜のあまり」の「〜」には感情^{かんじょう}を表^{あらわ}す言葉^{ことば}が来る。「あまりの〜に」の「〜」には形容詞^{けいようし}に「さ」がついた名詞^{めいし}が来ることが多い。

他例^{たれい} 驚^{おどろ}きのあまり、心配^{しんぱい}のあまり、感激^{かんげき}のあまり、懐かしさのあまり

他例^{たれい} あまりの難^{むづか}しさに、あまりのやさしさに、あまりの寒^{さむ}さに、あまりの寂^{さび}しさに

⑤ 連体修飾型^{れんたいしゅうしきがた}（肯定形^{こうていけい}だけ）＋あまり あまりの＋名詞^{なめいし}＋に



II・8 〜ばこそ【〜から】

●「〜から〜のだ。ほかの理由^{りゆう}ではない」と言いたい時に使う表現。

①君^{きみ}の将来^{しょうらい}を考えればこそ、忠告^{ちゅうこく}するのだ。

②音楽^{おんがく}があればこそ、こうして生きていく希望^{きぼう}も湧^わいてくる。

③私^{わたし}が勤め^{つと}を続け^{つづ}られるのも、近所^{きんじょ}に子ども^{こども}の世話^{せわ}をしてくれる人がいればこそだ。

④練習^{れんしゅう}が楽しければこそ、もっとがんばろうという気持ちにもなれるのだ。

📖 話す人の積極^{せつきよく}的な姿勢^{しせい}の理由^{りゆう}を強く言う言い方。「〜」は状態^{じょうたい}の表現^{ひょうげん}が多い。

III原因・理由 その3

決心、判断、推量などをする時の理由を言いたい時



- 1 ~以上 (は)
- 2 ~上は
- 3 ~からは・~からには
- 4 ~ことだから・~ことだ
- 5 ~ところをみると



- 6 ~ではあるまいし



III・1 ~以上 (は)【~のだから】

●「~のだから、当然」と理由を言い、話す人の判断、決意、勧めなどを言う時。

- ①約束した以上、約束は守るべきだと思う。
- ②この学校に入学した以上、校則は守らなければならない。
- ③学生である以上は、勉強を第一にしない。

☞ 後の文には推量、判断、決意、心構え（「~べきだ、~つもりだ、~はずだ、~にちがいない、~てはいけない」など）のような話す人の意志の表れた言い方、または勧め、禁止などの話し相手へ働きかける言い方がよく使われる。

このことは2「~上は」、3「~からは・~からには」も同じ。

☞ 連体修飾型（「名詞+の」の形はない） + 以上 (は)



III・2 ~上は【~のだから】

●「~のだから当然」と理由を言い、話す人の判断、決意、勧めなどを言う時。

- ①社長が決断した上は、我々社員はやるしかない。
- ②実行する上は、十分な準備が必要だ。
- ③やろうと決心した上は、たとえ結果が悪くても全力をつくすだけだ。
- ④親元を離れる上は、十分な覚悟をしてもらいたい。

☞ 1「~以上 (は)」の☞を参照。

☞ 連体修飾型 + 上は

III・3 ～からは・～からには【～のなら／～のだから】

●「～のなら、当然」と理由を言い、話す人の判断、決意、勧めなどを言う時。

- ① ひきうけたからは責任があるのだ。
- ② 「やるからには、最後までやれ。」
- ③ 日本に来たからには、日本のことを徹底的に知りたい。
- ④ こちらからお願いするからには、できるだけのお礼をさせていただきます。

☞ 「～以上（は）」の☞を参照。

普通形（な形容詞と名詞は「である型」）＋からは

III・4 ～ことだから・～ことだ【～なのだから】

●お互いにわかっている「～」から判断して、推量したことを言う時に使う。

- ① 戦争中のことだから、何が起こるか分からない。
- ② 「林さん、遅いですね。来ないんでしょうか。」
「いや、いつも遅く来る彼のことだ。きっと20分ぐらいしたら来るよ。」
- ③ 健のことだ。怒ってカッとなったら、何をするかわからない。

☞ 前の文で、話す人の主観的な判断のわけを言う。③のように話す人と聞く人の間でお互いにわかっていること（この場合は健の性格）は省略されることが多い。

名詞＋の　＋ことだから

III・5 ～ところをみると【～から判断すると】

●「～の様子を見て～と推測される」と言いたい時に使う。

- ① 部屋の電気がついているところをみると、森さんはまだ起きていようだ。
- ② 互いに遠慮し合っているところをみると、あの二人はそう親しい関係ではないのだらう。
- ③ 今回の募集に対して、予想以上に申し込みが多かったところをみると、この企画は成功するかもしれない。



後の文は推量や断定の表現が来る。



連体修飾型 +ところをみると



III・6 ～ではあるまいし【～ではないのだから】

●「～ではないのだから、当然」と言いたい時の表現。

①神様ではあるまいし、10年後のことなんかわたしにわかるはずはありません。

②子ども「この虫とこの虫はよく似ているけど、どこが違うの。」

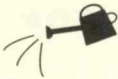
母「学者じゃあるまいし、そんな難しいことはママにはわからないわ。」

③学生「先生、この申込書、どう書けばいいのですか。」

先生「えっ、外国語で書くのじゃあるまいし、あなたの母国語で書けばいいんだから大丈夫でしょう。」



後の文には、相手に対する話す人の判断や、主張、話し相手への忠告、勧めなどが来る。いくらか口語的な表現。



練習

19

原因・理由

A ☐の中から最も適当な言葉を選んで、その記号を ☐の上に書きなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a につき b による c ゆえに d ところから e とあって

- 1 事故 ☐ 電車の遅れは15分程度ということだった。
- 2 今日は「成人の日」 ☐ 着物やスーツでおしゃれをした若者が多い。
- 3 この山は姿が富士山に似ている ☐、「信濃富士」と呼ばれている。
- 4 「道路工事中 ☐、足元にご注意ください。」
- 5 彼は病弱だった ☐ 希望の道に進めなかった。

(買う)

3 無理^{むり}して新車を_____、しばらくは旅行もできない。
(好きなもの^す)

4 自分が_____あげるのです。嫌い^{きら}いものをあげたりしません。

(春休み)

5 今は_____、電車の中や街^{まち}に子どもたちの姿^{すがた}が目^め立^だつ。

a ことだから b からは c ばこそ
d ではあるまいし e ところをみると

おおがねも
(大金持ち)

6 _____、100万円もする楽器^{がっき}は買えない。

(買ってもらった)

7 新しいピアノを_____、一生懸命^{いっしょうけんめい}練習^{れんしゅう}して上手^{じょうず}にならなくては。

たなか
(田中さん)

8 お酒^{さけ}が好きな_____、このワインをあげたら、さぞ喜^{よろこ}ぶだろう。

(している)

9 青い顔^{かお}を_____、あき子さんはどこか具合^{ぐあひ}が悪い^{ちが}に違^{ちが}いなし。

しんぱい
(心配する)

10 あなたのことを_____、今、厳^{きび}しいことを言うのです。

もしある状況じょうきょうになったら、または、ある状況のもとでは、そうする、そうなる、と言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

- a をぬきにしては b ないことには c としたら d さえあれば
 e ようものなら

- 結婚けっこんするかどうか分からないが、もしする____30歳さいになる前がいい。
- みんなの協力きょうりょく____この仕事せいこうは成功しなかっただろう。
- 家族が病気になると、健康で____外に何もいらないと思えてくる。
- くつははいてみ____あ合あうかどうか分からない。
- 兄はカメラをととても大切にしている。黙だまって借り____後こわが怖い。



使えますか

- a 時間さえなければ、何もできない。
 b この仕事は時間さえあれば、できる。
- a お金で解決かいけつできるものなら、そうしたい。
 b 春が来るものなら、暖あたたくなるだろう。
- 宝くじでも当たらなにかぎり、
 { a 何か別ほかの方法を考えよう。
 b 家は買えない。
- a わたしの嫌きらいなケンけんをぬきにしては、パーティーは楽しいだろう。
 b 人気者にんきもののミキをぬきにしては、パーティーは楽しくないだろう。
- 夜、遅おそく帰ろうものなら、
 { a 父にどなられる。
 b 父が駅むかに迎えに来てくれて、うれしい。

答つぎは次のページにあります。

仮定条件・確定条件

もしある状況になったら、または、ある状況のもとでは、そうする、そうなりと言いたい時



- 1 ～さえ～ば
- 2 ～としたら・～とすれば・
～とすると
- 3 ～ないことには
- 4 ～ものなら
- 5 ～をぬきにしては
- 6 ～う（よう）ものなら
- 7 ～ないかぎり



- 8 ～が最後・～たら最後
- 9 ～なくして（は）
- 10 ～とあれば



1 ～さえ～ば

●ある状況が成立するのに、一番必要な条件を仮定する時に使う。

- ①うちの子は暇さえあれば、本を読んでいます。
- ②これは薬を飲みさえすれば治るという病気ではない。入院が必要だ。
- ③謝りさえすれば許されるというのは間違いだ。謝っても許されない罪もある。
- ④子どもたちが丈夫でさえあれば、親はそれだけで満足だ。



動詞の（ます）形 + さえすれば 名詞 + さえ + 動詞の～ば形
い形容詞の語幹 + くさえあれば な形容詞の語幹 + でさえあれば



2 ～としたら・～とすれば・～とすると【～と仮定したら】

●「今は～という状況にはないが、もしその状況を仮定すれば」と言いたい時。

- ①「もし、ここに100万円あったとしたら、何に使いますか。」
- ②「T大学を受験するとしたら、どんな準備が必要でしょうか。」



1 c 2 a 3 d 4 b 5 e



1 b 2 a 3 b 4 b 5 a

- ③わたしの言葉が彼を傷つけたのだとしたら、本当に申し訳ないことをしたと思う。
- ④まだ大学に進むかどうかわからないけど、もし行くとすれば、一人暮らしをすることになる。
- ⑤運転免許証を取るのに30万円以上もかかるとすると、今の経済状況では無理だ。



普通形型 + としたら



3 ～ないことには【～しなければ】

- 「前のことがらが成立しなければ、後のことがらは実現しない」と言いたい時に使う。
- ①ある商品が売れるかどうかは、市場調査をしてみないことには、断定できない。
- ②山田さんが資料を持っているんだから、彼が来ないことには会議が始まりません。
- ③体が健康でないことには、いい仕事はできないだろう。



後には否定の意味の文が来る。話す人の消極的な気持ちを表す場合が多い。



4 ～ものなら【もし～できるなら】

- ①できるものなら鳥になって国へ帰りたい。
- ②「ねえ、田中さんも一緒に旅行に行きましょうよ。」
- 「ばくも行けるものなら行きたいんだけど、ちょっと無理そうだなあ。」
- ③スケジュールが自由になるものなら、広島に1泊したいのだけど、そうもいかない。



1 「～ものなら」の前には可能の意味を含む動詞が来る。そして実現が難しいことを、「もしできるなら」と仮定して、後の文で希望や命令など話す人の意志を表す。

2 「～のようなことになるなら」と仮定して、後の文で希望や命令など話す人の意志を表す使い方もある。

- ・どうせ治らないものなら、手術なんか受けたくない。
- ・来てくれるものなら、早く来てほしい。



動詞の辞書形 + ものなら



5 ～をぬきにしては【～を考えに入れずには】

- 「～を考えに入れないと、後のことがらの実現が難しい」という時に使う。

- ①料理の上手な山田さんをぬきにしては、パーティーは開けません。
 ②モーツァルトの一生は父との旅をぬきにしては語ることができない。
 ③この国の将来は、観光事業の発展をぬきにしてはあり得ない。

☞ 後には「～することができない、難しい」という否定的な意味の文が来る。

→7 課6 「～をぬきにして・～はぬきにして」



6 ～う（よう）ものなら【もし～のようなことをしたら／もし～のようなことになったら】

- 「もしそんなことをしたら大変なことになる」と言いたい時に使う。

- ①この学校は規則が厳しいから、断らずに欠席しようものなら、大変だ。
 ②彼のような責任感のない人が委員長になろうものなら、この委員会の活動はめちゃくちゃになる。わたしは反対だ。
 ③大川さんはこの仕事に人生をかけている。もし失敗しようものなら、彼は二度と立ち直れないだろう。



7 ～ないかぎり【～しなければ】

- 「前のことがらが成立しない状態では、後のことがらのままだ」と言いたい時。

- ①この建物は許可がないかぎり、見学できません。
 ②責任者の田中さんが賛成しないかぎり、この企画書を通すわけにはいかない。
 ③参加各国の協力が得られないかぎり、この大会を今年中に開くことは不可能だ。

☞ 後の文には、否定や困難の意味を表す文が来る。ただし、その部分が省略されることもある。

- ・化学の実験で水といえば、特に断らないかぎり、（ふつうの水ではなく）蒸留水のことを指す。



8 ～が最後・～たら最後【もし～のようなことをしたら／もし～のようなことになったら】

- 「最後」という言葉の示すとおり、「～のようなことをしたら、もうすべてがだめになる、最後だ」という気持ちが強い。

- ①ファイルは一度削除したら最後、元に戻せないから、気をつけたほうがいいですよ。
 ②父は厳しい人だ。父の言うことにちょっとでも反対したら最後、ぼくはこの家にいられなくなるだろう。
 ③彼は国境を一步出たが最後、二度と故郷には戻れないことを知っていた。



動詞の～た形 + が最後 動詞の～たら形 + 最後



9 ～なくして (は)【～がなければ】

- 「～がなければ、後のことは実現しない」と言いたい時に使う。

- ①努力なくしては成功は難しいだろう。
 ②事実の究明なくしては、有罪か無罪かの正しい判断などできるはずがない。
 ③愛なくして何のための人生だろうか。



「～」には望ましい意味の名詞が来る。後には否定的な意味の文が来る。



名詞 + なくして (は)



10 ～とあれば【～なら／～なのだから】

- 「～のためなら、そのことは必要だ、受け入れられる」と言いたい時に使う。

- ①子どもの教育費とあれば、多少の出費もしかたがない。
 ②彼は人柄がいいから、彼のためとあれば協力を惜しまない人が多いだろう。



後には依頼や誘いの文は来ない。



練習

20 仮定条件・確定条件

☐ の言葉を使って、下線の言葉を言い換えなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

- a さえ～ば b としたら c ないことには d ものなら
e をぬきにしては f う（よう）ものなら g ないかぎり
h たら最後 i なくして（は） j とあれば

- もし世界一周旅行に行くと仮定したら、飛行機と船旅とどちらがいいだろうか。
()
- この会は一**般**会員の**人**たちの協力を考えに入れずには運営できない。
()
- 設備も人材もそろっている。ただ、もう少し**研究費**があれば、より満足**の**いく仕事ができるのだが。
()
- あの人にお金を**渡**したらもう**終**わり、なくなるまでお酒を飲んでしまう。
()
- こんな仕事、やめられるなら、すぐにでもやめたい。でも、そういうわけにもいかないし。
()
- お世話になった**木村さん**のためなら、相当の援助を惜しまないつもりだ。
()
- 実際に**会**って**み**なければ、**彼**がどんな人かわからない。
()
- もしも弱**い**者**い**じめの**よ**うなことを**し**たら、父は私を許さないでしょう。
()
- 君との**友**情がなければ、ぼくは今日まで生きては来られなかった。
()
- 彼が誠意を**示**さなければ、私は二度と彼と仕事をするつもりはない。
()

ある状況^{じょうきよう}になってもそうする、そうなると言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

- たとえ大きい地震^{じしん}が (a 起きたら b 起きても c 起きると)、このビルは大丈夫^{だいじょうぶ}だろう。
- 今からどんなに (a がんばったところで b がんばったら c がんばれば)、もうどうにもならない。
- どんな事業^{じぎょう}を始める (a としたら b としても c とすれば)、資金^{しきん}が必^{ひつ}要^{よう}だ。
- あなたがどちらの進路^{しんろ}を選^{せん}択^{たく}する (a として b としろ c にせよ)、わたしはあなたを応援^{おうえん}し続^{つづ}けます。
- 結婚^{けっこん}するにしろ、しない (a とせよ b にしろ c にせよ)、早く自分の家を持ちたい。



使えますか

- a たとえ1日が24時間でも、
b たとえ1日が30時間でも、 } わたしはやっぱり忙^{いそが}しい。
- どんなに急^{いそ}いだところで、 { a 8時の新幹線^{しんかんせん}に乗^のれるはずだ。
b 8時の新幹線に乗^のれるはずがない。
- a 誰^{だれ}か訪^{たず}ねて来^きるとしても、
b 誰^{だれ}も訪^{たず}ねて来^きないとしても、 } いつも部^へ屋^やをきれいにしておきなさい。
- どんなに高^{たか}いものであるにせよ、 { a 彼^{かれ}なら買^かえるはずだ。
b わたしには買^かえるはずがない。
- a わたしの母^{はは}は84歳^{さい}にしろ、まだまだ元^{もと}気^きだ。
b どこへ行^いく^くにしろ、母^{はは}はわたしと一^{いっ}緒^{しょ}に行^いきたがる。

答^{こた}は次のページにあります。

逆接仮定条件

じょうきよう

ある状況になってもそうする、そうなると言いたい時



- 1 たとえ～ても
- 2 ～たところで
- 3 ～としても・～にしても
- 4 ～にしろ・～にせよ



- 5 ～といえども
- 6 ～であれ
- 7 ～う（よう）が・
～う（よう）と（も）
- 8 ～う（よう）が～まいが・
～う（よう）と～まいと



1 たとえ～ても【もし～ということになっても】

- 「～が^{せいりつ}成立しても、それに関係なく^{かんけい}後の文のようになる」と言いたい時。

- ①たとえ^{ゆき ふ}雪が降っても、仕事は休めません。
- ②たとえ^{しあわ ぐ}お金がなくても、幸せに暮らせる^{ほうほう}方法はあるはずだ。
- ③たとえ^{こんなん}困難でも、これを一生の^{いっしょう}仕事と決めたのだから^{さいご}最後までがんばりたい。
- ④たとえ^{じ じつ}そのうわさが事実でも、あの先生^{たい}に対するわたしの^{しんらい ぐず}信頼は崩れません。



2 ～たところで【～ても】

- 「～が成立しても、^{けつ か よ き はん}結果は^{む だ}予期に反して無駄なこと、^{やく}役に立たないことになってしま
- う」という話す人の^{はん だん}判断を言いたい時に使う。

- ①今から走って行ったところで、^{ま あ}間に合うはずがない。
- ②^{まわ}周りの人が何を言ったところで、^{かれ}彼は自分の意見^まを曲げないだろう。
- ③いくら^{はたら}働いたところで、^{ぶつ か}こう物価が高くては^{せい かつ らく}生活は楽にはならない。



後の文は話す人の^{しゅかんてきはんだん}主観的判断、^{すいりよう}推量などの文が多い。

きよう き
共起

たとえ～たところで、いくら～たところで、^{ぎ もん し}疑問詞～たところで



1 b 2 a 3 b 4 c 5 b



1 b 2 b 3 b 4 a 5 b



3 ～としても・～にしても【～と仮定しても】

●「今は～ではないが、もしそうであっても」と言いたい時に使う。

- ①たとえわたしが大金持ちだとしても、毎日遊んで暮らしたいとは思わない。
 ②仮にわたしが病気で倒れたとしても、これだけの蓄えがあれば大丈夫だろう。
 ③いつかはこのアパートを出なければならぬにしても、あまり遠くへは引っ越ししたくない。
 ④「賛成するにしても反対するにしても、それなりの理由を言ってください。」

共起 たとえ～としても、仮に～としても、疑問詞～としても
 普通形型 +としても 名詞／普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」。
 ただし、「である」がない場合もある) +にしても
 →15課3 「～にしても～にしても・～にしろ～にしろ・～にせよ～にせよ」、
 18課6 「～にしても・～にしろ・～にせよ」



4 ～にしろ・～にせよ【～と仮定しても】

●「今は～ではないが、もしそうであっても」と言いたい時に使う。

- ①たとえ家を買うにしろ、親にお金を出してもらうわけにはいかない。
 ②就職先がたとえ小さな会社であるにしろ、就業規則というものがあるはずだから、それに従わなければならない。
 ③参加するにしろしないにしろ、返事は早くした方がいい。
 ④どんなことをするにせよ、十分な計画と準備が必要だ。
 ⑤どんなにわずかな額の予算にせよ、委員会の承認を得なければならない。

共起 たとえ～にしろ、仮に～にしろ、疑問詞～にしろ
 普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」) +にしろ
 →15課3 「～にしても～にしても・～にしろ～にしろ・～にせよ～にせよ」、
 18課6 「～にしても・～にしろ・～にせよ」



5 ～といえども【～でも】

●極端な立場のものを仮定して、「それほどの～でも」と言いたい時に使う。

- ①どんな悪人といえども、悪いことをした後いい気分はしないと思う。



- ②どれほどの悪条件あくじょうけんといえども、一度決めた計画けいかわは必ず実行じっこうしなければならない。
- ③たとえ宗教しゅうきょうといえども、人の心の自由じゆうを奪うばうことはできないはずだ。
- ④いかなる知識人ちしきじんといえども、50年後のわが国の姿を正確せいさくには予想よそうできないのではないだろうか。

共起きょうき たとえ～といえども、疑問詞ぎもんし～といえども
 名詞めいし +といえども →16課 I・4 「～といえども」、18課 9 「～といえども」



6 ～であれ【～でも】



- ①命令めいれいされたことが何であれ、きちんと最後までやらなければならない。
- ②引越ひし先がどこであれ、きっとその土地とちが好きすになると思います。
- ③たとえ相手あいてが社長であれ、わたしは自分の意見をはっきり言おう。
- ④どのような体制たいせいの国家であれ、教育きょういくを重視じゅうししない国家は発展はってんしないだろう。

☞ 後の文は話す人の主観的判断しゅくあんとくはんぱんや推量すいりょうを表す文が来ることが多い。
 共起 たとえ～であれ、疑問詞～であれ
 名詞 +であれ →15課 7 「～であれ～であれ」



7 ～う（よう）が・～う（よう）と（も）【～ても】

- ①誰だれが何と言おうが、わたしは決心けっしんを曲げないつもりだ。
- ②あの人は周りまわがどんなにうるさかろうが、気にしない人です。
- ③どんなに悪く言われようと、あの人は平気へいきらしい。
- ④あの人は他人たにんがどんなに困こまていようと、心を動かさない人だ。

共起 たとえ～う（よう）が、疑問詞～う（よう）が



8 ～う（よう）が～まいが・～う（よう）と～まいと【～ても～なくても】

●二つの対立たいりつすることがらを仮定かていして、どちらの場合ばあいにも後の文が成立せいりつすると言いたい時に使う。

- ①雨が降ろうと降るまいと、この行事ぎょうじは毎年必ず同じ日に行われます。
- ②あの人が来ようと来るまいと、わたしには関係かんけいないことだ。

- ③ 「^{さん か}参加しようが^{かい ひ}するまいが^{はら}、会費だけは払わなければなりませんよ。」

○○○ ^{どう し}動詞の辞書形 (動詞II、IIIは「(ない)形+まいが」もある。「するは」は「す
まい」もある) +まいが →10課II・1 「～う (よう) か～まいか」



練習

21 ^{ぎゃくせつ か ていじょうけん}逆接仮定条件

() の中の言い方を使って下線の言葉を書き換えなさい。

- 1 病気になっても この仕事はやめられない。(たとえ～ても)
()
- 2 人に何と言われても、私は自分の^{けっしん}決心を変^かえるつもりはない。(～う (よう) と)
()
- 3 雨が降っても雪が降っても、走る^{れんしゅう}練習をしなければならない。(～う (よう) が)
()
- 4 どんなに^{ちゅうこく}忠告しても、あの人は聞き入れないでしょう。(～たところで)
()
- 5 一人暮らしを^ぐすると 仮定しても、^{おやもと}親元からあまり^{はな}離れたくない。(～としても)
()
- 6 たとえ^{しんゆう}親友でも、悪いことをすればわたしは^{ゆる}許さない。(～といえども)
()
- 7 この計画^{じっこう}を実行するかしないか、今^{けんとうちゅう}検討中です。どちらになる場合でも あさって
までに^{けつろん}結論を出します。(～にせよ) ()
- 8 相手^{あいて}が^{だれ}誰でも、あの人は^{ことば}ていねいな言葉を使わ^なない人ですね。(～であれ)
()
- 9 男でも女でも、仕事には^{せきにん}責任をもたなければいけない。(～にしろ)
()
- 10 休み中^{ちゅう}帰国してもしなくても、このレポートは必ず^{かならず}仕^し上^あげなさい。(～う (よう)
と～まいと) ()

ある事情によりそのことができない、できる、難しい、やさしいと言いたい時はどんな言い方がありますか。



知っていますか

a かねて b がたい c ようがない d 得ない e わけにはいかない

- 1 テレビの修理屋が今日来ると言っていたから、留守にする_____。
- 2 彼からは国を出てから何の連絡もないので、手紙の出し_____。
- 3 彼が最近言ったり書いたりしていることは、理解し_____ことが多い。
- 4 入ったばかりの会社をやめることになってしまったのだが、このことは両親には言い出し_____いる。
- 5 彼はその晩わたしの家にいたのだから、事件の場所にいたなどということはあり_____。



使えますか

- 1 a わたしの仕事は夜の仕事なので、朝早くは起きがたい。
b 労働条件についての会社側のこの提案は受け入れがたい。
- 2 a それについてはすぐにはお答えしかねます。
b 新しいワープロを買いたかったのだが、お金が足りなくて買いかねた。
- 3 a 法律では未成年者はたばこを吸うわけにはいかないことになっている。
b 彼女からのせっかくのプレゼントだから、大きすぎて着られないなどと言うわけにはいかない。
- 4 a 材料が何もないのだから、
b 今日は疲れているのだから、 } おいしい料理なんか作りようがない。
- 5 a ここから富士山が見え得ますか。
b 考え得る方法は、もうみんな試してみたのだが……。

答は次のページにあります。

ふ か のう か のう こん なん よう い
不可能・可能・困難・容易

ある事情によりそのことができない、
 できる、難しい、やさしいと言いたい時



- 1 ～がたい
- 2 ～わけにはいかない
- 3 ～かねる
- 4 ～ようがない・～ようもない
- 5 ～得る・～得ない



- 6 ～う（よう）にも～ない
- 7 ～にかたくない
- 8 ～に足る
- 9 ～にたえる・～にたえない



1 ～がたい【～するのは難しい】

- ①あの元気なひろしが病気になるなんて信じがたいことです。
- ②弱い者をいじめるとは許しがたい行為だ。
- ③幼い子どもと離れて暮らすことは彼には耐えがたかったのだろう。



×わたしにはコンピューターは難しくて、使いがたいです。

×まだけがが治っていないので、長い時間は歩きがたい。

「能力的にできない」という意味では使わない。



動詞の（ます）形 + がたい



2 ～わけにはいかない【～できない】

- 「～をしたい気持ちはあるが、社会的、道徳的、心理的などの理由でできない」と言いたい時。

- ①あしたは試験があるから、今日は遊んでいるわけにはいかない。
- ②「これは死んだ友人がくれた大切なもので、あげるわけにはいかないんです。」
- ③資源問題が深刻になってきて、企業もこれを無視するわけにはいかなかった。



動詞の辞書形 + わけにはいかない

→27課II・1 「～ないわけにはいかない」



1 e 2 c 3 b 4 a 5 d



1 b 2 a 3 b 4 a 5 b



3 ～かねる【～できない】



●「気持ちの上で抵抗^{ていこう}があって～できない、～することは難^{むずか}しい」という意味。

①親の希望^{きぼう}を考えると、結婚^{けっこん}のことを両親^{りやうしん}に言い出しかねています。

②わたしの経済^{けいざい}的に困^{こま}った状況^{じょうきょう}を見かねたらしく山田^{やまだ}さんが助^{たす}けてくれた。

③客^{きやく} 「ホンコン行き^{ひこうき}の飛行機^{ひこうき}は何時^{なんじ}に出ますか。」

係^{かか}りの人「ここではわかりかねますので、あちらのカウンターでお聞きください。」

④客^{きやく} 「A席^{せき}の切符^{きっぷ}をB席^{せき}と取り替^かえてもらえませんか。」

係^{かか}りの人「申し訳^{わけ}ございませんが、予約^{よやく}がいっぱいですのでご希望^{ごうばん}に応^{おう}じかねます。」

☞ ③④は、サービス業^{ぎやう}などで客^{きやく}の希望^{きぼう}に応^{おう}じられないことを婉曲^{えんきよく}に言う例である。

🔗 動詞^{どうし}の（ます）形^{けい} + かねる



4 ～ようがない・～ようもない【～できない】

●「そうしたいが、その手段^{しゅだん}、方法^{ほうほう}がなくてできない」と言いたい時に使う。

①あの人の住所^{しゅじょ}も電話番^{でんわばん}号^{ごう}もわからないのですから、知らせようがありません。

②推薦^{すいせん}状^{じやう}を書いてくれと言われても、あの人のことをよく知らないのだから、書きようがない。

③社員^{しゆいん}はやる気があるのだが、会社^{かい}の方針^{ほうしん}が変^かわらないのだからどうしようもない。

④夜遅^{おそ}く、電車^{でんしゃ}もバスもなくなり、どうしようもなく歩いて帰りました。

🔗 動詞^{どうし}の（ます）形^{けい} + ようがない



5 ～得る・～得ない【～の可能性^{かのうせい}がある／できる・～の可能性^{かのうせい}がない／できない】



①これは仕事を成功^{せいこう}させるために考え得^{さいじやう}る最上^{さいじやう}の方法^{ほうほう}です。

②患者^{かんじゃ}「やはり手術^{しゅじゅつ}をしなければならいんでしょうか。」

医者^{いしゃ}「ええ、そういうこともあり得^えますね。」

③彼^{かれ}が事件^{じけん}の現場^{げんば}にいたなんて、そんなことはあり得^えない。

④この事故^{じこ}はまったく予測^{よそく}し得^えぬことであつた。

動詞の(ます)形 + 得る

22 不可能・可能・困難・容易

● 「～したくても、それを妨げる事情があってできない」という意味。
6 ～う(よう) にも～ない【～しようと思ってもできない】



- ①大切な電話がくることになっているので、出かけようにも出かけられません。
- ②なにしろ言葉が通じないのだから、道を聞こうにも聞けなくて困った。
- ③大けがをして今病院のベッドの上です。動こうにも動けない状態です。
- ④早く電話をしようにも、近くに電話がなかったんです。

● 「状況から考えて容易に～できる」と言いたい時に使う。
7 ～にかたくな【～できる／～するのはやさしい】



- ①彼が親の死後どうしたか、想像にかたくありません。
 - ②母親のその言葉を聞いて傷ついた子どもの心のうちには想像にかたくない。
 - ③父がわたしの変わりようを見て、どんなに驚いたか想像にかたくない。
- 「想像にかたくない」という形で慣用的に使うことが多い。



8 ～に足る【～できる／～するだけの価値がある】



- ①彼は今度の数学オリシピックで十分満足以る成績がとれるだろう。
- ②これはわざわざ議論するに足る問題だろうか。
- ③田中君は大学の代表として推薦するに足る有望な学生だ。

「～に足る+名詞」の形で使う。



動詞の辞書形／する動詞の名詞 + に足る+名詞

9 ～にたえる・～にたえない【～ことに耐えられる・～ことに耐えられない】



- 「～にたえない」は「不快感、心理的圧迫感があって、そうしていることが我慢できない」という意味。

①あの映画は子ども向けですが、大人の鑑賞にも十分たえる映画です。

②彼の絵はとてもへたで専門家の批評にたえる絵ではない。

③あの人の話はいつも人の悪口ばかりで、聞くにたえない。

④事故現場はまったく見るにたえないありさまだった。



動詞の辞書形／する動詞の名詞 + にたえる



練習

22 不可能・可能・困難・容易

A () 中の言葉と□中のどれかを一緒に使って、下の文を完成しなさい。

a わけにはいかない b かねる c ようがない

1 客 「このシャツ、もう少し安くなりませんか。」

店員 「申し訳ございませんが、これ以上お安くは (いたす) _____
_____。」

2 ラジカセが故障したけど古い型のため部品がなく、(直す) _____。

3 今晚泊めてくれないかと友達に頼まれているけど、今、両親が来ていて (泊めてあげる) _____。

4 田中課長は今、休暇をとって旅行中なので、この2日間は連絡を (とる) _____
_____。

5 先週もアルバイトを休んだから、今週は (休む) _____。

6 友人にお金を借りに行ったのですが、やはり (言い出す) _____、
そのまま帰って来てしまいました。

B ☐ 中の言葉を使って文を完成しなさい。記号で答えなさい。

- a 聞くにたえない b 信頼に足る c 信じがたい d あり得ない
e 想像にかたくありません f なぐさめようにもなぐさめられません

やました
山下さんが会社のお金を不正に使ってしまったんですって。山下さんという人をよく
知っているわたしとしてはとても 1 _____ ことです。そんなことは絶対に 2 _____ と
思います。だって彼ほど 3 _____ 人はいないといつも思っていたんですもの。でも、もし
じじつ 事実だとしたら、今頃は後悔して……どんなに苦しんでいるか 4 _____。うえだ
さんなん
か、5 _____ ひどいことを言っているんですよ。もし、このことが原因で会社をやめる
ことにでもなったら、わたしは 6 _____。わたしに何かしてあげられることはないかし
ら。早く事実を調べなければ……。

ものがどんな状態、状況か、または、動作がどんな様子を言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a ほどの b がちだ c げ d かのよう e だらけ

- 1 忙しくて何日もそうじしなかったから、部屋がほこり_____だ。
- 2 彼は不採用の通知をいかにも悔し_____に破って捨てた。
- 3 まだ十月なのに、けさはストーブをつけたくなる_____寒さだった。
- 4 山の上で見る星は今にも降ってくる_____近く感じられる。
- 5 外食ばかりしていると、カルシウムが不足し_____。



使えますか

- 1 彼はわたしを見て、
 { a おぼえていないほどの顔をした。
 b おぼえていないかのような顔をした。
- 2 a この頃成績が下がり気味で、
 b この頃あの夫婦は離婚気味で、
 } しんぱい 心配している。
- 3 a このパンは古げだ。食べない方がいい。
 b ちかごろ きむらさんはさびげな様子だ。何かあるに違いない。
- 4 a さいきん やまださんは会社に遅れっぽい。疲れているのだろうか。
 b 山田さんは、この頃忘れっぽくなって困った、と言っている。
- 5 a しゅうまつ 週末はくもりがちの天気になるそうだ。
 b 週末はは晴れがちの天気になるそうだ。

答は次のページにあります。

I 傾向・状態 けい こう じょう たい ものがとがどんな状態かを言いたい時



- 1 ～がちの・～がちだ
- 2 ～っぽい
- 3 ～ぎ み気味
- 4 ～だらけ



- 5 ～きらいがある
- 6 ～まみれ
- 7 ～ずくめ
- 8 ～めく・めいた



I・1 ～がちの・～がちだ【よく～になる／～の状態になることが多い】

●自然し ぜんになりやすい傾向について言う時の言い方。主によくない傾向に使う。

- ①森もりさんは小学校4年生のとき体を悪くして、学校も休みがちだった。
- ②田中た なかさんは留守がちだから、電話してもいないことが多い。
- ③今週はくもりがちの天気が続いたが、今日は久しぶりひさによく晴れた。
- ④環境破壊かんきょう はかいの問題は自分の身みに迫せまってこないと、無関心む かんしんになりがちである。

 名詞のように使う。外から見えたことではなく、そうなる傾向を内にもっている場合に使う。回数かいすうの多いことを表す場合が多い。

共起きょう き とかく～がち、ややもすると～がち

他例た れい 忘れがち、怠けがち、遠慮がち、～になりがち、～しがち、病気がち

 動詞どう しの（ます）形／名詞 十がち



I・2 ～っぽい【～の感じかんがする／よく～する】

- ①この部屋は日当たりひ あが悪いので、いつもなんとなく湿しめっぽい。
- ②きみ子は た ちはもう二十歳なのに話すことがずいぶん子どもっぽい。
- ③花子はな こは飽きあっぽくて何をやってもすぐやめてしまう。
- ④母は年のせいかこの頃ごろ忘れっぽくなって、いつもものを探さがしている。



1 e 2 c 3 a 4 d 5 b



1 b 2 a 3 b 4 b 5 a

⑤「あの白っぽいセーターを着ている人が田中さんですよ。」

 回数^{かいすう}の多さではなく、ものの性質^{せいしつ}について言う。よくないことに使うことが多い。

他例^{たれい} 男っぽい、女っぽい、色^{いろ}っぽい、白っぽい、黒^{くろ}っぽい、疲れ^{つか}っぽい

 動詞^{どうし}（ます）形／名詞^{けい} + っぽい



I・3 ～気味^{きみ}【少し^{かん}の感じがする】

●「程度^{ていど}はあまり強くないが、～の傾向^{けいこう}がある」と言いたい時の表現^{ひょうげん}。

①「今日はちょっとかぜ気味なので、早めに帰らせてください。」

②最近^{さいきん}、忙しい仕事^{いそが}が続いたので少し疲れ気味です。

③長雨^{ながあめ}のため、このところ工事^{こうじ}はかなり遅れ気味だ。

④「この頃成績^{ごころせいき}がちょっと下がり気味ですが、どうかしたんですか。」

 よくない場合^{ばあい}に使うことが多い。

他例^{ふと} 太り気味、不足^{ふそく}気味、押され気味、物価^{ぶつ か}が上がり気味

 動詞の（ます）形／名詞 + 気味



I・4 ～だらけ【～がたくさんある／～がたくさんついている】

①子どもたちは泥^{どろ}だらけになって遊^{あそ}んでいる。

②わたしが英語で書いた間違^{まちが}いだらけの手紙をゴミに直^{なお}してもらった。

③けんかでもしたのか、彼は傷^{かれ}だらけになって帰ってきた。

④休暇でわたしが家に帰ると、祖母はしわだらけの顔^{かお}をいっそうくしゃくしゃにして、うれしそうに「よく帰ってきたね。待ってたよ」と言って迎^{むか}えてくれる。

 ふつう、目で見えるもので、よくないものに使う。

他例^{ほこり} だらけ、ごみだらけ、血^ちだらけ、灰^{はい}だらけ、穴^{あな}だらけ

 名詞 + だらけ



I・5 ～きらいがある【～の傾向がある】

●自然にそうなりやすいよくない傾向^{ひはんてき}について批判的に言う時に使う。



- ①人は自分の聞きたくないことは耳に入れられないというきらいがあるのではないか。
- ②どうもあの人の話はいつも大げさになるきらいがある。
- ③人は中年になると、新しいものに興味を持たなくなるきらいがある。
- ④最近の国の選挙では投票率が低くなるきらいがある。

👁️ その時の外から見たことや様子ではなく、本質的な性質に使われる。

🔗 どうし げんざいけい 動詞の現在形 +きらいがある

I・6 ～まみれ【～がたくさんついている】

- 不快な液体や細かいものが体など全体について汚れている様子。

- ①二人とも、血まみれになるまで戦った。
- ②吉田さんは工事現場で毎日ほこりまみれになって働いている。
- ③足跡から、犯人は泥まみれのくつをはいていたと思われる。
- ④汗まみれになって農作業をするのは楽しいことだ。

👁️ 体そのものの変化や、ある場所にたくさんあるもの、散らかっているものなどには使わない。 ×傷まみれ、×しわまみれ、×間違まみれ

🔗 めいし 名詞 +まみれ

I・7 ～ずくめ【～ばかり／～が続いて起こる】

- ①山田さんのうちは、長男の結婚、長女の出産と、最近、おめでたいことずくめだ。
- ②あの時、彼はお葬式の帰りだったらしく、黒ずくめの服装だった。
- ③彼から手紙が来たとし、叔父さんからお小遣いももらったし、今日は朝からいいことずくめだ。

👁️ 物、色、できごとなどにも使う。よいことの例が多い。

他例 たちれい 金ずくめ、けっこうずくめ

🔗 名詞 +ずくめ

I・8 ～めく・めいた【～らしくなる／～らしく見える】

- 「十分に～ではないが、～の感じがする」と言いたい時。

①日ごとに春^{はる}めいてまいりました。その後、お元気でいらっしゃいますか。(手紙文)

②冗談^{じょうだん}めいた言い方だったが、中村君^{なかむらくん}は離婚^{りこん}したことをわたしにうちあけた。

③まゆみはいつも謎^{なぞ}めいたことを言^いっては、周り^{まわ}の人を困^{こま}らせる。



名詞に接続して動詞のように使う。活用は動詞Ⅰと同じ。

他例

秋^{あき}めく、儀式^{ぎしき}めいたこと、親^{おや}めいたこと



名詞 + めく

Ⅱ 様子^{ようす} ものごとがどんな状況^{じょうきょう}か、または動作^{どうさ}がどんな様子^{ようす}かを言いたい時



2級

1 ～ほど・～ほどの・～ほどだ

2 ～くらい・～くらいの・
～くらいだ

3 ～かのように・～かのようにだ

4 ～げ



1級

5 ～ごとく・～ごとき

6 ～ともなく・～ともなしに

7 ～つ～つ

8 ～んばかりに・～んばかりの・
～んばかりだ

9 ～とばかり(に)



Ⅱ・1 ～ほど・～ほどの・～ほどだ

●ある状態^{じょうたい}がどのくらいそうなのか、強調^{きょうちよう}して言いたい時に使う。

①きのうは山登^{のぼ}りに行って、もう一歩^{いっぽ}も歩^{つか}けないほど疲^{つか}れました。

②「足、けがをしたんですって。」

「うん、きのうまでは泣^なきたいほど痛^{いた}かったけど、今日は大分^{だいぶん}よくなったよ。」

③悩^{なや}んでいた時、友人^{ゆうじん}が話を聞^きいてくれて、うれしくて涙^{なみだ}が出るほどだった。

④それは大人^{おとな}から見るとたいしたことではなくても、子どもにとっては死^しにたいほどの
つらい経験^{けいけん}なのかもしれない。



「～」には話^いす人の意志^{いし}を表^{あらわ}さない動詞や動詞の「～たい形」が来ることが多
い。



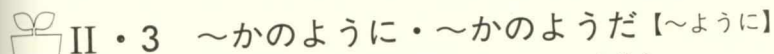
連体修飾型^{れんたいしゅうしきがた} + ほど

→ 6 課Ⅱ・1 「～ば～ほど・～なら～ほど・～ほど」



II・2 ～くらい・～くらいの・～くらいだ

- 「～ほど・～ほどの・～ほどだ」とほとんど同じ意味と使い方。



II・3 ～かのように・～かのようにだ【～ように】

- 「まるで～のように」と何かにたとえて、^{きょうちよう}強調する言い方。

- ①山田^{やまだ}さんの部屋^{へや}は何か月もそうじしていないか^{きたな}のように汚い。
 ②リンさんはその写真^{しゃしん}をまるで宝^{たから}ものか何か^{きたな}のように大切にしている。
 ③四月^{よしか}になって雪^{ゆき}が降^ふるなんて、まるで冬^{ふゆ}が戻^{もど}って来^きたか^{きたな}のよう^{きたな}です。
 ④田中^{たなか}さんにその話^わをすると、彼^{かれ}は知らなかつたか^かのよう^かな顔^{かお}をしたが、本^{ほん}当^{とう}は知^しつて
 いるはずだ。

 普通形^{ふつうけい}型^{がた}（な形容詞^{けいようし}と名詞^{めいし}は「である型」。ただし、「である」が^{ばあ}ない場合^あもある）＋かのように



II・4 ～げ【～そう】

- 人の「そのような様子^{ようす}」を表^{あらわ}す。

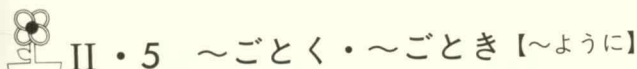
- ①「お母^おさんはどうしたの」と聞^きくと、子^こどもは悲^{かな}しげな顔^{かお}をして下^{した}を向^むいた。
 ②高^{たか}い熱^{ねつ}のあるひろしは、わたくしと話^わすのも苦^{くる}しげだつた。
 ③よう子は楽^はしげに初^{はじ}めての海^{かい}外^{がい}旅^{りょ}行^{ぎょう}の話^わをしてくれた。
 ④会^{かい}議^ぎの後^{のち}、彼^{かれ}はいかにも不^ふ満^{まん}ありげな顔^{かお}をしていた。

 ふつう、人の気^き持^もちの様^{よう}子^すを表^{あらわ}す場合^{ばい}に使^{つか}われる。やや古^{ふる}い言^{こと}い方^{かた}。

他^た例^{れい} 意^い味^みありげ、寂^{さび}しげ、恥^はずかしげ、不^ふ安^{あん}げ、懐^{なつ}かしげ

共^{きよう}起^き いかに～げ、さも～げ

 い形容詞^{けいようし}・な形容詞^{けいようし}の語^ご幹^{かん} ＋げ



II・5 ～ごとく・～ごとき【～ように】

- ①あの人^{ひと}は氷^{こおり}のごとく^{つめ}冷^{ひや}たい人^{ひと}だ。
 ②この10年^{とし}は矢^やのごとく^す過^{すご}ぎ去^さつた。
 ③彼^{かれ}のごとき^{ゆうしき}優^{ゆう}秀^{しき}な人^{ひと}でも失^{しつ}敗^{ぱい}するこ^{こと}があるのだ。



③は例示の意味を含む。



名詞+の +ごとく



II・6 ～ともなく・～ともなしに【特に～しようというつもりでなく】

●「ふと～すると（なんとなく～していたら）、こんな意外なことが起こった」と言いたい時に使う。

①見るともなく窓の外を見ると、流れ星が見えた。

②ラジオを聞くともなしに聞いていたら、とつぜん飛行機墜落のニュースが耳に入ってきた。

③夜、考えるともなしに会社でのことを考えていたら、課長に大切な伝言があったことを思い出した。



「ともなく」の前後には同じ動作性の動詞（見る、言う、聞く、など）が来る。

参考例

・彼はいつからともなく、皆に帝王と呼ばれるようになった。

・彼は置き手紙をすると、どこへともなく去って行った。



動詞の辞書形 +ともなく



II・7 ～つつ～つつ【～たり～たりしながら】

●「～つつ」の後に来る動詞の動作や作用がどんな様子で行われるかを言う。

①マラソンの最後の500メートルで二人の選手はぬきつつぬかれつつの接戦になった。

②風に吹き飛ばされた赤いぼうしは木の葉のように浮きつつ沈みつつ川を流れて行った。

③変な男の人がうちの前を行きつつ戻りつつしている。何をしているんだろう。



「～つつ」の「～」には二つの対立する動詞が並ぶ。慣用的に使う。



動詞の（ます）形 +つつ+（ます）形 +つつ



II・8 ～んばかりに・～んばかりの・～んばかりだ【ほとんど～しそうな様子で】

- ①彼女は泣かんばかりに「手紙をくださいね」と言いながら別れて行った。
 ②せっかく会いに行ったのに、彼は帰れと言わんばかりにむこうを向いてしまった。
 ③リンさんはかごいっぱい、あふれんばかりのりんごを持って来てくれた。
 ④彼の言い方は、まるでぼくの方が悪いと言わぬばかりだ。

☞ 話す人自身の様子には使わない。「ぬ（ん）」は古語から来た言葉。
 ④ 動詞の（ない）形 + ん（ぬ）ばかりに（「する」は、「せんばかりに」）



II・9 ～とばかり（に）【いかにも～というような様子で】

- 「～」を言葉で言うのではなく、いかにもそのような態度や様子で、ある動作をするという意味。

- ①あの子はお母さんなんか嫌い**とばかりに**、家を出て行ってしまいました。
 ②彼はお前も読め**とばかり**、その手紙を机の上に放り出した。
 ③みんなが集まって相談していると、彼女はわたしには関係ない**とばかりに**横を向いてしまった。

☞ 外の人の様子を表現する言い方であるから、話す人自身の様子には使わない。



練習

23 傾向・状態・様子

どちらの文が適切ですか。いい方の記号に○をつけなさい。

- 1 a 最近、仕事が忙しくて、疲れ**き**気味だ。
 b 最近、わたしはテレビを見がちだ。
 2 a 誰でも困っている人を見ると、助けた**たす**がるきらいがある。
 b 誰でも面倒な仕事は後回しにした**あとまわ**がるきらいがある。

- 3 タンカーの事故で油が流れ出して { a 海の鳥たちが油まみれになってしまった。
b 海が油まみれになってしまった。
- 4 彼の話がとても愉快なので、 { a みんなおなか^{いた}が痛くなるくらい^{わら}笑った。
b みんなおなか^{いた}が痛い^かのように笑った。
- 5 a ゆり子さんはユリのごとく美しい。
b ゆり子さんはユリとばかりに美しい。
- 6 a 見るともなくテレビを見ていたら、友人の作家が新人賞^{しょう}をもらったというニュースが報道^{ほうどう}されていた。
b 寝るともなく寝ていたら、夢^{ゆめ}を見た。
- 7 a うちの祖父はあと1週間で100歳^{さい}にならんばかりです。
b 彼はかみつかんばかりの顔^{かお}でわたしをにらみつけた。
- 8 a 息子はぼくの部屋に入るなとばかりに部屋にかぎをかけてしまった。
b 息子はいつもぼくの部屋に入るなとばかりだ。
- 9 a あの時は大声^{おおこえ}で泣く^なかのようにつらかった。
b あの時は大声で泣きたいほどつらかった。
- 10 a 子どもたちは運動場で追いつ追われつ、楽しそうにかけ回^{まわ}っています。
b 公園^{こうえん}の中を家族連れの人たちが歌いつ歩きつしています。

どのような過程かてい とおを通してそうなったか、どのような結果けっ かになったかを言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a ということだ b きり c ことになる d あげく e ところだった

- 1 会社をやめるかどうか、いろいろ迷ったまよ____、やはりやめることにした。
- 2 前のバスが行った____、30分もたつのにまだ次のバスつぎが来ない。
- 3 先週の火曜日から外食がいしょくしているから、今日でもう1週間も外食している____。
- 4 駐車する時あわてていたので、もう少しで隣の車となりにぶつける____。
- 5 「高校のサッカーの決勝戦けつしょうせんは引き分けらしいよ。」
「ということは、つまり、両校優勝りょうこうゆうしょう____ね。」



使えますか

- 1 a なんでも最後までやりぬくことが大切だ。
b このくつははきぬいたから、新しいのを買おう。
- 2 就職しゅうしょくについて両親りょうしんに相談そうだんしたところ、
 { a 大阪の会社に決めた。
 b 自分で決めろと言われた。
- 3 a 一生懸命いっしょうけんめいがんばれば、必ず後で満足まんぞくするところでした。
 b 一生懸命がんばらなければ、必ず後で後悔こうかいすることになりますよ。
- 4 a 何度も国家試験こっ か しけんを受けた末うに、ついに合格ごうかくした。
 b 今年の国家試験を受けた末に、幸運こううんにも合格した。
- 5 a わたしは3時に出発しゅっぱつしたいことになっている。
 b わたしたちは3時に出発することになっている。

答は次のページにあります。

I 経過 けい か どのような過程か てい とおを通して、そうなったかを言いたい時



- 1 ~たところ
- 2 ~あげく (に)・~あげくの
- 3 ~末すえ (に)・~末の
- 4 ~きり・~きりだ



- 5 ~っぱなし
- 6 ~に至いたって (は)



I・1 ~たところ【~したら／~した結果けっ か】

●「~した結果、こうなった」とあらたまって説明する時に使う。

- ① 久しぶりに先生のお宅をお訪ねしたところ、先生はお留守だった。
- ② 留学について父に相談してみたところ、父は喜んで賛成してくれた。
- ③ 山で採ってきたキノコが食べられるかどうか、食品研究所に問い合わせしてみたところ、食べられないことがわかった。
- ④ 山川さんならわかるだろうと思って聞いてみたところが、彼にもわからないということだった。



I・2 ~あげく (に)・~あげくの【いろいろ~した後で、とうとう最後さい ごに】

●「いろいろ~した後で、とうとう残念な結果になった」と言いたい時に使う。

- ① 大学を受験するかどうか、いろいろ考えたあげく、今年は受けないことに決めた。
- ② さんざん道に迷ったあげく、結局、駅前に戻って交番で道を聞かなければならなかった。
- ③ この問題については、長時間にわたる議論のあげく、とうとう結論は出なかった。
- ④ 何日間も協議を続けたあげくの果ての結論として、今回は我々の会としては代表を送らないことにした。



1 d 2 b 3 c 4 e 5 a



1 a 2 b 3 b 4 a 5 b

🔗 動詞の～た形／する動詞の名詞＋の ＋あげく



I・3 ～^{すえ}末(に)・～^{さいご}末の【いろいろ～した後、とうとう最後に】

●「いろいろ～した後で、こうなった」と言いたい時に使う。

- ①帰国するというのは、さんざん迷った^{まよ}末に出した^{けつろん}結論です。
- ②帰国するというのは、さんざん迷った^{まよ}末の結論です。
- ③試合はAチームとBチームの^{はげ}激しい^{たたか}戦いの^{はげ}末、Aチームが^か勝った。
- ④5時間に及ぶ^{およ}討議^{とうぎ}の^{りょうこく}末、両国はオレンジの自由化問題について^{さいしゅうてき}最終的な^{ごうい}合意^{なつ}に達した。

🔗 動詞の～た形／する動詞の名詞＋の ＋末



I・4 ～^{きり}きり・～^{きり}きりだ【～して、そのままずっと】

- ①子どもが朝、出かけた^{しんぱい}きり、夜の8時になっても帰って来ないので心配です。
- ②木村さんは10年前にブラジルへ行った^{きり}きり、そのままブラジルに^{ていじゅう}定住してしまっらしい。
- ③彼女には去年一度会った^{かのじょ}きりです。その後手紙ももらっていません。

🔗 後の文には次に起こるはずのことが起こらないで予想外の状態が続いているという文が来る。

🔗 動詞の～た形 ＋きり



I・5 ～^なっぱなし【～したままだ】



●「～したままで、後の^{とうぜん}当然しなければならないことをしない」という意味。

- ①「道具^{どうぐ}が出し^なっぱなしだよ。使ったら、^{かた}片づけなさい。」
- ②「くつは脱ぎ^ぬっぱなしにしないで、きちんとそろえておきなさい。」
- ③あのメーカーは売り^なっぱなしではなく、アフターケアがしっかりしている。

🔗 動詞の(ます)形 ＋っぱなし



I・6 ～に至って（は）【～という重大な事態になって】



- ① 39度もの熱が3日も続くという事態に至って、彼はやっと医者へ行く気になった。
- ② 関係者は子どもが自殺するに至って初めて事の重大さを知った。
- ③ 学校へほとんど行かずにアルバイトばかりしていた彼は、いよいよ留年という事態に至っては、親に本当のことを言わざるを得なかった。



動詞の辞書形／名詞 + に至って（は）

II 結末 どのような結果になったかを言いたい時



2級

- 1 ～きる・～きれる・～きれない
- 2 ～ぬく
- 3 ～わけだ
- 4 ～次第だ
- 5 ～ことになる
- 6 ～ことになっている・
～こととなっている
- 7 ～ということだ
- 8 ～ところだった
- 9 ～つけ



1級

- 10 ～に至る
- 11 ～しまつだ
- 12 ～までだ・～までのことだ



II・1 ～きる・～きれる・～きれない

- ① 3巻から成る小説を夏休み中に全部読みきった。
- ② あのゲームソフトは人気があるらしく、発売と同時に売りきれてしまった。
- ③ 慎重な彼が「絶対にやれる」と言いきったのだから、相当の自信があるのだろう。
- ④ 山口さんは年をとった両親と入院中の奥さんを抱え、困りきっているらしい。
- ⑤ 母は買い物に行くといつも手に持ちきれないほどの荷物を抱えて帰って来る。

☞ 「～」の動詞に「全部～する」①②⑤、「自信じしんをもって～する」③、「非常ひじょうに～する」④などの意味を加える。

🔗 動詞の（ます）形 + きる

II・2 ～ぬく

①マラソンの精神せいしんというのは、試合しあいに負けても最後まで走りぬくことだ。

②彼は両親りょうしんを失いながらも、10年間も続いた内戦ないせんの時代をなんとか生きぬいた。

③わたしは親おやとしてあの子の長所ちやうしょも欠点けってんも知りぬいているつもりです。

④彼は幼い子おきなを失ったことを悲しみぬいて、自分の命いのちをも断ったという。

☞ 「～」の動詞に「困難こんなんなことを乗り越えて最後まで完全かんぜんに～し終える」①②、「完全に～する」③、「徹底的てっていてきに～する」④などの意味を加える。

🔗 動詞の（ます）形 + ぬく

II・3 ～わけだ

●事実や状況から、「当然～の結論になる」と言いたい時に使う。

①30ページの宿題しゅくだいだから、一日に3ページずつやれば10日で終わるわけです。

②夜型よるがたの人間ふが増えて来たために、コンビニエンスストアがこれほど広がったわけです。

③このスケジュール表りようを見ると、京都きょうとには1泊ばくしかないから水曜日の午前中ちゆうには東京へ帰って来られるわけだ。

④彼たのに頼まれなかったから、わたしはその仕事をやらなかったわけで、頼まれればいつでもやってあげるつもりだ。

🔗 連体修飾型 + わけだ

II・4 ～次第だ【～わけだ】

●理由や事情を説明して、「それでこういう結果になった」と言いたい時に使う。

①社長きみ おおさか「君は大阪には寄らなかつたんだね。」

社員「はい、部長ぶちょうから帰れという連絡れんらくが入りまして急いで帰って来た次第です。」

②客きやく「品物しなものが届とどかなかったのはそちらの手違いてちがだというんですね。」

店員「はい、まことに申し訳^{もう わけ}ございませんが、そういう次第^{し だい}でございます。」

③以上のような次第^{けんがく ちゅう し}で、来週の工場見学は中止にさせていただきます。

 連体修飾型 + 次第^だ



II・5 ～ことになる

●「ある事情^{じ じょう}から考えて、当然^{とうぜん}そうなる」と言いたい時に使う。

①この事故^{じ こ}による負傷者^{ふ しょう しゃ}は、女性^{じょせい}3人、男性^{だんせい}4人の合わせて7人ということになる。

②彼の話を信用^{しんよう}すれば、彼は出張^{しゅつちやうちやう}中だったのだから、そのとき東京にはいなかったことになる。

③「今、遊^{あそ}んでばかりいると、試験の前^くになって悔やむことになるますよ。」

④あの人にお金を貸^かすと、結局返^{けつきよくかえ}してもらえないことになるので貸したくない。

 ①②は「～わけだ」とほとんど同じ意味。③④は、好ましくない結果^{この}になることを警告^{けいこく}したりする使い方。

 連体修飾型 + ことになる



II・6 ～ことになっている・～こととなっている【～という決まり^き（予定^{よてい}、習慣^{しゅうかん}など）になっている】

①この会社では社員は1年に1回健康診断^{かいけんこうしんだん}を受けることになっています。

②「あすは中山先生^{なかやま}が休みで、かわりの先生がいらっしゃることになっています。」

③日本語の敬語^{けいご}では、たとえば自分の父母^{ふ ぼ}のすることについて外の人に話す時、尊敬語^{そんけいご}は使わないことになっている。

④「午前の分科会^{ぶん か かい}はこれで終了^{しゅうりよう}いたします。なお、午後の分科会は2時からということとなっておりますので、1時50分までにお集まりください。」

 連体修飾型 + ことになっている



II・7 ～ということだ【つまり～だ】

●ある事実を受けて、そこから「つまり～だ」と結論を引き出したり、相手に確かめたりする言い方。

- ①社長は急な出張で今日は出社しません。つまり、会議は延期ということですよ。
- ②「山田さんはまだ来ていませんか。つまり、また遅刻ということですね。」
- ③係りの人「あしたは特別の行事のため、この駐車場は臨時に駐車禁止になります。」
客 「ということは、つまり車では来るなということですね。」



II・8 ～ところだった【もう少しで～のような結果になりそうだった】

●「～のような結果になりそうだったが、実際にはならなかった」と言いたい時に使う。

- ①誤解がもとで、あやうく大切な親友を失うところだった。
- ②考えごとをしながら歩いていたので、もう少しで横道から出て来た自転車にぶつかるところだった。
- ③試験の結果が悪く、危なく留年になるところだったが、再試験を受けることでようやく4年生になれた。

共起 もう少しで～ところだった、危なく（あやうく）～ところだった

動詞の辞書形・～ない形 ＋ところだった



II・9 ～つけ

●相手に念を押したり、確かめたりする言い方。

- ①「英語の試験は5番教室だつけ。」
「8番じゃない？」
- ②「『ケン討する』の『ケン』は、キヘンだつけ、ニンベンだつけ。」
「キヘンにきまつてるでしょ。」
- ③「今度の研修旅行には、工場見学も日程に入っていましたつけ。」
「時間的に無理だというんで除かれたんだよ。」

普通形型（「～ましたつけ」「～でしたつけ」もある） ＋つけ





II・10 ～に至る【～までになる】



●「いろいろなことが続いた後、ついにこうなった」と言いたい時に使う。

①被害は次第に広範囲に広がり、ついに死者30人を出すに至った。

②小さなバイクを造ることから始めた本多氏の事業は発展し続け、とうとう世界的な自動車メーカーにまで成長するに至った。

③工場閉鎖に至ったその責任は、誰にあるのか。

共起 ついに～に至る、とうとう～に至る



動詞の辞書形／名詞 + 至る



II・11 ～しまつた【～という悪い結末だ】

●「悪いことを経て、とうとう最後にもっと悪い結果になった」と言う時に使う。

①あの子は乱暴で本当に困る。学校のガラスを割ったり、いすを壊したり、とうとうきのうは友達とけんかして、けがをさせてしまうしまつた。

②きのうはいやな日だった。会社では社長に注意されるし、夜は友人とけんかしてしまし、最後は帰りの電車の中にかばんを忘れて来てしまうしまつた。

③「君はきのうもまた打ち合わせの時間に遅れたそうじゃないか。そんなしまつじや人に信用されないよ。」



連体修飾型 + しまつた



II・12 ～までだ・～までのことだ【～しただけなのだ】

●「ただそれだけの事情や理由である」と言い訳をしたい時の言い方。

①娘「もしもし、あら、お母さん、どうしたの。こんなに遅く電話なんかして。」

母「何度電話しても、あなたがいないから、ちょっと気になったまでよ。」

②「まあ、たくさんのお買い物ですね。何か特別なことでもあるんですか。」

「いいえ、ふるさとのものなので懐かしくてつい買い込んだまでのことなんです。」

③わたしの言葉に特別な意味はない。ただ、彼をなぐさめようと思って言っているまでだ。



どうし ふ っ けい
動詞の普通形 + までだ

→29課7 「～までだ・～までのことだ・～ばそれまでだ」



練習

24 経過・結末

□の中から最も適切な言葉を選んで、その記号を____の上に書きなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

I

- a ところ b に至^{いた}って c き^きって
d きり e っぱなし f 末^{すえ}に

- 彼は夏頃^{ごろ}一度手紙^{てがは}をくれた____、その後何も言って来ません。
- 子どもたちが授業^{じゅぎょう}をボイコットする____、先生たちはようやく子どもたちの言^いい分^{ぶん}にも耳^{みみ}を傾^{かたむ}けるようになった。
- 売り場^ばに問^とい合^あわせてみた____、その切符^{きっぷ}はもう売り切れということだった。
- よう子は職場^{しよくば}の人間関係^{かんけい}に困^{こま}り____、先輩^{せんぱい}に相談^{そうだん}した。
- あちこちの図書館^{まわ}を回^{まわ}った____、ようやくある小さな図書館でほしい本をみつめました。
- 入り口^おにずっと置^おき____のかさ^{だれ}は、誰^{だれ}のでしょうね。

II

- a ところだった b ことになる c し^しまつだ d までです
e ということです f わけです g ことになっています

- きちんと計画を立てて勉強^{きょうけん}しないと、あとで後悔^{こうかい}する____よ。
- 今日の試合^{し あい}では自分のミスで敵^{てき}に先制点^{せんせいてん}を許^{ゆる}すし、動きも鈍^{にぶ}いし、最後^{さいご}には反則^{はんそく}で退場^{たいじょう}させられる____。A選手は本当に調子^{ちようし}が悪い。
- 出版社^{しゅつぱんしゃ}の人「この本は秋の初め頃^{はじ}には出版^{しゅつぱん}したいんですよ。」
本を書く人「ということは原稿^{げんこう}を6月には出してほしい____ね。」

- 4 父が^{こう こ がく}考古学、兄が^{れき し}歴史学の研究者^{しや}なので、わたしも歴史^{きょうみ}に興味をもった_____。
- 5 けさ、人に押されてもう少して電車とホームの間に落ちる^お_____。
- 6 ^{しんにゅう}新入社員は入社^{にゅうしや}後、4 週間^{けんしゅう}の研修^うを受ける_____。
- 7 ^{やま だ}山田「所長^{しやうちょう}の出張^{しゅつちやう}は来月の15日からでしたよね。」
- ^{お がわ}小川「そうですよ。山田さん、ちゃんとノートに書いていたじゃありませんか。」
- 山田「いえ、ちょっと^{かくにん}確認した_____。」

ものごとを打ち消したい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

- a どころじゃない b はずがない c わけではない d ものか
e こともない

- 1 こんないい加減^{かげん}な仕事のやり方では、課長^{かちょう}のOKが出る_____。
- 2 今週はカラオケに行く約束^{やくそく}だったけど、忙しくてカラオケ_____。
- 3 「駐輪禁止^{ちゅうりんしんし}」と書いてあったけど、1台ぐらいかまう_____と置いて置^おいて来てしまった。
- 4 希望者^{きぼうしゃ}が多いので、申し込^{もう}んでもみんな参加^{さんか}できる_____。
- 5 「先日^{せんじつ}の仕事の話、無理^{むり}すればやれない_____んですが……。」
「そうですか。それでは願^{ねが}いします。」



使えますか

- 1 おおきか 大阪からは3時間かかるから、
 { a 2時には着くわけがない。
 b 2時には着くどころじゃない。
- 2 ご質問^{けん}の件ですが、ちょっと私どもでは、
 { a わからないのですが……。
 b わかりっこないのです。
- 3 a しなもの 品物は安ければ必^{かなら}ず売れるはずがない。
 b 品物は安ければ売れるというものではない。
- 4 大学院へ行くことを決^きめたことは決めたんだけど、
 { a 自信^{じしん}がない。
 b 自信がある。
- 5 あんな映画がおもしろいものか。
 { a ぼくは3回^{かい}も見た。
 b ぼくは途中^{とちゅう}で見^みるのをやめた。

答^{つぎ}は次のページにあります。

I 否定 ひ てい ものごとを打ち消す時 う け



- 1 ~わけがない・~わけはない
- 2 ~はずがない
- 3 ~っこない
- 4 ~ものか
- 5 ~どころではなく・
~どころではない
- 6 ~ことなく



- 7 ~なしに・~ことなしに
- 8 ~までもなく・~までもない



I・1 ~わけがない・~わけはない【当然とうぜん~ない】

●ある事実じじつをもとに「そんなことはない」と言いたい時。

- ①まだ習っていない問題を試験に出されても、できるわけがない。
- ②こんなに低温ていおんの夏なんだから、秋にできる米こめがおいしいわけがない。
- ③こんな漢字の多い本を正ただしが読むわけはない。彼かれは漫画まんがしか読まないんだから。



話す人しゅかんてきの主観はんだん的な判断あらわを表す。



連体修飾型れんたいしゅうしきがた +わけがない



I・2 ~はずがない【当然かとうせい~という可能性がない】

●ある事実をもとに「その可能性がない」と言いたい時。

- ①「田中君たなかくんどうしたんだろう。今日はきつと来ると思ったんだけど。」
「田中？ 今日けふは来られるはずがないよ。今、神戸へ帰っているんだから。」
- ②「大山さんおおやま、暇ひまかな。テニスに誘さそってみようか。」
「彼女かのじょは今就職活動中しゅうしょくかつどうちゅうだから暇なはずはないよ。」



1 b 2 a 3 d 4 c 5 e



1 a 2 a 3 b 4 a 5 b

- ③チンさんは生の魚は食べないから「さしみが食べたい」などと言うはずはない。



れんたいしゅうよくがた
連体修飾型 +はずがない



I・3 ～っこない【絶対に～ない】



- 強く否定したい時。

- ①こんな難しい本を買ってやったって、小学校1年生の健にわかりっこない。
②こんなにひどい嵐じゃゴルフなんかできっこない。今日はやめよう。
③「いいマンションね。でも、家賃が30万円だって。」
「30万円! そんな高い家賃、ぼくたちに払えっこないよ。」



話す人の主観的な判断を表す。



動詞の(ます)形 +っこない



I・4 ～ものか【決して～ない】



- 話す人の強い否定の気持ちを表現する時の言い方。

- ①「一人暮らしは寂しいでしょう」
「寂しいものか。気楽でのびのびしていいものだよ。」
②あんな失礼な人と二度と話をするものか。
③連休の遊園地なんか人が多くて疲れるばかりだ。もう、二度と行くものか。
④「この機械が複雑だって? 複雑なもんか。実に簡単だよ。」



反語を使った感情的な言い方。

共起

絶対に～ものか、決して～ものか



連体修飾型(名詞は「名詞+な」になることが多い) +ものか



I・5 ～どころではなく・～どころではない【～はとてもできない】

- 「～する余裕はない」と強く否定する言い方。

- ①「高橋さん、今度の休みに京都へ行くんだけど、一緒に行かない。」
「ごめんなさいね。わたし、今忙しくて、旅行どころじゃないの。」

② 当時^{とうじ}はお金もなく、誕生日^{たんじょうび}といっても祝^{いわ}うどころではなかった。

③ 春だというのに、お花見どころではなく、夜遅くまで仕事をしている。

動詞の辞書形／名詞 + どころではなく



I・6 ～ことなく【～しないで】

● 「～しないで、～する」「～しないで、そのまま」と言いたい時。

① ニコさんの部屋^{へや}の電気は1時を過ぎても消えることなく、朝までついてた。

② 彼らは生活のため、休日^{きゅうじつ}も休むことなく働^{はたら}いた。

③ スミスさんは専門課程^{せんもんかてい}に進むことなく、帰国してしまった。

動詞の辞書形 + ことなく

→ 7 課 4 「～ことなく」



I・7 ～なしに・～ことなしに【～しないで、ずっと】

● 「～しないで、～する」「～しないで、そのまま」と言いたい時。

① わたしたちは3時間、休息^{きゅうそく}なしに歩^{つづ}き続けた。

② 彼のことが気になって朝まで一睡^{いっすい}もすることなしに、起きていた。

③ 彼は研究のため夏の休暇^{きゅうか}中も帰国することなしに、ずっと大学にとどまっていた。

動詞の辞書形 + こと／名詞 + なしに

→ 7 課 11 「～なしに・～ことなしに」



I・8 ～までもなく・～までもない【～しなくてもいい】

● 「～の程度^{ていど}までは必要^{ひつよう}ない」と言いたい時。

① 「あの映画はとてもおもしろいよ。わざわざ映画館に見に行くまでもないけど、ビデオでも見るといいんじゃない。」

② 社長はけさ退院^{たいいん}なさったそうだと。中山^{なかやま}さんがご家族^{かぞく}から直接^{ちよくせつ}聞いたのだから、確か^{たし}めるまでもないと思う。

③ 説明書^{せつめいしょ}に詳しく書いてあるから、わざわざ説明^{くわ}を聞くまでもないと思う。

他例 「言うまでもなく」は慣用的な表現で「もちろん」という意味。

どうし じしよけい
動詞の辞書形 +までもない

II 部分否定 ぶ ぶん ひ てい 部分的に打ち消したり、消極的に肯定したりしたい時 ぶ ぶんてき う け しうきよくてき こうてい



- 1 ~というものではない・
~というものでもない
- 2 ~わけではない
- 3 ~ないことはない・
~ないこともない
- 4 ~ことは~が



- 5 ~ないものでもない・
~ないでもない



II・1 ~というものではない・~というものでもない【~とは言えない】

●「いつも必ず~とは言えない」と言いたい時。

- ①バイオリンは、習っていれば自然にできるようになるというものではない。
- ②会議では何を言うかが大切だ。ただ出席していればいいというものではない。
- ③鉄道は速ければいいというものでもありません。乗客の安全が第一です。
- ④まじめな人だから有能だというものでもない。



ふ ふうけいがた
普通形型 +というものではない



II・2 ~わけではない【全部が~とは言えない／必ず~とは言えない】

- ①わたしは学生時代、勉強ばかりしていたわけではない。よく旅行もした。
- ②自動車立国というが、日本人がみんな車を持っているわけではない。
- ③会社をやめたいという、あなたの今の気持ちもわからないわけではありません。でも、
将来のことも考えないと……。 (先輩からの手紙)



1 ③「~ないわけではない」は部分的に肯定する言い方。



れんたいしゅうしきがた
連体修飾型 +わけではない

🔊 2

「特に～のではない」と説明したい時にも使う。

- ・熱^{ねつ}があるわけ^{わけ}ではないが、なんとなく体がだるい。
- ・今日の会^{かい}は特に参加^{さんか}したいわけ^{わけ}じゃないんだけど、頼^{たの}まれたから行くんです。



II・3 ～ないことはない・～ないこともない【ある場合には～かもしれない／～こともある】

- 「～という可能性^{かのうせい}がないとは言えない」と消極^{しょうきよく}的に言う時。

①「司会^{し かい}は、林^{はやし}さんに頼^{たの}めばやってくれるかな。」

「うん、林^{はやし}さんなら頼^{たの}まれれば引き受け^{ひきうけ}ないこともないんじゃない。」

②東京駅^{とうきょう}まで快速^{かいそく}で20分^{ふん}だから、すぐ出れば間^まに合^あわ^あないこともない。

③車^{くるま}の代金^{だいきん}は一度^{いちど}に払^{はら}えないことはないが、やっぱりローンの方がいいだろう。



II・4 ～ことは～が【一応～が】

- 「一応^{いちおう}～は事実^{じじつ}だが、しかし～だ」と言いたい時の表現^{ひょうげん}。

①中国語^{ちゅうごくご}はわかることはわかるんだけど、話し方^{はなしかた}が速^{はや}いとよくわからない。

②きのう本屋^{ほんや}へ行^いったことは行^いったが、店^{みせ}が閉^しまっていて買^かえなかった。

③わたしのうちは広^{ひろ}いことは広^{ひろ}いんですが、古^{ふる}くて住^すみにくいのです。

④タイに行く前にタイ語^{たいご}を勉強^{べんきやう}したことはしたんですが、たった2週間^{ふたしゅうかん}だけです。

🔊 「ことは」の前^{ぜん}後の「～」には同じ語^ごが来る。

🔗 連体修飾型^{れんたいしゅうしきがた} + ことは～が



II・5 ～ないものでもない・～ないでもない【全く～ないのではない／～の可能性^{かのうせい}がある】

- 「ある場合は～することもある」「条件^{じょうけん}が合^あえば～するかもしれない」の意味。

①3人でこれだけ集中^{しゅうちゅう}してやれば、四月^{しがつ}までに完成^{かんせい}し^しないものでもない。

②「わたしだってロックを聞^きか^かないものでもないよ。今度^{こんど}いいコンサートがあつたら教えて^{しや}くださいよ。」

③「日本酒^{しゅ ぜんぜん}は全然^{ぜんぜん}飲^のまないんですか。」

「いえ、飲^のま^まないでもないんですが、ワインの方がよく飲みます。」

🔊 消極^{しょうきよく}的に肯定^{こうてい}する。個^こ人^{じん}的^{てき}な判断^{はんだん}、推量^{すいりやう}、好^すき嫌^{きら}いについて言うことが多い。



練習

25 否定・部分否定

□の中の言葉を使って文を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

I

- a までもない b はずがない c わけではない
d ないものでもない e どころではない

木村「日本語のスピーチコンテストのことですが、タムさんに出られるかどうか聞いてみましょうか。」

ジム「タムさんは出られる1_____と思いますよ。修士論文が忙しくて、スピーチコンテスト2_____と言っていましたから。」

木村「確かめてみましたか。」

ジム「確かめる3_____と思います。この1週間も毎日図書室にいたし……。」

木村「そうですか、困りましたね……。それじゃ、あなたはどうか。」

ジム「残念ながら、ぼくはだめですよ。このスピーチコンテストは外国人なら誰でも出られるという4_____んです。在日2年未満という制限がありますから。」

木村「ああ、そうでしたね。あなたは、もう3年になるんですね。」

ジム「その制限がなければ、ぼくも出5_____んですが。」

II

- a わけがない b なしに c ものか d っこない

弟「お兄ちゃん、ぼくにもそのプラモデル、作らせて」

兄「二郎にはまだ無理だよ。できる1_____よ。」

弟「できるよ。」

兄「でき2_____よ。」

弟「絶対できる。」

兄「じゃあ、やってごらん。休み3_____最後までやるんだぞ。」

弟「うん。」

(1時間たっても、まだできない。)

兄「ほら、無理だろう。」

弟「絶対あきらめる4_____。」

聞いたことを伝える時や、確かでないことについて自分がどう考えているかを言いたい時は、
どんな言い方がありますか。



知っていますか

- a かねない b ということだ c まい d とみえて e に違いない

- 1 春休みが始まった____、バスには学生の姿が少ない。
- 2 テレビの予報によると、今年の夏は水不足が心配だ_____。
- 3 選手の強化を図らないと、オリンピック出場などとても期待でき_____。
- 4 時間に正確な山木さんが来ないのは、事故か何かがあったから_____。
- 5 準備体操をせずに激しいスポーツをしたら、けがをし_____。



使えますか

- 1 そちらでは地震の被害は { a ほとんどなかったとのこと、よかったですね。
b ほとんどなかったそうです。よかったですね。
- 2 娘「この不景気だから、 { a お姉さんの就職は難しいのではあるまいか。」
b お姉さんの就職は難しいんじゃないかしら。」
母「そうねえ。難しいかもしれないわねえ。」
- 3 a タバコは健康を害するおそれがありますので、 } 吸いすぎに注意しまし
b タバコは健康を害するに相違ありませんので、 }
よう。(タバコの広告)
- 4 a 彼はニコニコしているとみえて、何かいいことがあったらしい。
b 彼は何かいいことがあったとみえて、ニコニコしている。
- 5 a この薬を飲めば、病気が治りかねない。
b 山川さんはこのままだと、病気になりかねない。

答は次のページにあります。

I 伝聞 でん ぶん 聞いたことを伝える時 つた



- 1 ~ということだ・
~とのこと (だ)
- 2 ~とか



- 3 ~由 よし



I・1 ~ということだ・~とのこと (だ) 【~そうだ/~と聞いている】

- ①今は田畑た はたしかないが、昔むかしはこの辺りあたが町ちやうしんの中心ちゆうしんだったということだ。
- ②新聞によると、あの事件じけんはやつと解決かいけつに向かったとのことです。
- ③大統領だいてりやうの来日らいにちは毎月10日 ということだったが、来月えん きに延期えんきされたそうだ。また、今回こん かいは夫人ふじんは同行どうこうしないだろうとのことだ。
- ④お手紙によると、太郎君たろうくんも来年はいよいよ社会人かたやく こころになられるとのこと、ご活躍かつやくを心から祈いのっています。✉



この言い方は、直接的な引用ちよくせつてき いんやうという感じが強いので、「~」には推量すいりやうや命令めいれいの形かたちなども来る。「~ということだった」という形もある。



I・2 ~とか 【~そうだが/~と聞いたが】

- ①「テレビで見たんだけど北海道ほっかいどうはきのう大雪おおゆきだったとか。」
「そうですか。いよいよ冬ふゆですねえ。」
- ②「ニュースで聞いたんですけど、ゆうべ新宿しんじゆくで火事かじがあったとか……あなたの住んでいる方かたじゃないですか。」
「ええ、近くなだったんです。5人も亡なくなったとかで、大騒おおさわぎでした。」
- ③来年は妹さんが日本にっぽんへ留学りやうがくのご予定よていだとか。楽しみに待っています。✉



1 d 2 b 3 c 4 e 5 a



1 a 2 b 3 a 4 b 5 b

 伝聞の「～そうだ」や「～ということだ」より不確かな気持ちがある場合や、はっきり言うことを避けたい時に使う。



I・3 ～由【～そうで】



- ① そちらでは紅葉が今が盛りとの由ですが、うかがえなくて残念です。☒
- ② 来月は久しぶりに上京なさる由、その時はぜひご一報ください。☒
- ③ 別便で新米をお送りくださる由、家族一同楽しみに待っております。☒

 手紙などで使う言葉。

II 推量 すい りょう 確かでないことについて自分がどう考えているかを言いたい時



- 1 ～まい
- 2 ～まいか
- 3 ～おそれがある
- 4 ～かねない
- 5 ～にちがいない
- 6 ～にそう い相違ない
- 7 ～とみえて・～とみえる



II・1 ～まい【～しないだろう】



- ① この事件は複雑だから、そう簡単には解決するまい。
- ② 彼は人をだまして町を出て行ったのだから、二度とここへ戻ることはあるまい。
- ③ この不況は深刻だから、安易な対策では景気の早期回復は望めまい。

 「～まい」は現代でも使われている古い語。

 動詞の辞書形（動詞Ⅱ・Ⅲは「～ない形+まい」もある。「する」は「すまい」もある） +まい

→29課 1 「～まい」



II・2 ～まいか【～ないだろうか】



- ① 山口さんはそう言うけれども、必ずしもそうとは言切れないのではあるまいか。
 ② 水不足が続くと、今年も米の生産に影響が出るのではあるまいかと心配だ。
 ③ 不況、不況というが、これがふつうの状態なのではあるまいか。

👉 現代でも使われている古い語。主に「～のではあるまいか」の形で文末に使い、「～」ということを婉曲に言う表現。



1 「～まい」と同じ。



II・3 ～おそれがある【～かもしれない】

- 「～という悪いことが起こる心配がある」と言いたい時に使う。

- ① このガスは環境を破壊するおそれがあります。
 ② この薬は副作用のおそれがあるので、医者の指示に従って飲んでください。
 ③ 小中学校の週休二日制は子どもの塾通いを増加させるおそれがあると言われている。



連体修飾型 + おそれがある



II・4 ～かねない【～かもしれない】

- 「～という悪い結果になる可能性がある」と言いたい時に使う。

- ① 「そんな乱暴な運転をしたら事故を起こしかねないよ。」
 ② 食事と睡眠だけはきちんととらないと、体を壊すことになりかねません。
 ③ 最近のマスコミの過剰な報道は、無関係な人を傷つけることにもなりかねない。



動詞の（ます）形 + かねない



II・5 ～に違いない【きっと～と思う】

- ① 何度電話してもいないから、アリさんは旅行にでも行っているに違いない。
 ② 彼は何も言わなかったが、表情から見て、本当のことを知っていたに違いない。
 ③ 着ている服や話し方から見て、あの人は出版関係の仕事をしている人に違いない。

④課のみんなが知らないということは、川田さんがちゃんと報告しなかったに違いない。

👉 6「～に相違ない」の👉を参照。

🔗 普通形型（な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある） +に違い

🎁 II・6 ～に相違ない【きつと～だ】



- ①反対されてすぐ自分の意見を引っ込めたところを見ると、彼女は初めから自分の意見を信じていなかったに相違ない。
- ②彼の言ったことは事実に相違ないだろうとは思いますが、一応調べてみる必要がある。
- ③不合格品がそれほど出たとは、製品の検査が相当厳しいに相違ない。

👉 5「～に違い

ない」と「～に相違ない」には断定の意味を表す使い方もある。
・係りの人「この証明書はあなたのですね。」

学生 「はい、私のに違ありません。」

・30年ぶりに帰って来た山本さんは確かにわたしの昔の友人に相違なかったが、30年という歳月はずいぶん人間を変えるものだと思った。

🔗 5「～に違い

🎁 II・7 ～とみえて・～とみえる【～らしく／～らしい】

- ①夜遅く雨が降ったとみえて、庭がぬれている。
- ②母はまだ病気からすっかり回復していないとみえて、何をしても疲れると言う。
- ③彼の話聞いたところでは、彼はこの計画に相当自信をもっているとみえる。

👉 ある事実を基にして、そこから推量することを述べる言い方。

🔗 普通形型（な形容詞と名詞は「だ」がない場合もある） +とみえて



練習

26 伝聞・推量

A どちらが正しいですか。正しい方の記号に○をつけなさい。

1 「リンさんは今週末には帰国したい { a ということでしたが、 } 切符がとれず、
b そうでしたが、

帰国を延期した { a そうですよ。 }
b との由。」

2 最近お体の調子^{ちようし}があまりよくない { a とのこと、 } どうぞご自愛^{じあい}ください。
b そうで、

3 上田^{うへだ}「銀行の田中^{たなか}さんは何時ごろ来社^{らいしや}される { a とか? }
b ということですか?」

やました^{やました}山下「3時までには見える { a とのことです。 }
b 由。」

4 最近の木村^{きむら}さんの暗い^{くら}顔^{かお}を見ると、何か大きな問題でも抱えているのではある

{ a まい } と気になる。
b まいか

B ☐ 中の言葉^{ことば}を使って文^{かんせい}を完成^{かんせい}しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

a とみえて b とのこと c かねない
d に違^{ちが}いない e ということ

4月^{ぶちよう}は新しいことが始まる月だ。部長^{ぶちよう}の話では、わが社も20人の新入社員^{しんにゅう}を迎^{むか}える
1 _____、しばらくは落ち着かない日が続くだろう。古い社員たちも、それなりに緊^{きん}
張^{ちよう}している2 _____、いつもとは違^{ちが}った表情^{ひようじよう}だ。誰^{だれ}もが新しい年度がスタートする緊^{きん}
張^{ちようかん}感^{しんせん}と新鮮^{かん}さを感じている3 _____。話によると、会社も近々、大型^{ちかぢか}のコンピュータ
ーを入れる4 _____だ。ぼくものんびりしていると、若い^{わか}パワーに追^おい越^こされ5 _____
から、がんばろう。

その感じが強い、自然にそう感じる、または、心理的にそうしないことは避けられないということ
ことを言いたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

- a ないわけにはいかない b ずにはいられなかった c たまらない
d ならなかった e ざるをえない

- 1 重^{おも}そうな荷物^{にもつ}を持っているおばあさんがいたので、持ってあげ_____。
- 2 虫歯^{むしば}ができたのか、今日は朝から歯^はが痛^{いた}くて_____。
- 3 あの頃^{ころ}は定職^{ていしょく}がなかったなので、将来^{しょうらい}のことが不安^{ふあん}に思えて_____。
- 4 会^{かい}には行^いけなかったが、行^いくと約束^{やくそく}していたので会費^{かいひ}を払^{はら}わ_____。
- 5 保証人^{ほしょうにん}の海外^{かいがい}転勤^{てんきん}が決^きまってしまったので、外^{ねが}の方^{かた}にお願いせ_____。



使えますか

- 1 大切な会議^{かいぎ}だから、
 { a 出席^{しゅっせき}しないわけにはいかない
 b 出席するわけにはいかない。
- 2 先日^{せんじつ}も彼^{かれ}の誘^{きそ}いを断^{ことわ}ったから、
 { a 今日^{けふ}はつき合わないわけにはいかない。
 b 今日^{けふ}はつき合わないではいられない。
- 3 彼の表情^{ひょうじょう}を見ると、
 { a どうもうそをついていたと言^いわざるをえない。
 b どうもうそをついていたと言^いわずにはいられない。
- 4 a みつ子^{みつこ}さんは朝^あから寒気^{さむけ}がしてならない。
 b 朝^あから寒気^{さむけ}がしてならない。今日^{けふ}は早く帰^{かえ}ろう。
- 5 このテレビゲームは
 { a 高^{たか}くてたまらない。
 b 楽^{たの}しくてたまらない。

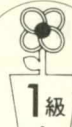
答^{こた}は次のページにあります。

I 心情の強調

そのような感じが強い、自然にそう感じるということを言いたい時



- 1 ~てしかたがない・
~てしょうがない
- 2 ~てたまらない
- 3 ~てならない



- 4 ~てやまない
- 5 ~かぎりだ
- 6 ~といったらない・
~といったらありはしない

I・1 ~てしかたがない・~てしょうがない【非常に~だ】

●ある心や体の状態が「とても強くて抑えられない」という時に使う。

- ①いよいよあした帰国かと思うとうれしくてしかたがありません。
- ②自分の不注意でこんなことになってしまって、残念でしかたがない。
- ③彼がどうしてあんなことを言ったのか気になってしかたがないのです。
- ④ワープロを始めたせいか、この頃目が疲れてしょうがない。

🗨️ ふつう、話す人の気持ちにだけ使う。このことは2「~てたまらない」、3「~てならない」、4「~てやまない」、5「~かぎりだ」についても同じ。三人称に使う時は文末に「~ようだ、~らしい、~のだ」などをつける注意が必要。

I・2 ~てたまらない【非常に~だ】

●ある心や体の状態が「とても強い」と言いたい時に使う。

- ①なぜ薬のせいか、眠くてたまりません。
- ②試験のことが心配でたまらず、夜もよく眠れない。
- ③若い頃は親元を離れたくてたまらなかったが、今は親のことがたまらなく懐かしい。
- ④どうしたんだろう。今日は朝からのどが渴いてたまらない。



1 b 2 c 3 d 4 a 5 e



1 a 2 a 3 a 4 b 5 b

- 📖 1 ×病気の母のことを思うと涙が出てきてたまらない。
 ×体調が悪い時は周りのうるさい人たちがじゃまに思えてたまらない。
 「～てしかたがない」は自発を表す言葉（思える、泣ける、気になるなど）にも使えるが、「～てたまらない」にはこの用法はない。
- 病気の母のことを思うと涙が出てきてしかたがない。
 ○体調が悪い時は、周りのうるさい人たちがじゃまに思えてしょうがない。
- 📖 2 「～てしかたがない」の📖を参照。



I・3 ～てならない【我慢できないほど～だ】

- 心や体のある状態がとても強くて「抑えられない」と言いたい時に使う。
- ①あの人はどうも悪いことを考えているのではないかという気がしてならない。
 ②この先、日本は危険なことが増えていくように思えてならない。
 ③この写真を見ているとふるさとのことが思い出されてなりません。
 ④この収入で家族が生活していけるのかと心配でなりません。

- 📖 1 自発の意味を表す言葉と接続して、マイナスの気持ちを表すことが多い。
 📖 2 「～てしかたがない」の📖を参照。



I・4 ～てやまない【心から～ている】

- 相手に対する祈りや願いの気持ちが強く、ずっとそう思っているといたい時。
- ①くれぐれもお大事に。一日も早いご回復を祈ってやみません。☒
 ②「今後も会員の皆さまのご活躍を願ってやみません。」
 ③水不足のため、水道が止まっているとのことですが、早く雨が降るように祈ってやみません。☒

- 📖 1 祈る、願う、希望する、などの動詞とともに使う。ふつう、現在形で使う。
 📖 2 「～てしかたがない」の📖を参照。



I・5 ～かぎりだ【最高に～だと感じる】

- 客観的に外の人々が外側から見てわかることなく、現在、自分が非常にそう感じているという心の状態を表す。

- ①いよいよあしたは^{しゅっぱつ}出発です。なんともうれし^いかぎりです。
- ②鈴木^{すずき}さんはいつもさわやかに自己主張^{じこしゅちょう}する。うらやまし^いかぎりである。
- ③大事な仕事^{かれ}なのに彼^たが手伝^{てつだ}ってくれないなんて、心細^{こころぼそ}いかぎりだ。

📖 「～てしかたがない」の📖を^{さんしやう}参照。

🔗 い形容詞の辞書形／な形容詞＋な／名詞＋の ＋かぎりだ



I・6 ～といたらない・～といたらありはしない【～は口では表現^{ひやうげん}できない ほど～だと思う】

- ①海^{うみ}を初めて見たときの感激^{かんげき}といたらなかった。
- ②がんばって自分の主張^{しゅちやう}を通^{とお}した時の吉田^{よしだ}さんの態度^{たいど}の立派^{りっぱ}さといたらなかった。
- ③山口^{やまぐち}さんの部屋^への汚^{きた}さといたらない。足の踏み場^{ふみば}もないくらいだ。
- ④朝^{あさ}から晩^{ばん}まで同じことの繰^くり返^{かえ}しなんて、ばかばかしいといたらありやしない。
- 📖 プラスの評価^{ひやうか}でもマイナスの評価^{ひやうか}でも使えるが、「～といたらありやしない」はマイナス面^{めん}だけで、特に^{めい}に^かだけた言い方。 →17課5「～といたら」

II 強制^{きやう せい} 外^{ちから}からの強い力^{ちから}があつて、心理^{しん り てき}的にそうしないことは避け^さけられないと言^いいたい時

2級

- 1 ～ないわけにはいかない
- 2 ～ざるをえない
- 3 ～ないではいられない・
～ずにはいられない

1級

- 4 ～ないではすまない・
～ずにはすまない
- 5 ～ないではおかない・
～ずにはおかない
- 6 ～を禁^{きん}じ得^えない
- 7 ～を余儀^{よぎ}なくされる



II・1 ～ないわけにはいかない【～しないことは避け^さけられない／ どうしても～する必要がある^{ひつよう}】

●心理^{にんげんかんけい}的、社会^{じやう}的、人間関係^{にんげんかんけい}などの事情^{じじやう}のために「～ないことは避け^さけられない」と言^いいたい時。

- ①今日は熱^{ねつ}も少しあるけれども、会議^{かいぎ}でわたしが発表^{はつぷよう}することになっているので、出^{しゅつ}

せき
席しないわけにはいかなかった。

②25日は、取引先の会社の社長が初めて日本に来るので空港まで迎えに行かないわけにはいかない。

③あしたの試験に失敗したら進級できない。今日こそ勉強しないわけにはいかない。

→22課2 「～わけにはいかない」



II・2 ～ざるをえない【～しないことは避けられない／どうしても～する必要がある】



●～したくはないが、避けられない事情があるので「しかたなく～する」と言う時。

①上司に命じられた仕事なら、いやでもやらざるをえない。

②資金不足のために、この開発計画も今後大幅な修正をせざるをえないだろう。

③化学は好きではないが、必修だから取らざるをえない。

④倒産という事態になったのは、K氏に責任の大半があると言わざるをえない。

☞ 「～ざる」は古語から来た言葉で「～ない」という意味。

「～ざるをえない」は「～ないわけにはいかない」より強制力が強い。

💡 動詞の(ない)形 + ざるをえない



II・3 ～ないではいられない・～ずにはいられない【どうしても～しないではいけない】

●身体的にがまんできない場合や、ものごとの様子や事情を見て、自分の心の中で～しようという気持ちが起こって、抑えられない時の表現。

①会議中だったが、おなか痛くて、体を横にし*ないではいられなかった*。

②店の仕事と、子どもの世話と、お父さんの看病という花子の忙しさを見たら、何か手伝わ*ずにはいられない*。

③おもしろい！ 読み始めたら、終わりまで読ま*ずにはいられない*。(本の広告から)

④地震の被災者のことを思うと、早く復興が進むようにと願わ*ずにはいられません*。

☞ ×林さんは困った人を見ると助け*ないではいられない*。

×チンさんは泣か*ずにはいられない*。

話す人の気持ちを表す文であるから、三人称に使う時は文末に「～ようだ、～らしい、～のだ」などをつける注意が必要である。

④ 動詞の(ない)形(「する」は「せずにはいられない」) + ずにはいられない



II・4 ～ないではすまない・～ずにはすまない【必ず～しなければならない】

●その場、その時の状況、社会的ルールを考えると「そうしないことは許されない」または「自分の気持ちからそうしなければならない」と言いたい時。

- ①大切なものを壊してしまったのです。買って返さないではすまないでしょう。
- ②「彼はかなり怒っているよ。ぼくらが謝らないではすまないと思う。」
- ③検査の結果によっては、手術せずにはすまないだろう。
- ④今回林さんにあんなに世話になったのだから、ひとことお礼に行かないではすまない。

👉 5「～ないではおかない」の👉を参照。

④「～ずにはいられない」と同じ。



II・5 ～ないではおかない・～ずにはおかない【必ず～する】

●「～しないでおく、ということは許さない。必ず～する」という強い気持ち、意欲、方針があるときの言い方。

- ①マナーが悪い人は罰しないではおかないというのが、この国の方針です。
- ②あの刑事はこの殺人事件の犯人は逮捕せずにはおかないと言っている。
- ③チームに弱いところがあれば、敵はそこを攻めずにはおかないだろう。
- ④政府は急に方針を変えた。野党はそこを攻撃せずにはおかないだろう。

👉 「～ないではすまない・～ずにはすまない」は受身的で消極的な言い方。

「～ないではおかない・～ずにはおかない」は能動的で積極的な言い方。

④「～ずにはいられない」と同じ。



II・6 ～を禁じ得ない【～を抑えることができない】

●ものごとの様子や事情を見て、心の中から自然にそのような気持ちが起こってきて「抑えることができない」と言いたい時。

- ①震災で家も夫も失い、小さい子どもを抱えて逃げ回ったという彼女の話聞いて、わたしは涙を禁じ得なかった。

②建てたばかりの家が地震で壊れてしまったそうだ。まったく同情を禁じ得ない。

③今回の県知事の不正行為は、税金を納めている県民として怒りを禁じ得ない。

📖 1 「～」には感情を表す言葉（名詞、する動詞の名詞）が来る。

📖 2 ×ヤンさんは林さんの様子を見て、涙を禁じ得ない。

×アリさんは政治家の不正行為に怒りを禁じ得ない。

話す人の感情を表す文であるから、ふつう一人称（わたし、わたしたち）の文に使う。



II・7 ～を余儀なくされる【しかたなく～する】



●「自然や自分の力では及ばない強い力でしかたなく～する」という表現。

①せっかく入った大学であったが、次郎は病気のため退学を余儀なくされた。

②国民の高齢化を支えるため、国民は税の高負担を余儀なくされることとなる。

③地震で家を失った人々は学校の校庭や公園でのテント暮らしを余儀なくされた。

📖 「～を余儀なくさせる」は立場が反対の表現である。

・太郎は役者になりたかったのだが、家庭の事情は太郎に家の商売を継ぐことを余儀なくさせた。

・人件費の高くなったことが新しい支店開設の中止を余儀なくさせた。



練習

27 心情の強調・強制

☐ 中の適当な言葉を使って、次の文の下線の言葉を言い換えなさい。

- | | |
|-----------|-----------|
| a てたまりません | b てなりません |
| c てやみません | d ざるをえません |

1 彼が何か悩んでいるような気がとても強くします。

()

2 まだ体調がよくないのですが、人手が足りないので今日からどうしても出勤しなければなりません。

()

3 この頃、国のことが思い出されてとても寂しいです。

()

4 一日も早く被災地が復興することを心から願っています。

()

- a ないわけにはいかない b ないではいられない
c ないではすまない d ないではおかない

5 わたしは細かいこともどうしても確かめないでいることはできない性格なのだ。

()

6 失礼なことを言ってしまったのだから、お詫びしないますまえることはできないと思う。

()

7 これ、先生に頼まれた仕事だから、どうしてもやる必要がある。

()

8 今度あいつに会ったら、ひとこと必ず謝らせるぞ。

()

- a かぎりだ b といったらない
c を禁じ得ない d を余儀なくされた

9 クラスのヤンさんのスピーチのうまさは本当にすごい。本当にうらやましい。

() ()

10 働き過ぎて体を壊し、しかたなく退職した山田さんの心情を思うと、同情を抑えられない。

() ()

あいて 相手に誘ったり、勧めたり、要求などをしたりしたい時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a べきだ b ものではない c ことだ d こと e ことはない

- 1 電車の中で騒いでいる子どもを見たら、ひとこと注意す_____。
- 2 疲れたな、と感じたら、とにかく休養をとる_____よ。
- 3 集合時間：午前8時30分。時間厳守の_____。(「お知らせ」などで)
- 4 携帯電話は、公共の場所ではやたらに使う_____。
- 5 この書類はオリジナルが1部あれば十分だ。コピーをとる_____。



使えますか

- 1 先生、この点について { a もう一度説明していただきたいのですが。
b もう一度説明することですよ。
- 2 年長者にはていねいな言葉を { a 使わないものではない。
b 使うものだ。
- 3 a 予定に変更があった時は、関係者にすぐ知らせるべきだ。
b 車を運転するには、まず免許を取るべきだ。
- 4 何もそんなことで { a 泣くことはないでしょう。
b 泣くものはないでしょう。
- 5 この案を直ちに実行に { a 移すのではないかと。
b 移そうではないかと。

答は次のページにあります。

さそ すす ちゅう い きん し
誘い・勧め・注意・禁止

あいて 相手の誘ったり、勧めたり、ようきゅう 要求などをしたりしたい時



- 1 ~う(よう)ではないか
- 2 ~ことだ
- 3 ~こと
- 4 ~ものだ・~ものではない
- 5 ~べき・~べきだ・
~べきではない
- 6 ~ことはない



- 7 ~べからず・~べからざる



1 ~う(よう)ではないか【~しよう】

- 「一緒に~しよう」と誘いかける時の言い方。

- ①これからは少しでも人の役に立つことを考えようではないか。
- ②環境問題について、具体的に自分にはどんなことができるのか、一つひとつリストに書いてみようではないか。
- ③「旅行の費用を積み立てるとするのはいい考えですね。さっそく、わたしたちも来月から始めようじゃありませんか。」



2 ~ことだ【~しなさい／~した方がいい】

- 相手のために「~した方がいい／~しない方がいい」と注意したい時。

- ①外の人に頼らないで、とにかく自分でやってみることだ。
- ②「あなたは病人なんだから、お酒はいけません。誘われても飲まないことです。」
- ③上級の読解力をつけたいのなら、毎日、新聞を読むことだ。

話す人が個人の意見や判断を助言や忠告として言う言い方。



1 a 2 c 3 d 4 b 5 e



1 a 2 b 3 a 4 a 5 b



3 ～こと【～しなさい】



●学校、団体などで「～しなさい」「～してはいけない」と書いて伝える時の表現。

①レポートは10日までに提出すること。

②あしたは赤鉛筆を忘れないこと。

③11月3日は10時に駅前に集合のこと。

📖 黒板や配布用のプリントなどに書いたり、時には口で伝えたりする。

🔗 動詞の辞書形・～ない形 +こと



4 ～ものだ・～ものではない【～するのが当然だ／～しないのが当然だ】

①「もう10時半だよ。早く寝なさい。子どもは10時前に寝るものだ。」

②無駄づかいをするものじゃない。お金は大切にするものだ。

③弱い者いじめをするものじゃないよ。

④「お見舞いに鉢植えの花は持って行かないものですよ。」

📖 個人の意見ではなく、道徳的、社会的な常識について説教したりする時の表現。

🔗 動詞の辞書形・～ない形 +ものだ →30課4「～ものだ」、30課5「～ものだ」



5 ～べき・～べきだ・～べきではない【～した方がいい／～しない方がいい】

●「～するのが、または～しないのが人間としての義務だ」と言いたい時の表現。

①「1万円拾ったんだって。そりゃあ、すぐに警察に届けるべきだよ。」

②親が生きているうちにもっと親孝行するべきだった、と後悔している。

③現代はなにごととも地球規模で考えるべきだ。

④女性に年齢を聞くべきではない。

📖 1 話す人が義務だと主張したり、忠告したりしたい時に使う。

📖 2 ×海外旅行に行く時はパスポートを持って行くべきだ。
規則や法律で決まっている場合は「～なければならない」を使う。

○海外旅行に行く時はパスポートを持って行かなければならない。

動詞の辞書形 (「する」は「すべきだ」の形もある) +べきだ

6 ～ことはない【～する必要はない／～しなくてもいい】

- ①「怖がることはないよ。あの犬は、体は大きいけれど性質はおとなしいから。」
 ②たしかに彼の発音は変だが、何も笑うことはないだろう。
 ③電話で済むのだから、わざわざ行くことはありません。
 ④パーティーといっても、親しい友達が集まるだけなんだから、なにも着替えることはない。

忠告、助言的な言い方。非難の言い方もある。

共起 なにも～ことはない、わざわざ～ことはない

動詞の辞書形 +ことはない

7 ～べからず・～べからざる【～してはいけない】

- ①録音中。ノックするべからず。
 ②昔はよく立て札に「ここにごみを捨てるべからず」などと書いてあった。
 ③彼は母親に対して言うべからざることを言ってしまったと後悔している。

1 禁止の古い言い方。張り紙、掲示板、立て札など。今はあまり用いられない。

2 「～べからざる」は名詞につながる形。

動詞の辞書形 +べからず

練習

28

誘い・勧め・注意・禁止

□の中から適当な言葉を選んで、次の会話を完成しなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

- a こと b ことはない c ようではありませんか d べきだ
e ものではない f べからず g べきではない h ことです

- 「大学に入ったのに、新しい友達^{ともだち}がなかなかできなくて……。」
「人間関係^{にんげんかんけい}を広げるには、専攻^{せんこう}の同じ人とだけでなく、違う科や学部^{ちが かがくぶ}の人とも話して
みる _____ よ。」
- 「最近^{さいきん}、みんな自分の仕事^{いそが}が忙しくて互^{たが}いに連絡^{れんらく}が不徹底^{ふてってい}なことがよくあるね。」
「朝、仕事を始める前に簡単^{かんたん}なミーティングの時間があるといいですね。さっそく
課長^{かちょう}に提案^{ていあん}してみ _____。」
- 「おじいちゃん、これ、何という意味？」
「『ここに駐車^{ちゅうしゃ}する _____』か。車を止めてはいけないっていう意味だよ。」
- (子どもたちが図書室^{まんが}で漫画を見ながらペチャクチャおしゃべりをしている。)
「『図書室^{しず}では静かにする _____』って書いてあるよ。おしゃべりなんかする _____
よ。」
- 乗客^{じょうきやく}「A駅へ行きたいんですが、B駅で急行^{きゅうこう}に乗り換えた方がいいでしょうか。」
駅員「お急ぎじゃなければ、わざわざ乗り換える _____ と思います。2、3分の違
いですから。」
- 「最近、忙しくてなかなか家族^{いっしょ}と一緒に食事^{しょくじ}もできないんですよ。」
「そうですか。そろそろ我々^{われわれ}もこういう生活^{せいかつ}を改める _____ と思いますね。仕事の
ために個人^{こじん}の大切なものを犠牲^{ぎせい}にし続ける _____ と思います。」

気持ちを込めて主張する時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

- a まい b にほかならない c にきまっている d にすぎない
e しかない

- こんなに無理をしたら、病気になる_____。
- 危ない山にはもう登る_____と思うけれど、やっぱりまた登りたくなる。
- わたしの論文は、論文というよりレポートという程度のもの_____。
- あした手術をする。今はもう神に祈る_____。
- 彼が子どもに厳しくするのは、彼の子どもに対する愛情_____。



使えますか

- a もうテレビゲームはやめるまいと決心したが、

b もうテレビゲームはやるまいと決心したが、

} やっぱりやってしまう。
- 大人になるということは、

{ a 親からの独立にほかならない。

b 親から独立するにほかならない。
- この文の本当の意味がわかった人は、

{ a ほんの数人にすぎなかった。

b 10人中8、9人にすぎなかった。
- あの時は病気だったのだから、

{ a 休職するしかなかった。

b 休職したしかなかった。
- たくさん働いた人の方が給料が少ない。

{ a これでは不公平ということだ。

b これでは不公平というものだ。

答は次のページにあります。

主張・断定 しゅ ちょう だん てい 気持ちを込めて主張する時



- 1 ～まい
- 2 ～にほかならない
- 3 ～にきまっている
- 4 ～にすぎない
- 5 ～しかない・
～(より) ほか(は) ない・
～ほか(しかたが) ない
- 6 ～というものだ



- 7 ～までだ・～までのことだ・
～ばそれまでだ
- 8 ～に(は) あたらない
- 9 ～でなくてなんだろう



1 ～まい【～のはやめよう】

●強い否定の意志を表す。

- ①鈴木さんは無責任な人だ。もう二度とあんな人に仕事を頼むまい。
- ②もう決して戦争を起こすまいと、わが国は固く決心したはずだ。
- ③考えまい、考えまいとするけれど、やっぱりあしたのことが気になって眠れない。

動詞の辞書形(動詞II、IIIは「(ない) 形+まい」もある。するは「すまい」もある) +まい →26課II・1「～まい」



2 ～にほかならない【～だ／～以外のものではない】

●「絶対に～だ、～以外のものではない」と断定したい時。

- ①文化とは国民の日々の暮らし方にほかならない。
- ②山川さんが東京で暮らすようになってからもふるさとの方言を話し続けたのは、ふるさとへの深い愛着の表れにほかならない。



1 c 2 a 3 d 4 e 5 b



1 b 2 a 3 a 4 a 5 b

③彼が^{かれ きび}厳しい^{たい ど しめ}態度を示すのは、子どもの^{しょうらい}将来のことを^{しんぱい}心配するからにほかならない。

名詞 + にほかならない



3 ～にきまっている【きつと～だ／必ず～だ】

- ①そんな^{くら}暗いところで本を読んだら目に悪いにきまっている。
 ②今週中に30枚のレポートを書くなんて無理にきまっています。
 ③「デパートよりスーパーの方が品物が安いにきまっているよ。スーパーへ行こう。」



推量に近い意味を表す使い方もある。

- ・選挙では林氏が^{せんきよ はやし しとうせん}当選するにきまっている。なにしろこの土地の^{とち ゆうりよくしゃ}有力者だから。
- ・こんなに急にやせるなんて^{へん}変だ。きつと何か悪い病気にきまっている。
- ・この字は彼が書いたにきまっています。わたしは彼の字のくせをよく知っています。

普通形型（な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある） + にきまっている



4 ～にすぎない【ただ～だけだ】

●「それ以上のものではない、ただその^{ていど}程度のものだ」と言って、^{ひく}程度の低さを^{きょうちよう}強調する時。

- ①「あなたはギリシャ語ができるんですってね。」
 「いいえ、ただちょっとギリシャ^{もじ}文字が読めるにすぎません。」
 ②この問題について正しく答えられた人は、60人中わずか3人にすぎなかった。
 ③わたしは無名の一市民にすぎませんが、この事件について政府に強く抗議します。
 ④彼はただ父親が有名であるにすぎない。彼に^{じつりよく}実力があるわけではない。

共起 ただ～にすぎない、ほんの～にすぎない



普通形型（な形容詞と名詞は「である型」。ただし、「である」がない場合もある） + にすぎない



5 ～しかない・～(より)ほか(は)ない・～ほか(しかたが)ない【～以外に方法はない】

- ① この事故の責任はこちら側にあるのだから、謝るしかないと思う。
- ② ビザの延長ができなかったのだから、帰国するしかない。
- ③ 当時わたしは生活に困っていたので、学校をやめて働くほかなかった。
- ④ この病気を治す方法は手術しかないそうです。すぐに入院するほかありません。

動詞の辞書形／名詞 + しかない



6 ～というものだ【心から～だと思う】

- 話す人がある事実を見て それについて批判、感想を断定的に言う時。
- ① 子どもの遊びまでうるさく言う親……。あれでは子どもがかawaiiそうというものだ。
- ② あの議員は公費で夫人と海外旅行をした。それはずうずうしいというものだ。
- ③ 困った時こそ手をさしのべるのが真の友情というものでしょう。
- ④ 長い間の研究がようやく認められた。努力のかいがあったというものだ。

過去形や否定形はない。いつも「～というものだ」の形で使う。

普通形型 (な形容詞と名詞は「だ」がない場合もある) + というものだ



7 ～までだ・～までのことだ・～ばそれまでだ【～以外に方法はない】

- 「外に適当な方法がないから、そうする」という覚悟、決意を表す。
- ① この台風で家までの交通機関がストップしてしまったら、歩いて帰るまでだ。
- ② これだけがんばってどうしてもうまくいかなかった時は、あきらめるまでだ。
- ③ 彼女がどうしてもお金を返さないと言うのなら、しかたがない。強行手段に出るまでのことだ。
- ④ 高い車を買っても、事故を起こせばそれまでだ。
- ⑤ いくらお金をためても、死んでしまえばそれまでだ。

④⑤は、「そうになったら、すべてが無駄になってしまう」と言いたい時の表現。

動詞の辞書形 + までだ → 24課 II・12 「～までだ・～までのことだ」



8 ～に（は）あたらない【～ほどのことではない】

- ①彼の才能^{かれ さいのう}なんてたいしたことはない。驚^{おどろ}くにあたらないと思う。
- ②この絵^えは上手^{じょうず}だけれど有名な画家^{が かい}のまねのようだ。感心^{かんしん}するにはあたらない。
- ③山田^{やま だ}さんの成功^{せいこう}は親^{おや}の援助^{えんじょ}に負^おうところが大きいのです。称赞^{しょうさん}にはあたりません。

👉 「～」には驚く、感心する、ほめる、称赞などの言葉^{ことば}が来ることが多い。

🔗 どうし じしよけい めいし 動詞の辞書形／する動詞の名詞 +にはあたらない



9 ～でなくてなんだろう【これこそ～そのものだ】



- ①彼は体の弱^{よわ}い妻^{つま}のために空気のきれいな所^{ところ}へ引^ひ越^こすことを考えているようだ。これ^{あい}が愛^{あい}でなくてなんだろう。
- ②親鳥^{おやどり}は北の国へ帰る日が来てもけがをした子鳥^{こどり}のそば^{そば}を離^{はな}れようとはしなかった。これ^{じょうあい}が親子^{じょうあい}の情愛^{じょうあい}でなくてなんだろう。
- ③上田^{うえ だ}さんはぜいたくはせず、つねに人々^{ひとびと}のためを考えた。これが指導者^{しどうしゃ}の姿勢^{しせい}でなくてなんだろう。

👉 2「～にほかならない」と同意^{どうい}だが、「～にほかならない」が断定的^{だんていてき}であるのに対^{たい}して、「～でなくてなんだろう」は、より主観^{しゅかんてき}的で感情^{かんじょう}がこもっている。



練習

29 主張・断定

☐ 中の言葉を使って下の文を完成^{かんせい}しなさい。一つの言葉は1回^{かい}しか使えません。

I

- a まい b にほかならない c にきまっている d しかない
e にすぎなかった f というものだ g にはあたらない

息子^{むすこ}の太郎^{たろう}はバイクの腕^{うで}がいい。(もっともこんなことはほめる1 _____ が……) し

かし、一度大けがをしてからは、もうバイクには乗る2^のと決心したようだった。
でも、それは一時的な決心3^{いちじてき}。夫はあの事故の後、彼からバイクをとりあげてしま
った。もちろん太郎のことを心配するから4^{しんぱい}。しかし、あれでは太郎がかわい
そう5^{たろう}。太郎もまもなく二十歳。バイクが危険なことはわかっている6^{きけん}。
わかっていて乗るのだ。わたしは、今はもうあの子の好きなようにさせる7^すと思
っている。

II

- | | | |
|---------|-----------|-------------|
| a まい | b にほかならない | c にきまっている |
| d にすぎない | e ほかない | f というものだ |
| g までだ | h にはあたらない | i でなくてなんだろう |

- 1 おや 親がわたしの気持ちをわかってくれないのなら、家を出る_____。
- 2 この作品は大作ではあるけれど、内容がどうも低俗ですね。優秀作として掲載する_____と思います。
- 3 この病気を治すためには、入院して手術を受ける_____でしょう。
- 4 日本が資源問題に関心をもってきた理由は、日本が資源に乏しい国だから_____。
- 5 自由をあきらめるくらいなら、わたしは一生結婚する_____。
- 6 この質問の意味が理解できる人は、100人中5人_____。
- 7 やりたくないからやらないなんて、君、それはわがまま_____よ。
- 8 あれほどの事故だったのに全員無事だった。これが奇跡_____。
- 9 無理なダイエットをするより、健康的に食べてよく運動するのがいい_____。

かんげき 感嘆して言ったり、かんじょう 感情や ねが 願いを強く言ったりする時は、どんな言い方がありますか。



知っていますか

a たいものだ b ことだ c ことに d ものだ e ないものか

- 1 無事に赤ちゃんが生まれたようだ。ほんとう 本当にめでたい_____。
- 2 父は、時間があると、よくわたしを魚つりに連れて行ってくれた_____。
- 3 残念な_____、山田さんは今年は奨学金がもらえなかったそうだ。
- 4 ビンさんは、年をとる前になんとかして一度故郷へ帰り_____と、いつも言っている。
- 5 雑誌の記事の締め切りが迫ってくると、なんとかして時間が止まってくれ_____と思う。



使えますか

- 1 残念なことに、
 { a わたしはこの会社をやめさせられたのです。
 b わたしはこの会社をやめるつもりです。
- 2 大学時代、よく田中君と
 { a この喫茶店に入ったものだ。
 b この喫茶店に入ったことか。
- 3 a 大きくなったことに、あの子がこんな料理を作れるようになったのか。
 b あの子がこんな料理を作れるようになったのか。大きくなったものだ。
- 4 なんとかして今日中にこの仕事を
 { a 終わらせたいものだ。
 b 終わらせないことか。
- 5 a コンピューターでこんなことまでできるとは、
 b コンピューターでこんなことまでできるのは、
 { おどろ 驚いた。

答は次のページにあります。

感嘆・願望

感激して言ったり、感情や願いを強く言ったりする時



- 1 ～ことに (は)
- 2 ～ことだ
- 3 ～ことか・～だろう・
～ことだろう
- 4 ～ものだ
- 5 ～ものだ
- 6 ～たいものだ
- 7 ～ないものか
- 8 ～ものがある



- 9 ～とは



1 ～ことに (は) 【非常に～ことだが】

●感情を表す言葉につく。話す人がある事実についてどう感じたかを強く言う時。

- ①驚いたことに、保守政党と革新政党が共に手を組んで連立内閣を作った。
- ②不思議なことに、何年も実がならなかった柿の木に今年はたくさん実がなった。
- ③悔しいことには、1点差でA校とのバスケットの試合に負けてしまった。
- ④うれしいことに、来年カナダに留学できそうだ。



×うれしいことに、来年カナダに留学するつもりだ。

後の文に、話す人の意志を表す文は来ない。



連体修飾型 (名詞につく例はない) + ことに (は)



2 ～ことだ 【非常に～だ】

●話す人がある事実について、どう感じたかを感情を込めて言いたい時。



1 b 2 d 3 c 4 a 5 e



1 a 2 a 3 b 4 a 5 a

- ① 弟がK大学に合格できた。本当にうれしいことだ。
 ② ここで遊んだのは、もう30年も前のことだ。ああ、懐かしいことだ。
 ③ 5年ぶりに兄がロシアから帰って来る。うれしいことだ。

 感情を表す形容詞につくことが多い。

 1「～ことに（は）」と同じ。

→28課2「～ことだ」

3 ～ことか・～だろう・～ことだろう【非常に～だ】

● 心に強く感じたことや感激したことを感情を込めて言う時。

- ① 小鳥が死んだ時、あの子がどんなに悲しんだことか。
 ② 早く病院に行きなさいと何度注意したことか。手遅れだったとは本当に残念だ。
 ③ 「ああ、なんときれいな夕焼けでしょう。」
 ④ 気の合った友達と酒を飲みながら話すのはなんて楽しいんだろう。
 ⑤ 不幸な中で、幸せな日々を思い出すのはなんと辛いことだろう。

共起 きょうき なんと～ことか、どんなに～だろう、いかに～だろう、何+助数詞+～ことか

4 ～ものだ【よく～したなあ】

● 昔よくしたことを思い出して、懐かしんで感情を込めて言う時。

- ① 子どもの頃、寝る前に父がよく昔話をしてくれたものだ。
 ② 小学校時代、兄弟げんかをしてよく祖父に叱られたものだ。
 ③ 学生の頃は、この部屋で夜遅くまで酒を飲み、歌を歌い、語り合ったものだ。

共起 よく～ものだ
 動詞の～た形 + ものだ

→28課4「～ものだ・～ものではない」

5 ～ものだ【本当に～だなあ】

● 心に強く感じたことや、驚いたり感心したりしたことを感情を込めて言う。

- ① 小さな子どもがよくこんな難しいバイオリンの曲をひくものだ。大したもんだ。
 ② タンさんは家族を亡くし、たった一人で今日までよく生きてきたものだ。

③月日のたつのは早いもので、この町に引越して来たのはもう20年も前のことだ。

④知らない国を旅して、知らない人々に会うのは楽しいものだ。

連体修飾型 (名詞につく例はない) + ものだ → 28課 4 「～ものだ・～ものではない」



6 ～たいものだ【～たいなあ】

●実現が難しいことを強く願ったり、望んだりする時の言い方。

①ライト兄弟は子どもの頃からなんとかして空を飛びたいものだと思っていた。

②今年こそ海外旅行をしたいものだ。

③わたしたちの力で環境問題を少しでも解決したいものだ。

共起 なんとか～たいものだ、なんとかして～たいものだ



7 ～ないものか【～ないだろうか】

●非常に強い願いを何かの方法で実現させたいという気持ちを言いたい時。

①人々は昔からなんとかして年をとらずに長生きできないものかと願ってきた。

②なんとかして世界を平和にできないものか。

③なんとか母の病気が治らないものかと、家族はみんな願っている。

共起 なんとかして～ないものか、なんとか～ないものか



8 ～ものがある【相当～だ／なんとなく～と感じる】

●話す人が、ある事実から感じたことを感情をもって言う時の表現。

①中学校の古い校舎が取り壊されるそうだ。思い出の校舎なので、わたしにとって残念なものがある。

②卒業後はわたしだけ村に残って、友達とはみんな都会に出て行ってしまうのだ。ちょっと寂しいものがある。

③あの若さであのテクニック！ 彼の演奏にはすごいものがある。

☞ 「～」には話す人の感情を表す言葉が来ることが多い。

連体修飾型 (現在形だけ。名詞につく例はない) + ものがある

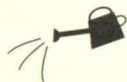


9 ～とは【～という事実は／～ということとは】

●「～」という事実を見たり聞いたりして、^{おどろ}驚いた時や特別の感想をもった時に言う。

- ①いつもはおとなしい山下さんがそんなことまで言うとは意外でした。
- ②今日がわたしの誕生日だということを覚えていてくださるとは、感激しました。
- ③信じられないなあ、このわたしがR大学に入学できたとは。
- ④何でも機械がやってくれるとは、ありがたい世の中になったものだ。

☞ 前の文では知ったことなどについて言い、後の文には驚きなどを表す文が来る。



練習

30 感嘆・願望

□の中から最も適当な言葉を選んで、その記号を____の上に書きなさい。一つの言葉は1回しか使えません。

- | | | | |
|---------|---------|-------|-------|
| a ないものか | b ものがある | c とは | d ことだ |
| e ものだ | f たいものだ | g だろう | h ことに |

- 1 巣立って行った子どもたちがこうやって1年に数回帰って来て家族がそろうのはうれしい_____。
- 2 昔の子どもたちは年齢の大きい子も小さい子も一緒にあって外で遊んだ_____。
- 3 幸運な_____、妹は事故のあった電車には乗っていなかったということだ。
- 4 今年こそジョギングを生活の習慣にし_____。
- 5 あのおとなしい健ちゃんは今や、しゃべるのが商売の弁護士になっている_____、本当に驚いた。
- 6 なんとかしてこの商談を成立させることができ_____と、毎日、交渉を重ねている。
- 7 新人が入って半年もたたないうちに新人らしい新鮮さを失ってしまうのを見るのは、ちょっと寂しい_____。
- 8 A商社の受付の人は、なんときれいな人_____。

索引 (50音順)

あ

	課	級	頁
～あげく (に)	24 I-2	②	176
～あげくの	24 I-2	②	176
～あつての	16 II-8	①	120
～あまり	19 II-7	②	143
あまりの～に	19 II-7	②	143
～いかんだ	13-10	①	103
～いかんで (体調いかにで)	13-10	①	103
～いかんでは (天候いかなでは)	13-11	①	103
～いかにかわらず (結果いかにかわらず)	14-6	①	108
～いかによって (体調いかによって)	13-10	①	103
～いかによっては (天候いかによっては)	13-11	①	103
～いかによらず (結果いかによらず)	14-6	①	108
～以上(は) (いじょう 約束した以上)	19 III-1	②	144
～一方(で) (いっぽう 考える一方で～も)	10 II-3	②	80
～一方だ (いっぽう 悪くなる一方だ)	6 I-1	②	50
～うえ (に) (うえ 話が長いうえに)	9 II-2	②	71
～上で (うえ 企画を成功させる上で)	2 I-2	②	21
～上で (うえ 一晩考えた上で)	5 II-2	②	45
～上は (うえ 約束した上は)	19 III-2	②	144
～うちに (話をしているうちに)	4-7	②	38
～うちに (若いうちに)	5 II-5	②	46
～う (よう) か～まいか (しようかするまいかと考える)	10 II-1	②	79
～う (よう) か (どこへ行くか)	21-7	①	158
～う (よう) か～まいか (しようかするまいか関係ない)	21-8	①	158
～う (よう) ではないか	28-1	②	207
～う (よう) と～まいと (しようとするまいと関係ない)	21-8	①	158
～う (よう) と (も) (どんなに悪く言われようとかまわない)	21-7	①	158
～う (よう) にも～ない	22-6	①	163
～う (よう) ものなら	20-6	②	152

～^う得る

22-5 ②……162

～^え得ない

22-5 ②……162

～おかげか

19 II-1 ②……141

～おかげだ

19 II-1 ②……141

～おかげで

19 II-1 ②……141

～おそれがある

26 II-3 ②……195

～^{おり}折 (に)

4-1 ②……36

～^{おり}折の

4-1 ②……36

か

	課	級	頁
～かぎり (できるかぎり)	3-7	②	31
～かぎり (は) (体が丈夫なかぎり)	8-3	②	64
～かぎりだ (うれしいかぎりだ)	27 I-5	①	200
～かぎりでは (グラフを見るかぎりでは)	8-4	②	64
～かぎりの (できるかぎりの)	3-7	②	31
～かけだ	4-6	②	38
～かへの	4-6	②	38
～かける	4-6	②	38
～が最後 (さいご)	20-8	①	153
～がたい	22-1	②	161
～かたかた	7-9	①	59
～かたわら	7-7	①	58
～がちだ	23 I-1	②	167
～がちの	23 I-1	②	167
～がてら	7-8	①	58
～(か) と思う	5 I-2	②	42
～(か) と思つたら	5 I-2	②	42
～か～ないかのうちに	5 I-3	②	43
～かねない	26 II-4	②	195
～かねる	22-3	②	162
～かのようだ	23 II-3	②	171
～かのよう	23 II-3	②	171
～が早い	5 I-5	①	43
～から (タバコの不始末から)	19 I-2	②	138
～から～にかけて	3-3	②	30
～からある (20キロからある荷物)	16 II-5	①	120
～からいう	11 I-4	②	87
～からいえば	11 I-4	②	87
～からいって	11 I-4	②	87

～からこそ	19 I -3 ②……139
～からして (学生の側からしても)	11 I -6 ②…… 88
～からして (食べ物からして合わない)	3-2 ②…… 29
～からすると	11 I -6 ②…… 88
～からすれば	11 I -6 ②…… 88
～からといって	18-8 ②……133
～からには (日本へ来たからには)	19 III-3 ②……145
～からの (20キロからの荷物)	16 II-5 ①……120
～からは (日本へ来たからには)	19 III-3 ②……145
～から見て	11 I -5 ②…… 88
～から見ると	11 I -5 ②…… 88
～から見れば	11 I -5 ②…… 88
～かわりに	10 II-8 ②…… 81
～気味	23 I -3 ②……168
～きらいかがある	23 I -5 ①……168
～きり	24 I -4 ②……177
～きりだ	24 I -4 ②……177
～きる	24 II-1 ②……178
～きれない	24 II-1 ②……178
～きれる	24 II-1 ②……178
～極まりない	16 II-9 ①……121
～極まる	16 II-9 ①……121
～くせして	18-2 ②……131
～くせに	18-2 ②……131
～くらい (自分一人ぐらい行かなくても)	16 II-1 ②……118
～くらい (泣きたいくらい)	23 II-2 ②……171
～くらいだ (泣きたいくらいだ)	23 II-2 ②……171
～くらいの (泣きたいくらいの)	23 II-2 ②……171
～くらい～はない	10 I -2 ②…… 77
～げ	23 II-4 ②……171
～こそ	16 II-3 ②……119
～こと (駅前に集合のこと)	28-3 ②……208
～ことか (どんなに悲しんだことか)	30-3 ②……219
～ことから	19 I -2 ②……138
～ごとき (次のごとき日程)	12-10 ①…… 97
～ごとき (氷のごとき冷たさ)	23 II-5 ①……171
～ごとく (次のごとく)	12-10 ①…… 97
～ごとく (氷のごとく)	23 II-5 ①……171
～ことだ (彼のことだ。きっと来るよ)	19 III-4 ②……145

～ことだ (自分でやってみることだ)	28-2 ②……207
～ことだ (本当にうれしいことだ)	30-2 ②……218
～ことだから (彼のことだから必ず来る)	19 III-4 ②……145
～ことだろう (なんと辛いことだろう)	30-3 ②……219
～こととて	19 I -5 ①……139
～こととなっている	24 II-6 ②……180
～ことなく (休むことなく働いた)	25 I -6 ②……188
～ことなく (私に言うことなく去った)	7-4 ②…… 57
～ことなしに (休むことなしに働いた)	25 I -7 ①……188
～ことなしに (血を流すことなしに戦う)	7-11 ①…… 59
～ことに (は)	30-1 ②……218
～ことになっている	24 II-6 ②……180
～ことになる	24 II-5 ②……180
～ことは～か	25 II-4 ②……190
～ことはない	28-6 ②……209

さ

さい ～際 (に)	4-2	②…… 36
さい ～際の	4-2	②…… 36
さいちゅう ～最中 (に)	4-8	②…… 39
さいちゅう ～最中だ	4-8	②…… 39
～さえ	16 I -1	②……116
～さえ～ば (暇さえあれば)	20-1	②……150
～ざるをえない	27 II-2	②……202
～しかない	29-5	②……214
しだい ～次第 (決まり次第知らせる)	5 I -4	②…… 43
しだい ～次第だ (こうなった次第だ)	24 II-4	②……179
しだい ～次第だ (その日の天気次第だ)	13-3	②……101
しだい ～次第で (その日の天気次第で)	13-3	②……101
しだい ～次第では (その日の天気次第では)	13-4	②……101
～しまつだ	24 II-11	①……182
じょう ～上 (形式上)	11 I -3	②…… 87
じょう ～上の (形式上のこと)	11 I -3	②…… 87
すえ ～末 (に)	24 I -3	②……177
すえ ～末の	24 I -3	②……177
～ずくめ	23 I -7	①……169
～ずにはいられない	27 II-3	②……202
～ずにはおかない	27 II-5	①……203

～ずにはすまない	27 II-4 ①……203
～すら	16 I-5 ①……117
～せいか	19 II-2 ②……141
～せいだ	19 II-2 ②……141
～せいで	19 II-2 ②……141
～そばから	5 I-8 ①……44

た

課 級 頁

～たいものだ	30-6 ②……220
～だけ (食べただけ食べてもいい)	3-6 ②……31
～だけあって (一流ホテルだけあって)	19 II-6 ②……142
～だけに (苦労しただけに)	19 II-5 ②……142
～だけの (できるだけのことはした)	3-6 ②……31
～だけの (苦労しただけのことはある)	19 II-5 ②……142
ただ～だけでなく	9 I-5 ①……69
ただ～のみ	8-5 ①……64
ただ～のみならず	9 I-5 ①……69
たとえ～ても	21-1 ②……156
～たところ (父に相談してみたところ)	24 I-1 ②……176
～たところで (今から行ったところで)	21-2 ②……156
～たとたん (に)	5 I-1 ②……42
～たに	16 I-6 ①……118
～たび (に)	13-6 ②……102
～だらけ	23 I-4 ②……168
～たら最後	20-8 ①……153
～たりとも	16 I-3 ①……117
～たる	11 II-6 ①……91
～だろう	30-3 ②……219
～ついでに	7-1 ②……56
～つけ (あれ、なんだっけ)	24 II-9 ②……181
～っこない (できっこない)	25 I-3 ②……187
～つ～つ (行きつ戻りつ)	23 II-7 ①……172
～つつ (汽車に揺られつつ)	7-2 ②……56
～つつ (悪いとは知りつつ)	18-3 ②……131
～つつある (沈みつつある夕日)	6 I-3 ②……51
～つつも (悪いとは知りつつも)	18-3 ②……131
～つばなし (道具が出しつばなし)	24 I-5 ①……177
～つばい (忘れつばい)	23 I-2 ②……167
～であれ (たとえ社長であれ)	21-6 ①……158

～であれ～であれ (川であれ海であれ)

	15-7 ①……113
～て以来	5 II-3 ②……46
～てからでないと	5 II-4 ②……46
～てからでなければ	5 II-4 ②……46
～てからというもの (は)	5 II-7 ①……47
～でさえ	16 I-1 ②……116
～てしかたがない	27 I-1 ②……199
～てしょうがない	27 I-1 ②……199
～ですら	16 I-5 ①……117
～てたまらない	27 I-2 ②……199
～でなくてなんだろう	29-9 ①……215
～てならない	27 I-3 ②……200
～ではあるまいし	19 III-6 ①……146
～ではじめて	5 II-1 ②……45
～てやまない	27 I-4 ①……200
～と相まって	9 II-8 ①……73
～とあって	19 I-6 ①……140
～とあれば	20-10 ①……153
～といい～といい	15-5 ①……113
～ということだ (昔この辺は町の中心だったということだ)	26 I-1 ②……193
～ということだ (つまり、会議は延期ということですね)	24 II-7 ②……181
～ということは (書くということは)	17-2 ②……124
～というと	17-4 ②……125
～というところだ	3-12 ①……33
～というのは (季語というのは)	17-1 ②……124
～というもの (この10年というもの)	16 II-6 ①……120
～というものだ (それでは不公平というものだ)	29-6 ②……214
～というものではない	25 II-1 ②……189
～というものでもない	25 II-1 ②……189
～というものは (親というものは)	17-2 ②……124
～というより	10 II-7 ②……81
～といえども (一円といえども)	16 I-4 ①……117
～といえども (子どもといえども)	18-9 ①……133
～といえども (どんな悪人といえども)	21-5 ①……157
～といええ	17-3 ②……125

～といったところだ	3-12	①……	33
～といったら (あの時の怖さといったら)	17-5	②……	126
～といったらありはしない	27 I -6	①……	201
～といったらない (そのうれしきといったらない)	27 I -6	①……	201
～といっても	18-7	②……	132
～といわず～といわず	15-6	①……	113
～と思いきや	18-14	①……	135
～とおり (に)	12-2	②……	95
～とおりだ	12-2	②……	95
～とおりの	12-2	②……	95
～とか (そちらは大雪だったとか)	26 I -2	②……	193
～とか～とか (数学とか物理とか)	15-1	②……	111
～ときたら	17-7	①……	126
～ところ (食べているところ)	4-5	②……	37
～どころか (ウイスキーどころか)	10 II -2	②……	79
～ところから (富士山ににているところから)	19 I -2	②……	138
～ところだ (今食べているところだ)	4-5	②……	37
～ところだった (もう少しでぶつかるところだった)	24 II -8	②……	181
～どころではない (忙しくてお花見どころではない)	25 I -5	②……	187
～どころではなく (忙しくてお花見どころではなく)	25 I -5	②……	187
～ところを (お忙しいところを)	18-12	①……	134
～ところをみると (電気がついているところを見ると)	19 III -5	②……	145
～としたら	20-2	②……	150
～として (誰一人としていない)	16 I -2	②……	116
～として (科学者として)	11 I -2	②……	86
～としても (たとえ大金持ちだとしても)	21-3	②……	157
～とすると (もし行くとすると)	20-2	②……	150
～とすれば (もし行くとすれば)	20-2	②……	150
～とともに (秋の深まりとともに)	6 II -5	②……	53
～とのこと (だ)	26 I -1	②……	193
～とは (入管とは入国管理局のこと)	17-1	②……	124
～とは (彼が来るとは驚いた)	30-9	①……	221
～とはいうものの	18-4	②……	131

～とはいえ	18-10	①……	133
～とばかり (に)	23 II -9	①……	173
～とみえて	26 II -7	②……	196
～とみえる	26 II -7	②……	196
～ともあろう	11 II -5	①……	91
～ともなく	23 II -6	①……	172
～ともなしに	23 II -6	①……	172
～ともなると	11 II -4	①……	90
～ともなれば	11 II -4	①……	90

な

課	級	頁
～ないうちに	5 II -5	②…… 46
～ないかぎり	20-7	②…… 152
～ないことには	20-3	②…… 151
～ないことはない	25 II -3	②…… 190
～ないこともない	25 II -3	②…… 190
～ないではいられない	27 II -3	②…… 202
～ないではおかない	27 II -5	①…… 203
～ないではすまない	27 II -4	①…… 203
～ないでもない	25 II -5	①…… 190
～ないまでも	10 II -10	①…… 82
～ないものか	30-7	②…… 220
～ないものでもない	25 II -5	①…… 190
～ないわけにはいかない	27 II -1	②…… 201
～なから (狭いなから)	18-1	②…… 130
～なから (生まれなから)	7-10	①…… 59
～なからに (生まれなからに)	7-10	①…… 59
～なからの (生まれなからの)	7-10	①…… 59
～なからも (狭いなからも)	18-11	①…… 134
～なくして (は)	20-9	①…… 153
～なしに (休息なしに歩き続けた)	25 I -7	①…… 188
～なしに (断りなしに部屋に入るな)	7-11	①…… 59
～など	16 II -2	②…… 119
～なら～ほど	6 II -1	②…… 51
～ならでは	8-6	①…… 64
～なり (母親の顔を見るなり泣き出した)	5 I -7	①…… 44
～なり～なり (反対するなり賛成するなり)	15-4	①…… 112
～なりに (子どもなりに考えて)	11 I -8	①…… 88
～なりの (子どもなりの考え)	11 I -8	①…… 88

～なんか	16II-2 ②……119	～にしても (たとえ旅行するにしても) 21-3 ②……157
～なんて	16II-2 ②……119	～にしても～にしても (東京にしても横浜にしても)
～にあたって	4-4 ②……37	15-3 ②……112
～に(は)あたらない	29-8 ①……215	～にしろ (忙しかったにしろ) 18-6 ②……132
～にあって	4-10 ①……39	～にしろ (たとえ家を買うにしろ) 21-4 ②……157
～に至 ^{いた} って(は) (自殺するに至って)	24I-6 ①……178	～にしろ～にしろ (東京にしろ横浜にしろ)
～に至 ^{いた} る (成功に至る過程)	24II-10 ①……182	15-3 ②……112
～に至 ^{いた} るまで (借金の額に至るまで)	3-9 ①……32	～にすぎない 29-4 ②……213
～において	4-9 ②……39	～にすれば 11I-7 ②……88
～に ^{おう} 応じた	13-5 ②……101	～にせよ (忙しかったにせよ) 18-6 ②……132
～に ^{おう} 応じて	13-5 ②……101	～にせよ (たとえ家を買うにせよ) 21-4 ②……157
～における	4-9 ②……39	～にせよ～にせよ (東京にせよ横浜にせよ)
～にかかわらず	14-2 ②……106	15-3 ②……112
～にかかわりなく	14-2 ②……106	～に ^{そうい} 相違ない 26II-6 ②……196
～にかかわる	1-7 ①……18	～に ^そ 治う 12-3 ②……95
～に限 ^{かぎ} って (うちの子に限って)	8-2 ②……63	～に ^{そく} 即した 12-9 ①……97
～に限 ^{かぎ} らず (男性に限らず)	9I-3 ②……69	～に ^{そく} 即して 12-9 ①……97
～に限 ^{かぎ} り (9時までにご来店の方に限り)	8-1 ②……63	～に ^そ 治った 12-3 ②……95
～に限 ^{かぎ} る (夏はビールに限る)	10I-3 ②……78	～に ^そ 治って 12-3 ②……95
～にかけては	17-6 ②……126	～に ^{たい} 対して (老人に対して) 1-3 ②……17
～にかたぐない	22-7 ①……163	～に ^{たい} 対して (男性78歳に対して女性83歳)
～にかわって	10II-9 ②……82	10II-4 ②……80
～に ^{かん} 関して	1-2 ②……16	～に ^{たい} 対する (老人に対する) 1-3 ②……17
～に ^{かん} 関する	1-2 ②……16	～に ^た たえる 22-9 ①……163
～にきまっている	29-3 ②……213	～に ^た たえない 22-9 ①……163
～に ^{くら} 比べて	10I-1 ②……77	～に ^た 足る 22-8 ①……163
～に ^{くわ} 加えて	9II-5 ②……72	～に ^{ちが} 違いない 26II-5 ②……195
～にこたえて	1-4 ②……17	～について (この町の歴史について) 1-1 ②……16
～にこたえる	1-4 ②……17	～につき (工事中につき休業) 19I-4 ②……139
～に ^{さい} 際して	4-3 ②……37	～につけて (生活ぶりを聞くにつけて) 13-7 ②……102
～に ^{さき} 先立って	5II-6 ②……47	～につれて 6II-2 ②……52
～に ^{さき} 先立つ	5II-6 ②……47	～にとって 11I-1 ②……86
～にしたがって	6II-3 ②……52	～にとどまらず 9I-6 ①……70
～にしたら	11I-7 ②……88	～に ^{ともな} 伴って 6II-4 ②……52
～にして	16II-7 ①……120	～に ^{はん} 反した 10II-5 ②……80
～にしては (専門家にしては)	11II-2 ②……89	～に ^{はん} 反して 10II-5 ②……80
～にしても (忙しかったにしても)	18-6 ②……132	～に ^{はん} 反する 10II-5 ②……80
		～にひきかえ 10II-11 ①……83
		～には ^い かならない 29-2 ②……212

～にもかかわらず	18-5	②	……132
～に基 ^{もと} づいた	12-4	②	……95
～に基 ^{もと} づいて	12-4	②	……95
～に基 ^{もと} づく	12-4	②	……95
～にもまして	10 I-4	①	……78
～によって (大きさによって分ける)	13-1	②	……100
～によって (話し合いによって解決する)	2 II-1	②	……23
～によって (地震によって倒れた家)	19 I-1	②	……138
～によって (専門家によって進められた)	2 II-2	②	……23
～によっては (大きさによっては入らない)	13-2	②	……100
～による (大きさによる分類)	13-1	②	……100
～による (話し合いによる解決)	2 II-1	②	……23
～による (地震による被害)	19 I-1	②	……138
～によると (天気予報によると)	2 II-3	②	……24
～によれば (天気予報によれば)	2 II-3	②	……24
～にわたって	3-4	②	……30
～にわたる	3-4	②	……30
～ぬきで	7-5	②	……57
～ぬきに	7-5	②	……57
～ぬきの	7-5	②	……57
～ぬく	24 II-2	②	……179
～のあまり	19 II-7	②	……143
～の至 ^{いた} り (光栄の至り)	16 II-11	①	……121
～の上 ^{うえ} で (みかけの上で)	11 I-3	②	……87
～の極 ^{きわ} み	16 II-10	①	……121
～のみならず	9 I-4	②	……69
～のもとで	12-6	②	……96
～のもとに	12-6	②	……96

は

は	課	級	頁
～はいざしらず・～ならいざしらず	14-9	①	……108
～はおろか	9 II-6	①	……72
～ばかりか (財産ばかりか家族まで)	9 I-2	②	……68
～ばかりだ (病気は悪くなるばかりだ)	6 I-2	②	……50
～ばかりでなく (日本語ばかりでなく英語も)	9 I-1	②	……68
～ばかりに (生水を飲んだばかりに)	19 II-4	②	……141

～ばこそ	19 II-8	①	……143
～はさておき	14-5	②	……107
～はずかない	25 I-2	②	……186
～ばそれまでだ	29-7	①	……214
～はというと	17-4	②	……125
～はともかく (として)	14-4	②	……107
～は問 ^と わず	14-1	②	……106
～ば～ほど	6 II-1	②	……51
～はぬきにして	7-6	②	……58
～はもちろん	9 II-3	②	……71
～はもとより	9 II-4	②	……71
～反 ^{はんめん} 面	10 II-6	②	……81
～半 ^{はんめん} 面	10 II-6	②	……81
ひとり～だけでなく	9 I-5	①	……69
ひとり～のみならず	9 I-5	①	……69
～べからざる	28-7	①	……209
～べからず	28-7	①	……209
～べき	28-5	②	……208
～べきだ	28-5	②	……208
～べきではない	28-5	②	……208
～べく	2 I-3	①	……22
～は ^は か(しかた ^{かた})ない	29-5	②	……214
～ほど (泣きたいほど痛い)	23 II-1	②	……170
～ほど (駅に近いほどいい)	6 II-1	②	……51
～ほどだ (泣きたいほどだ)	23 II-1	②	……170
～ほどの (泣きたいほどの痛さ)	23 II-1	②	……170
～ほど～はない (ゲームほど楽しいものはない)	10 I-2	②	……77

ま

課 級 頁

～まい (そう簡単には解決するまい)	26 II-1	②	……194
～まい (もう二度と頼むまい)	29-1	②	……212
～まいか (雪が降るのではあるまいか)	26 II-2	②	……195
～まじき	11 II-7	①	……91
～まで (家出をしてまで)	16 II-4	②	……119
～までして (家出までして)	16 II-4	②	……119
～までだ (ちょっと気になったまでだ)	24 II-12	①	……182
～までだ (こうなったらやるまでだ)	29-7	①	……214

～までのことだ (ちょっと気になったまでのことだ)	24 II-12 ①……182
～までのことだ (こうなったらやるまでのことだ)	29-7 ①……214
～までもない (聞くまでもない)	25 I-8 ①……188
～までもなく (聞くまでもなく)	25 I-8 ①……188
～まみれ	23 I-6 ①……169
～向きだ (この服は若者向きだ)	11 II-3 ②……90
～向きに (若者向きにデザインする)	11 II-3 ②……90
～向きの (若者向きのデザイン)	11 II-3 ②……90
～向けだ (子ども向けだ)	1-6 ②……18
～向けに (子ども向けに書かれた本)	1-6 ②……18
～向けの (子ども向けの本)	1-6 ②……18
～めく・～めいた	23 I-8 ①……169
～もかまわず	14-3 ②……107
～もさることながら	9 II-7 ①……72
～も～なら～も	9 II-1 ②……70
～もの (だって好きなんだから)	19 II-3 ②……141
～ものか (二度と行くものか)	25 I-4 ②……187
～ものがある (寂しいものがある)	30-8 ②……220
～ものだ (子どもは早く寝るものだ)	28-4 ②……208
～ものだ (月日のたつのは早いものだ)	30-5 ②……219
～ものだ (昔よく叱られたものだ)	30-4 ②……219
～ものだから (かぜをひいたものだから)	19 II-3 ②……141
～もので (かぜをひいたもので)	19 II-3 ②……141
～ものではない (そんなことをするものではない)	28-4 ②……208
～ものなら (できるものなら)	20-4 ②……151
～ものの (わかってはいるものの)	18-4 ②……131
～ものを (薬があれば助かったものを)	18-13 ①……135
～も～ば～も	9 II-1 ②……70

や

課 級 頁

～や (部屋に入ってくるや、窓を開けた)	5 I-6 ①……44
～や否や (部屋に入ってくるや否や、窓を開けた)	5 I-6 ①……44
～やら～やら	15-2 ②……111
～ゆえ (に)	19 I-7 ①……140

～ゆえの	19 I-7 ①……140
～ようかはない	22-4 ②……162
～ような (次のような)	12-1 ②……94
～ように (次のように)	12-1 ②……94
～ように (かぜが治るように)	2 I-1 ②……21
～ようもない	22-4 ②……162
～由 (皆様お元気の由、安心しました)	26 I-3 ①……194
～(より)ほか(は)ない	29-5 ②……214

わ

課 級 頁

～わけかはない (子どもにできるわけかはない)	25 I-1 ②……186
～わけだ (外は雪だつて。どうりで寒いわけだ)	24 II-3 ②……179
～わけではない (勉強ばかりしていたわけではない)	25 II-2 ②……189
～わけにはいかない	22-2 ②……161
～わけはない (彼が読むわけはない)	25 I-1 ②……186
～わりに (は)	11 II-1 ②……89
～をおいで	8-7 ①……65
～を ^{かぎ} 限りに	3-10 ①……32
～を ^{かわき} 皮切りとして	3-8 ①……32
～を ^{かわき} 皮切りに(して)	3-8 ①……32
～をきっかりとして	13-8 ②……102
～をきっかりに(して)	13-8 ②……102
～を ^{きんえ} 禁じ得ない	27 II-6 ①……203
～を ^{けいき} 契機として	13-9 ②……103
～を ^{けいき} 契機に(して)	13-9 ②……103
～をこめて	7-3 ②……57
～を中心とした	12-7 ②……96
～を中心として	12-7 ②……96
～を中心とする	12-7 ②……96
～を中心 ^{ちゅうしん} に(して)	12-7 ②……96
～を中心 ^{ちゅうしん} にした	12-7 ②……96
～を中心 ^{ちゅうしん} にする	12-7 ②……96
～を通 ^{つう} じて (一年を通じて)	3-5 ②……31
～を通 ^{つう} じて (テレビのニュースを通じて)	2 II-4 ②……24
～を通 ^{とお} して (一年を通して)	3-5 ②……31

～を ^{とお} 通して (秘書を通して)	2 II-4	②……	24
～を～とした	12-8	②……	97
～を～として	12-8	②……	97
～を～とする	12-8	②……	97
～を問わず	14-1	②……	106
～を～にした	12-8	②……	97
～を～に (して)	12-8	②……	97
～を～にする	12-8	②……	97
～をぬきにして (硬い話をぬきにして)			

7-6 ②…… 58

～をぬきにしては (山田さんをぬきにしてはパーティーは開けない)

20-5 ②…… 152

～をはじめ (として)

3-1 ②…… 29

～をはじめとする

3-1 ②…… 29

～をめぐって

1-5 ②…… 17

～をめぐる

1-5 ②…… 17

～をもって (書面をもって知らせる)

2 II-5 ①…… 25

～をもって (本日をもって終了する)

3-11 ①…… 32

～をもとに (して)

12-5 ②…… 96

～をもとにした

12-5 ②…… 96

～をもとにする

12-5 ②…… 96

～をものともせず (に)

14-7 ①…… 108

～を余儀なくされる

27 II-7 ①…… 204

～をよそに

14-8 ①…… 108

ん

課 級 頁

～んがため (に)

2 I-4 ①…… 22

～んがための

2 I-4 ①…… 22

～んばかりだ

23 II-8 ①…… 173

～んばかりに

23 II-8 ①…… 173

～んばかりの

23 II-8 ①…… 173

練習問題の解答

- 1 A 1 b 2 b 3 a 4 a 5 a B 1 f 2 e 3 d 4 a 5 b 6 c
C 1 c 2 b 3 a 4 d 5 e
- 2 A 1 a 2 b 3 b 4 b 5 a B 1 a 2 g 3 × 4 d 5 f 6 b
7 × 8 c 9 e C 1 f 2 e 3 a 4 d 5 c 6 b
- 3 A I 1 c 2 d 3 a 4 b 5 e 6 f 7 g II 1 c 2 e 3 a
4 b 5 d B 1 b 2 b 3 b 4 b 5 a 6 a
- 4 A 1 b 2 e 3 c 4 f 5 g 6 d 7 a B 1を 2 × 3に 4で
5に 6を 7 × 8で 9に 10 ×
- 5 1 b 立ち上がったたん 2 c 相談した上で 3 d 卒業して以来 4 e 片づけるそばから
5 a やみ次第 6 f 考えてからでないと 7 b 温かいうちに 8 a 工事開始に先立って
9 d 着いたかと思うと 10 c 入院してはじめて 11 e 入院してからというもの
- 6 A 1 b 2 b 3 a 4 a 5 b 6 a 7 a B 1 b 2 a 3 d 4 f
5 c 6 e
- 7 A 1 c 2 g 3 h 4 d 5 a 6 i 7 j 8 b 9 e 10 f B 1 c
2 a 3 e 4 b 5 d
- 8 A I 1 c 2 f 3 a 4 e 5 b 6 g 7 d II 1 c 2 g 3 d 4 f 5 a
6 b 7 e B 1 e 2 b 3 a 4 d 5 c
- 9 A 1 a 2 b 3 b 4 a B 1 b 2 a 3 b 4 b 5 a C 1 a 2 c 3 d
4 b 5 f 6 e
- 10 A 1 j おくっている一方で 2 c 受けるかわりに 3 h 人間にかわって 4 d 口に合わないどころか
5 a 希望に反して 6 g 読みやすい反面 7 f 言おうか言うまいか 8 b 裏切られるくらいつらいことはな
い 9 i それにもまして 10 e しないまでも B 1 c 2 g 3 b 4 f 5 e 6 a 7 d
- 11 I 1 b 2 f 3 c 4 a 5 d 6 e II 1 b 2 e 3 f 4 d 5 c 6 a
- 12 A I 1 f 2 e 3 c 4 a 5 d 6 b II 1 a 2 c 3 e 4 f 5 b 6 d
B 1 c・オ 2 d・カ 3 f・キ 4 b・ア 5 g・ウ 6 h・イ 7 e・エ
- 13 1 d 2 a 3 g 4 f 5 e 6 b 7 c
- 14 1 a 2 a 3 b 4 b 5 b 6 a 7 a 8 b 9 a
- 15 1 b 2 a 3 c 4 a 5 c 6 b 7 b a c
- 16 1 d 2 e 3 b 4 f 5 a 6 c 7 b 8 a 9 d 10 c 11 e
- 17 A I 1 a 2 b 3 d 4 e 5 c 6 f II 1 c 2 b 3 e 4 a 5 f 6 d
B 1 d 2 a 3 b 4 f 5 e 6 c

18 A 1 c 2 d 3 a 4 b 5 e B 1 d 2 b 3 a 4 g 5 c 6 e 7 h
8 f

19 A 1 b 2 e 3 d 4 a 5 c 6 d 7 e 8 b 9 a 10 c 11 d 12 a 13 b
14 e 15 c B 1 b よかったおかげで 2 a うれしきのあまり 3 c 買ったばかりに 4 e 好きなもの
のだからこそ 5 d 春休みだけに 6 d 大金持ちではあるまいし 7 b 買ってもらったからには 8 a 田
中さんのことだから 9 e しているところをみると 10 c 心配すればこそ

20 1 b 行くとしたら 2 e 協力をぬきにしては 3 a 研究費さえあれば (研究費がありさえすれば) 4 h
渡したら最後 5 d やめられるものなら 6 j 木村さんのためとあれば 7 c 会ってみたいことには 8 f
しよものなら 9 i 友情なくて (は) 10 g 示さないかぎり

21 1 たとえ病気になっても 2 何と言われようと 3 雨が降ろうか雪が降ろうか 4 忠告したところで 5 する
としても 6 親友といえども 7 どちらにせよ 8 誰であれ 9 男だろうと女だろうと 10 帰国しようとするまい
と (すまいと)

22 A 1 b いたしかねます 2 c 直しようがない 3 a 泊めてあげるわけにはいかない 4 c とりようがない
5 a 休むわけにはいかない 6 b 言い出しかねて B 1 c 2 d 3 b 4 e 5 a 6 f

23 1 a 2 b 3 a 4 a 5 a 6 a 7 b 8 a 9 b 10 a

24 I 1 d 2 b 3 a 4 c 5 f 6 e II 1 b 2 c 3 e 4 f 5 a 6 g
7 d

25 I 1 b 2 e 3 a 4 c 5 d II 1 a 2 d 3 b 4 c

26 A 1 a a 2 a 3 b a 4 b B 1 b 2 a 3 d 4 e 5 c

27 1 b 気がしてなりません 2 d 出勤せざるをえません 3 a 寂しくてたまりません 4 c 願ってやみません
5 b 確かめないではいられない 6 c お詫びしないではすまない 7 a やらないわけにはいかない 8 d
謝らせないではおかしい (謝らせずにはおかしい) 9 b うまさといったらない a うらやましいかぎりだ 10 d
退職を余儀なくされた c 同情を禁じ得ない

28 1 h 2 c 3 f 4 a e 5 b 6 d g

29 I 1 g 2 a 3 e 4 b 5 f 6 c 7 d II 1 g 2 h 3 e 4 b 5 a
6 d 7 f 8 i 9 c

30 1 d 2 e 3 h 4 f 5 c 6 a 7 b 8 g

参考文献

教科書

- 東海大学留学生別科編(1970)『日本語 中級Ⅰ』東海大学出版会
アメリカ・カナダ十一大学連合日本研究センター(1971)『INTEGRATED SPOKEN JAPANESEⅠ』VOLUME ONE, TWO
対外日本語教育振興会編(1980)『Intensive Course in Japanese』Intermediate Course (株)ランゲージサービス
筑波大学日本語教育研究会編(1983)『日本語表現文型・中級』Ⅰ・Ⅱ イセブ
国際学友会日本語学校編(1985)『日本語Ⅱ』国際学友会
東京外国語大学留学生日本語教育センター編(1993)『中級日本語』凡人社

資料

- 国際交流基金・日本国際教育協会、編集・著作(1994)『日本語能力試験出題基準』凡人社

雑誌掲載論文

- 森田良行(1976)『文法一条件の言い方』『講座日本語教育』第3分冊、早稲田大学語学研究所
北条淳子(1981)『中級段階における学習内容』『講座日本語教育』第17分冊、早稲田大学語学研究所
宮地裕他編(1984)『複合辞特集』『日本語学』3,10 明治書院
蓮沼昭子(1985)『「ナラ」と「トスレバ」』『日本語教育』56号、日本語教育学会
関正昭(1989)『評価述定の誘導成分となる複合助詞について』『日本語教育』68号
江田すみれ(1991)『複合辞による条件表現Ⅰ「と」と「とすると」の意味と機能』『日本語教育』75号
江田すみれ(1992)『複合辞による条件表現Ⅱ「と」「とすると」「とすると」の意味と機能について』『日本語教育』78号
仁田義雄(1992)『[特集] モダリティ・判断から発話・伝達へ』『日本語教育』77号
益岡隆志(1992)『[特集] モダリティ・不定性のレベル』『日本語教育』77号
今井新悟(1992)『[特集] モダリティ・モダリティ形式のモダリティ度』『日本語教育』77号
山岡政紀(1992)『[特集] モダリティ・意志表現の文型提示に関する一考察』『日本語教育』77号
江田すみれ(1994)『複合辞による条件表現「ば」「とすれば」』『日本語教育』83号
坪根由香里(1994)『「ものだ」に関する一考察』『日本語教育』84号
松木正恵(1995)『複合助詞の特性』『言語』11月号、大修館書店

書籍

- 金田一春彦編(1976)『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房
吉川武時(1989)『日本語文法入門』アルク
町田健(1989)『日本語の時制とアスペクト』アルク
北川千里・井田厚夫(1988)『助動詞』(外国人のための日本語例文・問題シリーズ) 荒竹出版
寺村秀夫編(1987)『ケーススタディ日本文法』おうふう
阪田雪子・倉持保男(1975)『教師用日本語教育ハンドブック文法Ⅱ』国際交流基金
森田良行(1985)『誤用文の分析と研究—日本語学への提言—』明治書院
国立国語研究所(1987)『現代の助詞・助動詞』秀英出版
北条淳子(1989)『複文文型』『談話の研究と教育Ⅱ』国立国語研究所
加藤泰彦・福地務(1989)『テニス・アスペクト・ムード』(外国人のための日本語例文・問題シリーズ) 荒竹出版
横林宙世・下村彰子(1988)『接続の表現』(外国人のための日本語例文・問題シリーズ) 荒竹出版
駒田聡他(1990)『中・上級日本語教科書文型索引』くろしお出版
森田良行・松木正恵(1989)『日本語表現文型』アルク
森田良行(1989)『基礎日本語辞典』角川書店
柴田武他編(1976)『ことばの意味 辞書に書いてないこと』(1・2・3) 平凡社
寺村秀夫(1984)『日本語のシンタックスと意味Ⅱ』くろしお出版
益岡隆志(1987)『命題の文法』くろしお出版
益岡隆志(1989)『基礎日本語文法』くろしお出版
益岡隆志(1991)『モダリティーの文法』くろしお出版
仁田義雄・益岡隆志(1989)『日本語のモダリティ』くろしお出版
仁田義雄(1991)『日本語のモダリティーと人称』ひつじ書房
益岡隆志編(1993)『日本語の条件表現』くろしお出版
有賀千佳子(1994)『意味上の言語単位・試論「どうってことはない」は辞書にあるか』くろしお出版
益岡隆志・野田尚史・沼田善子編(1995)『日本語の主題と取り立て』くろしお出版
仁田義雄編(1995)『複文研究』(上・下) くろしお出版
宮島達夫・仁田義雄編(1995)『日本語類義表現の文法』(上・下) くろしお出版
森田良行(1995)『日本語の視点』創拓社
河原崎幹夫監修(1995)『辞書でひけない日本語文中表現』北星堂
坂本正編著(1995)『日本語表現文型・例文集』凡人社
生田目弥寿編著(1995)『日本語教師のための「現代日本語表現文典」』凡人社
Seiichi Makino・Michio Tsutsui(1995)『日本語文法辞典【中級編】』The Japan Times

NAFL日本語教師養成プログラム

抜群の検定試験合格率！

世界のどこにいても、 活躍できる仕事『日本語教師』



海外の日本語学習者は、133カ国、
298万人（※）と予想以上の多さ。

「日本語教師」は、日本国内でも
もちろんのこと、世界中でニーズの
高い仕事です。日本語教師になれ
ば、世界各国の人と“日本語”での
国際交流が可能。日本語や日本の
文化を教える国際的でやりがいのある仕事です。

※2006年 国際交流基金調べ

日本語教師になるためには…

日本語教師になるための登竜門と言われているのが、年に一回、実施されている「日本語教育能力検定試験」。合格率が20%前後という難関試験ですが、数多くの日本語学校が、教師を採用する上で、この検定試験合格を採用基準としています。NAFLは「日本語教育能力検定試験」にピッタリと照準を当てた通信講座。これまでに7万人以上が受講し、数多くの修了生が、日本語教師として国内や海外で活躍しています。

日本語教育能力検定試験に関する情報は >> <http://www.jees.or.jp/jlct/index.htm>

別巻
日本語教育能力
検定試験
対策問題集

**記述式問題
通信添削**

**自己採点形式
模擬テスト**

**視覚、聴覚で
学べる
CDとDVD**

**一流講師陣に
よる24冊の
テキスト**

検定試験に照準を合わせた
NAFLの教材

受講生の声

NAFLで合格。
海外で日本語を
教えています。



小泉 かさねさん

近所に1人の中国人研修生がやってきました。日本語を教え、中国について教えてもらううちに、日本語教師になりたいと思うようになりました。検定試験の勉強にも、教師になってからの指南書としても役立つとアドバイスを受けNAFLを受講。検定試験には初受験で無事合格しました。今はシリアで日本語教師として働いています。

受講料 98,700円（税込）

標準学習期間 12カ月（短期修了も可能）

教材構成 コースガイド／テキスト24冊／別巻テキスト1冊（CD付き）／CD7枚／DVD1枚／NAFL模擬テスト1回（自己採点形式。CD、解答と解説付き）／『月刊日本語』12冊（毎月1冊）／実力診断テスト24回／記述式問題の添削指導2回／修了証（修了時）※お申し込み受付後、3営業日以内に、教材を一括で発送センターより出荷いたします。

※『月刊日本語』のみ毎月のお届けとなります。

お支払い方法 クレジットカード（一括払い・分割払い）
代金引換（代引手数料630円、一括払いのみ）
コンビニ・郵便払込（手数料無料、一括払いのみ）

※クレジットカード払い（一括・分割）をご希望の方は、右記インターネット、またはフリーダイヤル0120-120-800（24時間受付）にて承ります。

**お申し込み、資料（無料）のご請求は
今すぐ下記の方法で！**

■アルク・お申し込み専用フリーダイヤル

0120-120-800

※24時間受付

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

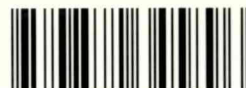
■アルク・オンラインショップ

<http://shop.alc.co.jp>

※ご提供いただく個人情報、資料の発送および小社からの商品情報をお送りするために利用し、その目的以外での使用はいたしません。

ISBN978-4-87234-589-6

C0081 ¥2427E



9784872345896

定価 本体2,427円+税



1920081024278

日露青年交流センター
**Японо-Российский центр
молодёжных обменов**